

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO JUNE 2016 VOL.64 NO.6

ロータリーの友6月号 第64巻 第6号
平成28年6月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻762号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

6

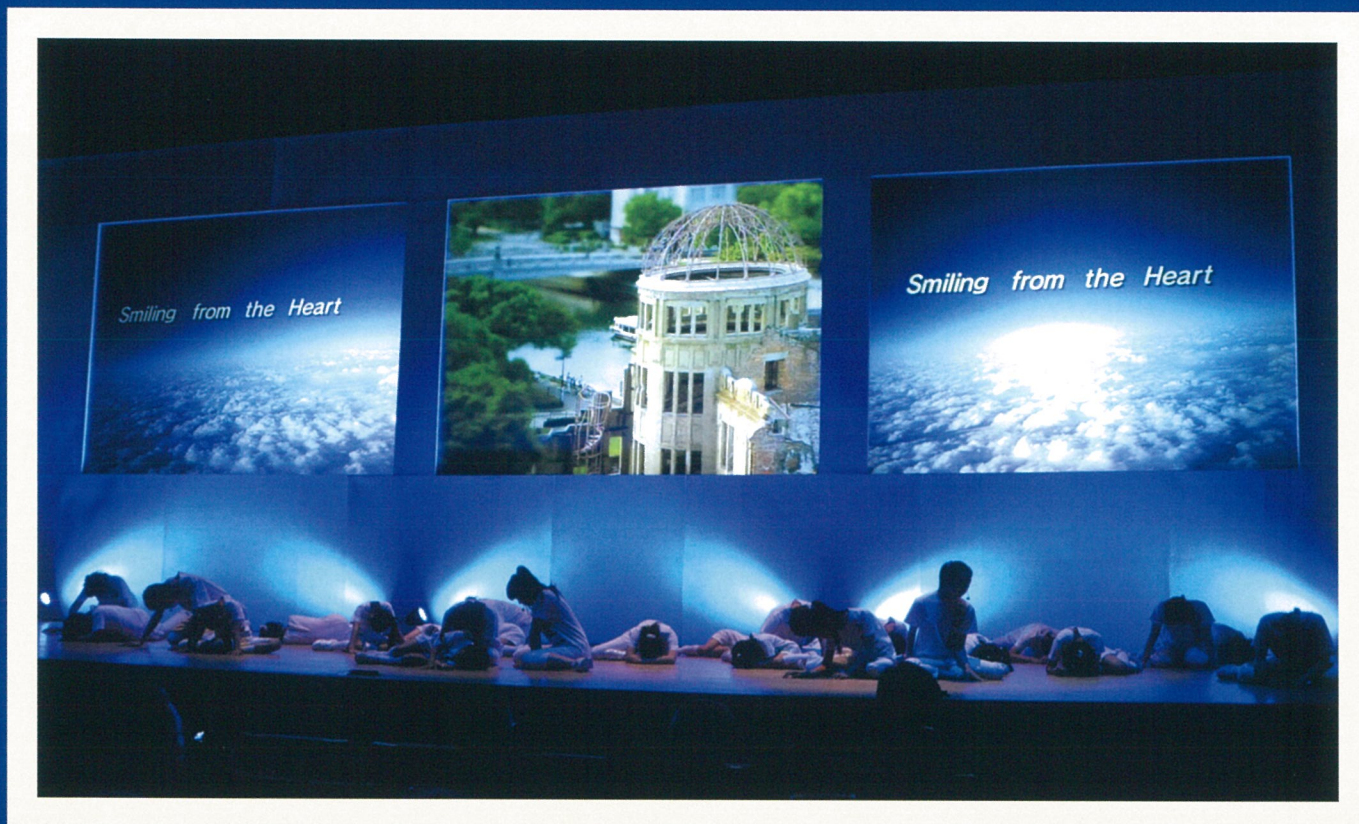
2016



名前が縁で……

ロータリーの明日
2016年 規定審議会リポート

Rotary 



2013 年 5 月 17 ～ 18 日

「ロータリー世界平和フォーラム広島」開催

2012 - 13 年度国際ロータリー(R I)会長の田中作次氏は、R I テーマを「奉仕を通じて平和を」として、ロータリアンに「平和」について考え、活動するよう奨励しました。その一環として、ベルリン、ホノルル、広島 of 3 か所で、平和をテーマとした R I 会長主催会議「ロータリー世界平和フォーラム」を開催しました。広島では「平和はあなたから始まる」のもと、ロータリアンと新世代がさまざまな角度から平和について学び、考え、意見交換をしました。

奉仕の姿



原文（英語）は
こちらから

ROTARY
JAPAN
Home Page 
www.rotary.or.jp

親愛なるロータリアンの皆さん、イギリスの作家で空軍のパイロットだったロアルド・ダールは、熱心な写真家でもあり、多くの旅に愛用のツァイス製カメラを携えていました。フィルムやガラス製ネガを用いて一枚ずつ手間をかけて現像を行っていた時代に、彼には何百枚もの写真コレクションがありました。後年、これらの写真は彼の旅行の視覚的な記録となり、体験をつづったり、ほかの人とシェアするために使われました。しかし、彼はいつも自分の思い出を、写真よりも鮮やかに語りました。ダールは、出来事や経験の多くは、明快に捉えることが不可能であり、それらは画像や言葉では十分に伝えることができない、と話していました。

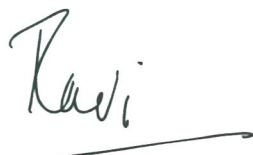
言葉では言い尽くせず、写真は色あせ、心も正確ではなく、そして細部は失われていきます。しかしダールが言うように、決して色あせず、何十年たっても記憶の中で炎のように輝き続ける経験もあります。その炎の壁は私たちの記憶の中で輝きを放ち、その前と後の人生を分ける境界線となります。

このたとえば、今まで、ロータリーを通じて世界中を巡った私の経験にも当てはまります。まさにこの一年間は、私の心の中に、それ以前とこれからの人生を分ける炎の壁としてそびえ立ってきましたし、これからも常にそうであり続けるでしょう。

この12か月間を振り返ると、日々の一つひとつの情景が、万華鏡のように代わる代わる目に浮かびます。命をつなぐ心臓手術を受け、快方に向かう子どものそばで心配そうに見守るインド・チャンディーガルの親。破壊的な震災からの復旧を果たした村のあちこちで、はためていたネパールの国旗。バチカンのサンピエトロ広場で行われたロータリアンの祝典で、ローマ教皇から祝福を受けたときの畏敬の念。そして、世界中の多くの国でさまざまな言語を介して、初めて会うロータリーの兄弟であり、姉妹である友人との楽しいひと時。

国際ロータリー会長としての経験は、写真や言葉では真に語り尽くせない壮大な任務で、^{さんぜん}燦然たる火柱となって私の記憶にとどまっています。幾千の場面がその記憶や感情とともに頭の中をめぐり、一つの大きなモザイク画となっています。そのモザイク画の一片一片は、皆さんによって実現された素晴らしい活動の数々です。

本年度も終わりに近づき、この素晴らしい組織の一員としてさらに大きな誇りを感じています。世界をより豊かにし、絶望を希望に変え、恵まれない人々に上昇への道を示すロータリーは、私たち一人ひとりが「世界へのプレゼントになる」ことで、多くの人への贈りものになるのです。



K. R. RAVINDRAN
2015-16年度 国際ロータリー会長



6月はロータリー親睦活動月間です

- 3 RI 会長メッセージ
奉仕の姿 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 14 ロータリー親睦活動
ヨットの親睦活動グループ 大阪湾フリート
ヨットなんて持ってなくて大丈夫!
ロータリー親睦活動グループとは
-
- 16 ロータリーの明日
2016年 規定審議会リポート
-
- 20 ラビンドランRI 会長と奉仕の一年
-
- 22 心は共に
熊本地震
福山北RC 田中 宏
東日本大震災
伊勢崎RC / 和光RC 会長 高木 茂 /
佐伯RC 上尾 大輔 / 大阪東RC
-
- 26 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 6月号から
-
- 28 退任の弁
ロータリーの友委員会委員長
一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事 橋本 長平
-
- 6 ■ロータリーとは
34 ■パズルdeロータリー
35 ■エバンストン便り
35 ■管理委員長の思い 
36 ■「パズルdeロータリー」(3月号)の答えと解説
37 ■ロータリー掲示板
RC 事務所住所変更・RC 例会変更・RC 事務所住所変更 (7月から)
RC 例会変更 (7月から)・『友』誌ご購読数変更についてのお願い・
RC 名称変更・地区別クラブ数/会員数/出席率一覧表・
『友』7月号主要記事予定
39 ■日本ロータリー分布図
39 ■奥付
40 ■新コーナー「わがまちの味(仮)」ご紹介ください

- 7 特集
同じ名称を持つクラブ同士の交流
名前が縁で……
- 日本さくらロータリー会
東京小金井さくらRC 会長 信山 勝由
お城名ロータリークラブ交流会
岡山城RC 藤井 崇行
日本国内モーニングロータリークラブ
川口モーニングRC 田村 亮夫
川クラブ友好の集い
京都桂川RC 友好クラブ委員長 上原 從正
全国空港RC フォーラム
名古屋空港RC 会長 波多野 真
7ベイRC 友好会
館山ベイRC 会長 岡本 良二
-
- 29 Rotary いま……
「ロータリークラブ細則」の変更が
クラブの明日を決める
-
- 30 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑬
米山には出会いと楽しみが待っている
新潟中央RC 箕輪 光泰
米山学友 プレンディ・パロリ
-
- 32 地区大会略報Ⅳ
第2640地区・第2540地区・第2680地区・第2520地区・
第2570地区・第2650地区・第2820地区

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P16～19 4月10～15日、アメリカ・イリノイ州シカゴで、規定審議会が開催されました

ロータリーの友 委員会		特別顧問	地区 代表委員	2500	2830	2650
委員長	橋本 長平 (京都東)	中山 義之 (横浜南)		森山 昌彦 (旭川北)	平川 賢悦 (清森モーニング)	小川 秀明 (京都南)
副委員長	清水 良夫 (横浜)	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)		荒木 敏博 (岩見沢)	松島 宏明 (桐生)	庄野 晋吉 (大阪)
R1理事	杉谷 卓紀 (玉名)	上野 孝 (横浜)		三浦 一 (仙台東)	林 茂男 (東京ベイ)	斎藤 賢治 (徳島)
R1理事エレクト	斎藤 直美 (豊田)	安平 和彦 (姫路)		星 遵一 (南相馬)	2590 荒木 彦次 (横浜)	2680 折戸 善信 (神戸西神)
		片岡 信彦 (土浦南)		2530 佐野 公彦 (秋田北)	2600 西堀 恒司 (松本)	2690 江尻 博子 (岡山南)
		藤居 彰一 (日立)		2550 真尾 和夫 (足利東)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 石村 儒悟 (福岡)
		大野 清一 (横浜東)		2560 高橋 登 (新潟南)	2620 佐藤 正幸 (甲府)	2710 藤里 隆 (宇都東)
		田中 俊實 (鹿屋)		2570 細井 保雄 (行田さくら)	2630 前田 和也 (鈴鹿シティ)	2720 高宮 宏 (熊本南)
		上山 昭治 (東京武蔵野中央)		2770 隅内 道三 (川口東)	2750 井上 直行 (東京町サピリア)	2730 中島 司人 (福岡東)
		大槻 哲也 (東京中央)		2790 中村 正見 (千葉)	2760 水野 吉紹 (名古屋北)	2740 新岡 正久 (唐津東)
				2800 中村 隆志 (米沢上杉)	2780 桐本美智子 (平塚)	
				2820 山崎 恭弘 (竜ヶ崎)	2640 寺下 卓 (海南東)	編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,188、会員総数1,227,719人（2016年2月29日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,270、会員数88,667人（2016年3月末現在）となっています。

2015 - 16 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

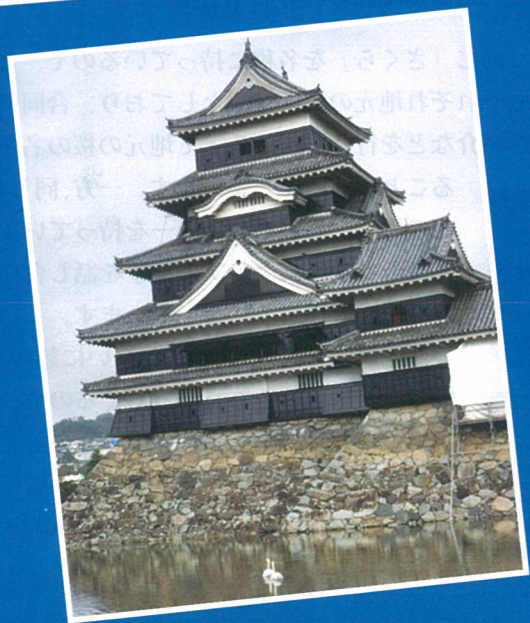
1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集：同じ名称を持つクラブ同士の交流

名前が縁で...



全国には川、港、空港などの立地や、花の名前、例会時間など、同じ条件に基づき共通の名前を冠したクラブが複数あります。本特集では、そうしたクラブ同士の、地区を超えた交流事例を紹介します。（※各クラブ名は、ゾーン順・地区番号順としました）



日本さくらロータリー会



東京小金井さくらRC会長 信山 勝由

いわき桜RC (第2530地区・福島県)
 行田さくらRC (第2570地区・埼玉県)
 水戸さくらRC (第2820地区・茨城県)
 東京小金井さくらRC (第2750地区・東京都)
 京都さくらRC (第2650地区・京都府)

同じ「さくらRC」会員のメイクアップがきっかけで

「さくら」は言うまでもなく日本を代表する花とされ、桜の咲く時季は、寒い冬が終わり、暖かな春の到来を告げるころなので、なんとなく心浮き立つ季節ではないでしょうか。

そんな「さくら」をクラブの名称に冠したロータリークラブが日本にいくつか存在していると知ったのは、2010年ごろだったと思います。

われわれ東京小金井さくらロータリークラブ(RC)の例会に、京都さくらRCの会員である井上与一郎さんがメイクアップにおいでになりました。井上さんは自クラブと同じ「さくら」の名称が付いていることから、東京出張の折に、わざわざ小金井までいらしたようでした。

その後、「さくら」の名称を付けたクラブを探すと、京都、東京小金井のほか、茨城県の水戸、埼玉県の行田にも「さくらロータリークラブ」があることがわかり、そこからお互いの例会を訪問したり、周年記念式典に参加するなどしてきました。そして2012年4月、東京で



第2回合同例会 (2013年)

リンスホテルにて、4クラブで友好クラブ締結記念例会を開催し、会の名称を「日本さくらロータリー会」としました。

まずは年1回の合同例会を持ち回りで開催することにし、翌年から伊香保温泉(ホスト:行田さくらRC)、大洗ホテル(ホスト:水戸さくらRC)、京都嵐山温泉(ホスト:京都さくらRC)と、行ってきました。

その間に、福島県いわき市に「いわき桜ロータリークラブ」があることがわかりました。「日本さくらロータリー会」に参加してくれることになり、昨年の京都での合同例会において、5クラブとなる調印式を行いました。

合同例会は地元の桜の名所自慢と、楽しい意見交換

同じ「さくら」を名称に持っているので、どのクラブもそれぞれ地元の桜を自慢としており、合同例会でクラブ紹介などを行うと、そろって地元の桜の名所を紹介することになってしまいます。一方、同じ名称でも、どのクラブも独自のカラーを持っていて、懇親会ではそれぞれのクラブの様子を話し合い、楽しい意見交換の機会ともなっています。

合同例会も会を重ねると、互いに懇親も深まり、他のクラブの特色もわかってくるので、今後は合同での奉仕活動を行うなど、「日本さくらロータリー会」を中心に、クラブの活動の幅が広がっていくことを願っています。(第2750地区 東京都)



第1回合同例会で、最初の4クラブの調印式 (2012年4月)



大型屋形船で懇親会 (2012年4月)



第4回、いわき桜RCも加わり5クラブに (2015年5月)

お城名ロータリークラブ交流会



岡山城 R C 藤井 崇行

松本城 R C (第 2600 地区・長野県)

岐阜城 R C (第 2630 地区・岐阜県)

岡山城 R C (第 2690 地区・岡山県)



第 10 回交流会。松本城前で (2011 年 2 月、右写真も)



第 11 回、岐阜で鶴飼いを観賞 (2013 年 5 月)



第 12 回は岡山城 R C がホスト。フラダンス講習を受け、踊りを楽しんだ (2015 年 5 月)

交流会が岡山にて開かれた。その後、2007 年に大阪城 R C が国際ロータリーを脱会したが、今も 3 クラブ間で隔年で交流会を開催しており、昨年 12 回を数えた。

趣向を凝らした歓迎で交流

城巡りが大好きなロータリアンが發起人となり…

岡山には「^{うじょう}鳥城」と称される岡山城、岐阜には別名「稲葉山城」と呼ばれる岐阜城、長野には国宝・松本城があり、それぞれの名を冠したロータリークラブの交流会がある。その名も「お城名ロータリークラブ交流会」。

その發起人は、岐阜城ロータリークラブ (R C) 初代幹事の澤田善吉氏である。澤田氏は旅行好きで、各地のお城を巡ることが大好きな方。世界を旅する中でキャッスル (城) を冠したクラブが多くあることに関心があった。そして約 20 年前、岐阜城 R C 創立の際、国内の「城」を冠したクラブを調査した結果、大阪城 R C (第 2660 地区) と岡山城 R C があった。そこでこの 2 クラブに友好交流の提案をしたところ、交流会発足への機運が高まり、1995 年、新たに松本城 R C も創立され、同クラブも加わって 4 クラブとなった。

全国城郭都市会議が行われた 1996 年 5 月 9 日、岐阜市の長良川ホテルにおいて、「お城名ロータリークラブ友好提携調印式」が執り行われ、翌年 5 月に第 1 回

ホストクラブは毎回趣向を凝らし、思い出深い歓迎をしてくれる。松本城 R C がホストだった第 10 回の際は、井筒信一会員の工房「弦楽器いづつ」を見学させていただいた。バイオリンの制作工程を学ぶ貴重な訪問となり、白骨温泉にて疲れを癒やし、懇親を深めた交流会であった。

第 11 回の際は岐阜城 R C がホストで、^う鶴飼いの開始日に交流会の日程を合わせてくださった。漆黒の闇の中、赤々と燃える^{かがり}篝火を川面に映し、鶴匠と鶴が一体となって繰り広げる鶴飼いは、千古にタイムスリップしたような、幽玄の世界に誘われた。また、昨年の岡山城 R C がホストの時は、瀬戸内海のアートの島・直島に招待した。海のない県の方々だけに、まばゆいばかりのお日さまと海風の心地良さ、そして“晴れの国岡山”を印象付けたのではないかなと思う。

澤田会員の呼びかけから誕生した交流会も、締結から 20 年。今まで以上に、クラブにとっても会員一人ひとりにとっても、より良い交流を重ねたい。

(第 2690 地区 岡山県)

日本国内モーニングロータリークラブ

川口モーニングRC 田村 亮夫



姉妹クラブ締結式 (2011年4月)

旭川モーニングRC (第2500地区・北海道)

札幌モーニングRC (第2510地区・北海道)

川口モーニングRC (第2770地区・埼玉県)

青森モーニングRC (第2830地区・青森県)

京都モーニングRC (第2650地区・京都府)

その他で交流を深めてきました。

東日本大震災……絆の下、姉妹クラブを締結

2011年3月10日、京都モーニングRCへ、当クラブ創立25周年式典の案内に伺った時のことでした。友好クラブから姉妹クラブ締結へと会話も盛り上がり、固い握手を交わし、式典での再会を約束して帰りました。

翌11日、東日本大震災が発生。川口モーニングRC 25周年記念式典は中止しましたが、5つのモーニングロータリークラブは、姉妹クラブ締結は必ず実行するという決意のもと、私は17日に旭川、23日に札幌、4月8日に青森と、各モーニングロータリークラブを単身訪問。多くの意見交換を行い、固い絆により、姉妹クラブ締結式を行う合意を得ました。

締結式は4月23日、埼玉県川口市で、「絆」をテーマに掲げ挙行されました。時間の経過は早いもので、再締結は今年5月15日、川口モーニングRC創立30周年記念式典の席で行いました。

語り尽くせない楽しみがある協同事業

5モーニングロータリークラブで、さまざまな協同事業を行ってきました(写真参照)。協同事業には、語り尽くせ



③

モーニングRC創立情報を入手することに訪問

私は、1985年に川口モーニングロータリークラブ(RC)に創立会員として入会、初年度はロータリー用語の理解に努力しました。1989年、会長エレクトに選出され、海外との姉妹クラブ締結を目指すスポンサークラブからの移籍会員と激しい議論を重ねていたその時期に、「札幌モーニングRC」が誕生したことを、『ロータリーの友』で知りました。

そこで単身、札幌に出向き、ビジターとして例会に出席。5分間のショートスピーチを依頼された折、「モーニングロータリークラブ同士、最初は友好クラブとして、クラブ間で交流しましょう!」と訴え、また「例会終了後に即、臨時理事会を開催して決定してください」と、時の佐藤研介会長にお願いしました。そして例会終了後、臨時理事会で友好クラブ締結の承認をいただきました。この時が、固い絆の始まりでした。感動しました。

その後、モーニングロータリークラブの創立認証の情報を入手するたびにそのクラブを訪問して友好クラブになろうとお誘いし、青森モーニングRC、旭川モーニングRC、京都モーニングRCと、5クラブとの間で友好クラブを締結しました。そして各クラブの周年行事や、

① 視覚障がい体験をした小中学生の感想発表 ② 川口市立医療センターのロビーにソファを寄贈 ③ 津波で被災した青森県の小学校に花を寄贈



ない多くの楽しみがあります。これからもあるでしょう。
今年度は、青森モーニングＲＣから鈴木唯司ガバナーが
誕生しました。他のモーニングロータリークラブからも、
一日も早く、ガバナーが選出されることを強く希望して

います。

これからも友好を深め、姉妹クラブとして深い絆の
もと、ロータリーを楽しんでいきます。

(第 2770 地区 埼玉県 / 2003 - 04 年度ガバナー)

川クラブ友好の集い

京都桂川ＲＣ友好クラブ委員長



18 クラブに趣意書を添え提唱

京都桂川ロータリークラブ（ＲＣ）は、京都丹波高原
国定公園を源流とする桂川右岸の京都市西京区の嵐山や
大原野、桂離宮など、山紫水明の地域を所在区域として
おります。

クラブ創立 6 周年を迎えた 1995 年、国内友好クラ
ブを持ちたいとの機運が高まり、クラブ討論会で種々の
提案がなされ、具体化に向けた模索が続けられました。

当時、国際ロータリー会長の指針として、環境保全、
特に水質保全への奉仕活動が呼びかけられていました。
そこで、わがクラブ名と同様に「川」の名が付き、地域
的にも川と関わりがあり、川の環境保全に関心があるク
ラブとの友好を求めては、との提案がなされました。

早速、その実現に向けて取り組みを進め、第 2600 地
区（長野）から第 2690 地区（岡山・鳥取・島根）まで
の 2600 番代の地区で、「川」の名が付く 18 クラブに
趣意書を添え提唱したところ、当初、6 クラブから賛同
と参加の意向をいただきました。

翌 1996 年 12 月 1 日、当クラブを世話クラブとして
京都・嵐山で「川クラブ友好の集い」を発会しました。
当日はそれぞれのクラブ紹介、川との関わりと環境保全
への取り組みなどの意見交換をした後、懇親会で親睦を
図り、友好の輪を広げました。

ダム見学や川下りなど、各クラブ輪番でおもてなし

その後、毎年春に参加クラブが輪番で世話クラブを務

粉河ＲＣ（第 2640 地区・和歌山県）

京都桂川ＲＣ（第 2650 地区・京都府）

芦屋川ＲＣ（第 2680 地区・兵庫県）

川西猪名川ＲＣ（第 2680 地区・兵庫県）

西宮夙川ＲＣ（第 2680 地区・兵庫県）

宝塚武庫川ＲＣ（第 2680 地区・兵庫県）

岡山旭川ＲＣ（第 2690 地区・岡山県）

め、開催しています。その都度、趣向を凝らしたエクス
カーションも企画され、その土地の名所・旧跡を見学し、
河川敷やえんてい内を歩いたり、川下りをしたり、講話
を聴いた後に各地の名物料理に舌鼓を打つなど、心尽く
しのおもてなしを楽しんでおります。また、各クラブの
創立周年記念例会にも招待を受け、さらなる親交を深め
ています。



第 13 回。京都桂川ＲＣがホスト、桜鶴苑で（2010 年 6 月）

第 17 回。京都桂川ＲＣがホスト、アサヒビール大山崎山荘美術館で（2014 年 4 月）



第 18 回。岡山旭川ＲＣがホスト、大原美術館で（2015 年 5 月）



今年度は5月、兵庫県の芦屋RCが世話クラブとなり開催、回を重ねてついに第20回例会となりました。これからも「川クラブ友好の集い」の趣意に賛同いただ

けるクラブに参加していただき、友好の輪をさらに広げていきたいと思います。

(第2650地区 京都府)

全国空港RCフォーラム

名古屋空港RC会長 波多野 真



旭川空港RC (第2500地区・北海道)

成田コスモポリタンRC (第2790地区・千葉県)

松本空港RC (第2600地区・長野県)

東京羽田RC (第2750地区・東京都)

名古屋空港RC (第2760地区・愛知県)

広島空港RC (第2710地区・広島県)

佐賀空港RC (第2740地区・佐賀県)

同じ「空港」クラブ同士、地元空港を語り合おう

1996年に当クラブの提唱により始まった「全国空港RC (ロータリークラブ) フォーラム」について紹介いたします。

きっかけは1994年、当クラブが広島空港RCの認証状伝達式に出席させていただいた時に同席されていた、すでに当クラブと友好クラブ (現在は姉妹クラブ) として交流のあった松本空港RCとの間で、「さらに『空港』という名称を使用しているロータリークラブの輪を広げよう」という合意ができたことによります。

この合意を受けて翌年、「同じ『空港』を名称にしているクラブが集まって地元空港を語り合う (自慢し合う??) ことにより『友情の輪』を広げよう」との趣旨

で、当クラブが旭川空港RC、松本空港RC、豊中一大阪国際空港RC、広島空港RC、大分空港RCに呼びかけたことから「全国空港RCフォーラム」が始まりました。

第1回「全国空港RCフォーラム」は、提唱クラブの当クラブがホス

トクラブとなり、1996年4月8日に「空港とロータリークラブを考える」をテーマに、名古屋で開催しました。2回目以降の開催については、ロータリークラブの集まりだからということで、持ち回りでホストクラブを担当することとなり、第2回は松本空港RCをホストクラブに松本にて、第3回は旭川空港RCをホストクラブに旭川で開催されました。発足以降、東京羽田RC、佐賀空港RC、成田コスモポリタンRCが新たに参加され、以後、多少の出入りがありますが、現在では7クラブにて毎年、開催しています。

昨年10月開催で20周年

昨年10月には佐賀空港RCがホストクラブとなり、佐賀にて「第20回全国空港RCフォーラム」が盛大に開催されました。その折に開催された参加クラブ代表者会議にて「この先も従来同様、全国空港RCフォーラム



第14回、ホストは佐賀空港RC。バルーンで「空」高くへ (2009年11月)



第17回。広島空港RC会員が甲冑で松本空港RCを歓迎 (2012年11月)

第19回。クルーズ船から羽田空港を発つ飛行機に向かって (2014年11月)



を年1回開催し、友情の輪をつなげていこう」という合意がなされました。また、次会は当クラブが4回目のホストクラブを担当し、今年9月に名古屋で開催することも決定されました。

当初は、ひょんなことから始まった「全国空港RCフ

ォーラム」がこれほど長く続くとは想像していませんでしたが、今では当クラブだけでなく、参加各クラブにとってもかけがえのない行事の一つになっているようです。

(第2760地区 愛知県)

7ベイRC友好会



館山ベイRC会長 岡本 良二

社会奉仕事業助成金を送りあい、各クラブで記念事業

現在、日本には「ベイ」と名の付くロータリークラブが7クラブあります。そのすべてのクラブが友好締結し、1年に一度集まり、近況報告や活動を話し合う、題して「7ベイRC（ロータリークラブ）サミット会議」、そして「7ベイRC友好会」を開催しております。

開催地のホストクラブに他の6クラブが「社会奉仕事業助成金」を送り、その地域のために奉仕する活動をしており、当クラブがホストクラブの時は、その助成金で海難事故防止の立て看板を海水浴場に3基立てて、最近増えているジェットスキーなどの事故防止に役立てました。また、館山市立館山小学校に緑化事業の記念植樹もしています。各クラブで助成金の用途は異なりますが、良い記念事業となっております。

5ベイ、6ベイ、7ベイ……日本中に友達ができる

そもそもクラブ名に「ベイ」と付けたのが縁になり、全国のロータリークラブの会員と友達になれるって、素晴らしいと思いませんか。現在、東京、鈴鹿、神戸、館山、釧路、横浜、浦安と合計7クラブがあり、今年4月2日の友好会のホストクラブは、館山ベイRCでした。南房総市のホテルを会

釧路ベイRC（第2500地区・北海道）
館山ベイRC（第2790地区・千葉県）
浦安ベイRC（第2790地区・千葉県）
東京ベイRC（第2580地区・東京都）
横浜ベイRC（第2590地区・神奈川県）
鈴鹿ベイRC（第2630地区・三重県）
神戸ベイRC（第2680地区・兵庫県）

場に開催し、翌日は「エクスカーション」として観光地などを巡り、南房総の春を満喫していただきました。毎年、担当クラブさんの企画を大いに楽しみ、友情を深めております。

発足は、1994年4月に認証状をいただき館山ベイRCが第2790地区77番目のクラブとして誕生した時で、池田勝会員と鈴木陽一会員が、「日本に『ベイ』と名の付くクラブはいくつあるのか。友達になれるだろうか」と発案したことでした。その時点では4クラブでしたので、各クラブを回り、1995年5月に「4ベイRC友好」を横浜で締結。その後、続々とベイRCが誕生し、5ベイ、6ベイ、7ベイと増えてまいりました。

今後も「ベイ」と名の付くクラブが誕生しましたら、お誘いに伺う所存です。ロータリアンだからこそできる友情、しかも日本中に友達ができるこの「7ベイ友好会」は、われわれの財産です。

(第2790地区 千葉県)

①社会奉仕事業助成金で館山ベイRCは海難事故防止の看板を設置 ②第22回会議



① ②



ヨットなんて持ってなくて大丈夫！



ロータリーの親睦活動グループの中でも長い歴史を誇るヨットの親睦活動グループ International Yachting Fellowship of Rotarians (I Y F R) は、1947 年にイギリスで誕生しました。現在、世界 34 か国に 110 のフリートがあり、約 3,300 人のメンバーが活動中。日本に 7 つあるフリートの中の一つ、大阪湾フリートでは、会員増強の一環として「ローターアクターの勧誘を積極的に行うように」という I Y F R からの要請に応え、普段、メンバーとその家族で行っているクルーズにローターアクターを招待し、I Y F R と大阪湾フリートの活動を紹介、魅力を体感してもらいました。

参加者は 45 人中、ローターアクターが 23 人。この中には、名古屋から駆けつけた名古屋熱田ローターアクトクラブの会員もいました。さすが「FUN FUN FUN」を合言葉とするだけあり、ロータリアンもローターアクターも乗船する前から盛り上がっています。アットホームな雰囲気、ロータリアンを「おっちゃん」なんて気

軽に呼んでいるのは、まさに大阪ならではの。

クルーズは、道頓堀川「F M 大阪」前の棧橋からスタート。ゆっくりと大阪の繁華街へと進んでいきます。川岸にいる人に向かってローターアクターたちが屈託なく手を振る姿につられてか、ロータリアンも大きく手を振ります。乾杯に続き、桂三馬枝師匠による小話で、船内はさらに和やかな雰囲気になります。

道頓堀川は、パナマ運河のように水門で水位を調整するようになっていて、定期船が通る時以外は、この水門を開ける許可がなかなか下りないとのこと。今回のようにチャーター船が通航できるのは、地域でネットワークを持つ大阪湾フリートだからこそと言えるでしょう。

水門を出て大川をしばらく進むと、それまでのにぎやかさは打って変わり、大阪公会堂、大阪市庁舎、大阪帝国ホテル、そして桜の木々がライトアップされていて、ロマンチックな雰囲気です。次期コモドア（会長）の山田和義さんにヨットに乗るきっかけを伺ったところ、「そ



りゃー、女の子にモテたいと思ってな」。すてきなロケーションで口説くのは山田さんの作戦？ ムードが盛り上がったところで今回の趣旨である I Y F R、大阪湾フリーストをはじめとする日本にあるフリーストについての紹介、入会の案内がありました。I Y F R の会員証を提示すると、世界中のマリーナでゲストとして歓迎されます。ヨットなんて持ってないし……というローターアクトからの声も聞かれましたが、水辺を楽しみ、奉仕活動をする気持ちがあれば誰でも入れるという殺し文句？ に心を動かされた参加者も多かったことでしょう。

大阪湾フリーストでは今回のクルーズを機に、メンバーの若返りを図り、一緒に水辺を楽しむ仲間を増やし、活動を広げていこうと考えています。具体的には近年、大阪湾に戻りつつあるスナメリ（小型のイルカ）の生息調査を定期的に行うなど、大阪湾の環境に関する奉仕活動を計画中です。大阪の近くにお住まいのロータリアン、



ローターアクトで、この楽しい活動に興味をお持ちの方がいましたら、ぜひご連絡をとのこことです。

なお現在、国内には、大阪湾フリーストのほか、北海道、京都・琵琶湖、神戸、和歌山、瀬戸内海、九州にフリーストがあり活動をしています。

連絡先 山田 和義（大阪南 R C）

電話：090—3283—4373 Facebook もご覧ください。

取材『友』副編集長 野崎 恭子

ロータリー親睦活動グループとは

6 月は、ロータリー親睦活動月間です。ロータリー親睦活動を行っているのが、ロータリー親睦活動グループ。同じ興味や情熱を持つ世界中の仲間が集まり、交流を深めています。ロータリアン、ロータリアンの家族、ロータリー学友なら誰でも参加できるこのグループは、世界中に会員がいるロータリーならではの国際交流の場です。

関心のあるグループを見つけたら、ロータリー親睦活動グループ名簿を参考に、グループに直接連絡を取ってみましょう。活動の詳細、連絡先は国際ロータリー（R I）のウェブサイト、あるいは R I で発行している公式名簿『2015 - 16 Official Directory』でご覧になれます。海外で活動しているグループがほとんどですが、囲碁やアマチュア無線、また上記のヨットのグループは日本でも活発に活動しています。

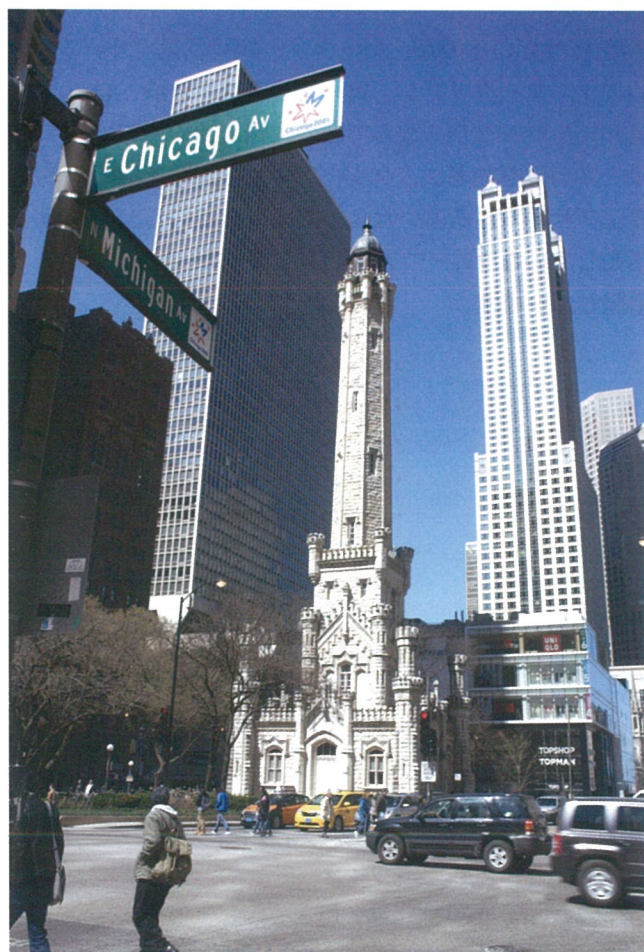
- | | | | |
|-----------------|-----------|----------------|-------------------|
| ・ 4WD 車 | ・ サイクリング | ・ ジャズ | ・ ロータリー史 |
| ・ アマチュア無線 | ・ 医師 | ・ ラテン文化 | ・ ロータリーの伝統 |
| ・ アンティーク自動車 | ・ E クラブ | ・ 弁護士 | ・ ビジネス |
| ・ 作家と著者 | ・ 編集・出版 | ・ 手品 | ・ ロータリーの切手 |
| ・ ビール | ・ 教育者 | ・ マグナグラエシア | ・ ボート（ローイング） |
| ・ バードウォッチング | ・ 環境 | ・ マラソン | ・ スカウト |
| ・ カヌー | ・ エスペラント語 | ・ バイク | ・ スキューバダイビング |
| ・ キャラバン式旅行 | ・ 釣り | ・ 音楽 | ・ シングルス |
| ・ チェス | ・ 飛行 | ・ 希少古本 | ・ スキー |
| ・ コンピューター | ・ 囲碁 | ・ パストガバナー | ・ ソーシャルネットワーク |
| ・ 料理 | ・ ゴルフ | ・ 写真 | ・ テニス |
| ・ 企業の社会的責任（CSR） | ・ 住まい交換 | ・ 警察 | ・ 品質管理 |
| ・ 大会参加者 | ・ 名誉領事 | ・ コロンブス到来以前の文明 | ・ 旅行、ホストとしてのおもてなし |
| ・ クリケット | ・ 乗馬 | ・ キルト・織物手芸 | ・ 健康とフィットネス |
| ・ クルージング | ・ インターネット | ・ 鉄道 | ・ ワイン |
| ・ カーリング | ・ イタリア文化 | ・ キャンピングカー | ・ ヨット |



ロータリーの明日

2016 年 規定審議会レポート

4月10～15日、アメリカ・イリノイ州シカゴで、規定審議会が開催されました。規定審議会は3年に1



度開催され、ロータリーの規定の改定を審議する、国際ロータリー（R I）の立法機関です。

審議されるのは、「制定案」と呼ばれる「国際ロータリー定款」「国際ロータリー細則」「標準ロータリークラブ定款」の改定に関わるものと、「決議案」と呼ばれるR I理事会が検討するよう決議するものの2種類です。

「ロータリーの歴史の節目に立ち会った」という代表議員がいるほど、今回の規定審議会では多くのことが変わりました。すべての変更点について紹介するには誌面が足りませんので、採択された制定案の中から、皆さまのクラブに影響が大きいものを紹介します。

会員身分がシンプルに

今回の変更で反響の大きかったものの一つが「制定案 16-38 会員身分の規定を変更する件」でしょう。これは「国際ロータリー定款 第5条 会員 第2節—クラブの構成。(a)」と「標準ロータリークラブ定款 第7条 会員身分 第1節—全般的資格条件」を変更するものです。

「国際ロータリー定款 第5条 会員 第2節—クラブの構成。(a)」には、6つの補則がありました。ここには皆さまがよくご存じの「一般に認められた有益な事業や専門職務の所有者、共同経営者（パートナー）、法人役員、支配人のいずれかであること」といったような条件が提示してありましたが、今回の改定ですべてが削

除されました。

これら6つの条件が消えたことによって、「ロータリーは誰でも入れるようになった。ロータリーは終わった」と言われる方がいらっしゃいます。しかし、本当にそうなのでしょうか。(a)を補則する6つの条件は削除されましたが、(a)そのものが削除されたわけではありません。変更が加えられ、

(a)クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および(または)地域社会でよい評判を受けており、地域社会および(または)世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

となりました。これまでの規定審議会では、(a)の下に補則が追加されてきました。その都度、日本では「会員身分を広げ、安易に誰でも入れるようにするものだ」という批判が出て、『ロータリーの友』にも、そのような投稿がありました。今回、それらの補則がすべてなくなったことに関して、やはり同じような「誰でも入れるようになった」という批判を耳にします。

皆さまは、どのように思われたでしょうか。私は、役職や経歴などの限定的な条件がなくなった分、その人の人となりによってスポットが当たり、ロータリアンがどういった人々の集まりかが前面に押し出されたように感じました。かえって条件が厳しくなったようにも思いました。また、こういった人柄で、どのような肩書、どのような経歴の人を入れるのか、これらはクラブの裁量に委ねられることになるのでしょうか。

この規定の変更に伴い「標準ロータリークラブ定款 第7条 会員身分 第1節 全般的資格条件」も「本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および(または)地域社会でよい評判を受けており、地域社会および(または)世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする」と変更になりました。

例会の開催に柔軟性が

「会員身分の変更」と同じくらい反響が大きかったのが、例会頻度に関する規定でしょうか。「制定案 16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件」では「標準ロータリークラブ定款 第6条」

として「例会と出席に関する規定の例外」という規定を挿入することが採択されました。

本定款の第7条第1節、第10条第1、2、3、4、5節、第13条第4節に従わない規定または要件を細則に含めることができる。そのような規定または要件は、本定款の上記の節の規定または要件に優先する。クラブは少なくとも月2回の例会を開くものとする。

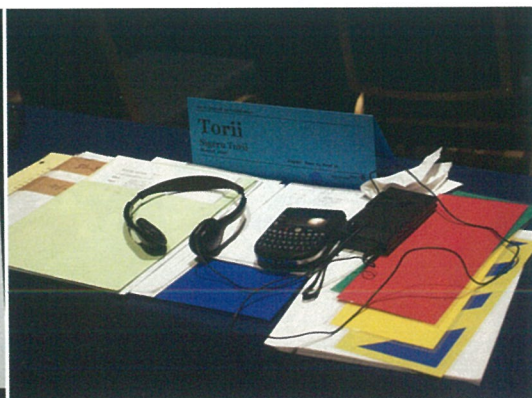
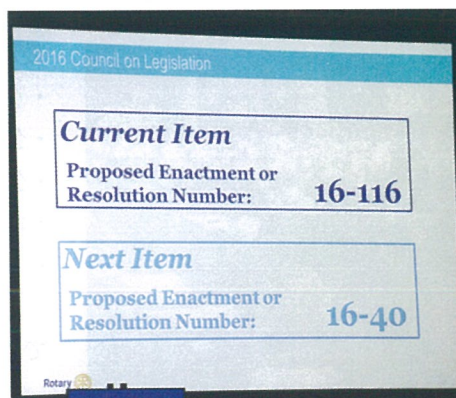
第6条が挿入されたのでちょっとややこしいのですが、上記にある7条は、現在の「標準ロータリークラブ定款」では6条に当たる文章です。

この変更を聞いて、早計に「ロータリークラブの例会が2回になった」という話が飛び交っているようですが、それは正しいとは言えません。「標準ロータリークラブ定款」の現「第6条(新第7条) 会合 第1節 例会。(a)にある「日および時間。本クラブは、毎週1回、細則に定められた日および時間に、定期の会合を開かなければならない」が、変更になったわけではありませんから。あくまでも「毎週」が基本で、それ以外の頻度を「細則に定めてもよい」ということなのです。

また修正案が出され、「少なくとも月2回」という文言が追加されました。例えば「第1と第3月曜日」を例会日に定めて、どちらかが祝日に当たった場合、そこを休会にしてしまうと、「少なくとも月2回」にはなりませんから、祝日でも例会を開くか、ほかの日に例会を開くかしなければいけませんので、要注意です。

さらに、例会に関する大きな変更の一つは、「制定案 16-30 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認めるよう、出席規定を改正する件」と「制定案 16-82 従来型クラブとEクラブの区別をなくす件」が、採択されたことです。

これまで、従来型のクラブではインターネット上で例会を開催することはできませんでした。一方、Eクラブでは、顔を合わせた従来型の例会を開くことはできませ



んでした。これが、いずれの場合も認められ、従って、従来型クラブとEクラブを区別するのをやめる、というのが、これらの立法案です。

例えば、最終週だけインターネット上で例会を開くとか、最終週だけ顔を合わせた例会を開く、ということが可能になったということです。

日本の場合、月曜日に国民の祝日が多く、月曜日を例会日にしているクラブはほかの曜日を例会日にしているクラブより1年間に開催される例会が少ないという実情がありました。今回、「制定案 16-26 例会取消の規定を改正する件」が採択され、その週に国民の祝日があれば、ほかの曜日でも例会を休会してもよいことになりました。

この規定変更により、これまでより年間の例会回数を減らすことが可能になりました。クラブの運営費を考える時、一番大きく占めているのが例会費ですから、例会を減らすことができれば、財政的には「楽になった」「助かった」というクラブも多いでしょう。しかし、「仲間たちと会う機会が減って寂しい。これまで通りに例会は行う」、そんな言葉が聞かれるロータリークラブであってほしいと思います。

クラブの財政面への影響は

財政的な問題で言えば「制定案 16-07 クラブ会員の入会金を廃止する件」が採択されたことは、クラブにとって影響が大きいと思われます。「標準ロータリークラブ定款 第 11 条 入会金および会費」ならびに「第 15 条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守」の「入会金」が削除されました。すなわち、すべてのクラブで、新会員に対して入会金の支払いを求めることができなくなったということです。相当の入会金を見込ん

で予算を立てているクラブもあると思います。入会金がなくなればその分を会費の値上げで補填^{ほてん}するのか、運営費や奉仕活動費を削らなくてはいけないのか。

これまで規定審議会のたびに、R I の財務状況の厳しさが説明され、毎年 1 ドルの人頭分担金の増額が採択されてきました。今回の規定審議会でも、「毎年 1 ドル人頭分担金を値上げする」立法案が、R I 理事会から提出されていました。

審議が始まる前日、開会式での R I 財務状況の説明では、「1 ドルずつの値上げでは余裕がない。4 ドルずつ値上げをすれば将来的に財政が安定する」との説明があり、「制定案 16-99 人頭分担金を増額する件」は、金額を 4 ドルに修正して提案され、採択されました。2016 - 17 年度の人頭分担金は、半期 28 ドル（年間 56 ドル）、2017 - 18 年度は半期 30 ドル（年間 60 ドル）、2018 - 19 年度は半期 32 ドル（年間 64 ドル）、2019 - 20 年度は半期 34 ドル（年間 68 ドル）になります。

日本のロータリアンにとって、4 ドルという金額はそれほど大きい額ではないかもしれませんが、人頭分担金は会員の年会費から支払われる場合が多いので、年会費を値上げしないとすれば、その負担がクラブにのしかかってくるかもしれません。予算を立てる時には、ご注意ください。また、必要な経費は仕方がないとして、R I もコストダウンに励んでほしいと考える会員も多いことでしょう。

クラブの理事会・委員会構成は

「制定案 16-05 クラブ内の委員会について規定する件」では「標準ロータリークラブ定款 第 10 条」が「第 10 条 理事および役員、ならびに委員会」となり、「第 7 節一委員会」の項目が加わりました。

第 7 節一委員会。本クラブは次の委員会を有すべきである。

- ・クラブ管理運営
- ・会員増強
- ・公共イメージ
- ・ロータリー財団
- ・奉仕プロジェクト

必要に応じて追加の委員会を任命できる。



皆さまのクラブの委員会は、どのように構成されているのでしょうか。

すべてのクラブで、すでに新年度のクラブ理事会のメンバーが決定していることと思います。これまで会計は「ロータリークラブ細則」で理事会メンバーに含めることができていましたから、理事会に会計が入っていないクラブもあるでしょう。「制定案 16-02 クラブ会計が理事会メンバーとなるよう規定する件」が採択され、会計を理事会メンバーとすることが決まりました。

クラブへの影響が大きい立法案についてご紹介しましたが、このほかにもクラブに関わる立法案が採択されています。詳細は、R Iから皆さまのクラブに送られる報告書でご確認ください。また、今回の決定に不服がある場合は、その旨をR Iに申し出ることもできます。その方法についても報告書に記載されています。

最近、会員増強に関する講演の依頼を受け、過去から現在にかけての会員数を分析する機会がありました。日本全体で言えば、会員数の減少が止まり、少しずつですが回復傾向にあります。しかし、地区別に見ると、会員数がしっかり増えている地区と、いまだに減少傾向にある地区があります。さらにクラブの状況を見てみると、その傾向は顕著で、元気よく増えているクラブと努力にもかかわらず減少傾向に歯止めがかからないクラブとの間で、差が広がっていることがわかりました。

この原因は、経済状況や地域の場合によるものが多いと思われますが、今回の規定審議会を受け、どのように「ロータリークラブ細則」を変えるのか、その結果がクラブの将来を左右することになると思います。

楽な方へと走りすぎると、クラブの面白さや良さが半減して、さらなる会員数の減少を招くことになるかもしれません。一方で、厳しすぎても、ほかのクラブと比較して「なぜ、うちばかり」という不満が出てくるかもしれません。

伝統を重んじ、古きを守るのは大事なことです。しかし、新しいものに対して拒絶をすれば、取り残されてしまうかもしれません。

今回の規定審議会では、「柔軟性」という言葉がよく聞かれました。その結果、クラブに「責任の重さ」を突



きつけられることになったようにも思います。単に規定の変更に沿って「ロータリークラブ細則」を書き換えるのではなく、自分たちのクラブのあり方や未来をじっくりと見つめて、「ロータリークラブ細則」を変更しなければならないと思います。

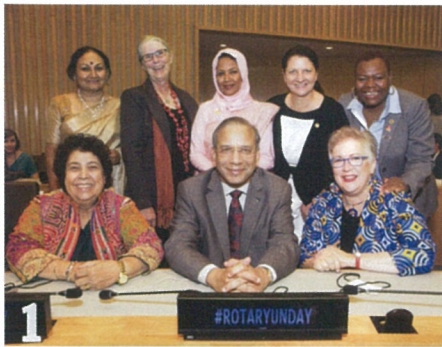
クラブの個性が顕著になり、ロータリークラブに入会するか否かではなく、どのロータリークラブに入会するか会員候補者が悩む、そんな時代が来るかもしれないなどと想像するのも悪くはないかもしれません。自分たちのクラブを見つめ直す良い機会になれば、ロータリーの歴史は良い方向へと書き換えられることでしょう。

取材『友』編集長 二神 典子

ラビンドラン R I 会長と奉仕の一年

K. R. ラビンドラン国際ロータリー (R I) 会長は、2015 - 16 年度、エバンストン (アメリカ・イリノイ州) のロータリー世界本部から母国スリランカに至るまで、世界各地を巡り、ロータリアンを鼓舞し、激励するスピーチを行ったり、ロータリーの活動を披露するイベントに参加したりしました。その際、バナティー夫人が同席することもよくありました。また、レイ・クリングスミス財団管理委員長とともにロータリー重点分野に関連する 5 つの R I 会長主催会議を開催しました。投資市場が低迷する中で、会長は、ビジネス感覚でロータリーの運営に取り組み、あらゆるレベルでの適切なガバナンス、コスト削減、透明性、説明責任に重点を置き、見直しを行いました。

ラビンドラン会長の母国では、スリランカ初の R I 会長を祝う記念切手が発行されました



1 ニューヨークの国連本部で 2015 年「Rotary Global Women of Action」授賞式で受賞者と面会したラビンドラン会長夫妻。| 2 ビッグ・マイクこと第 9125 地区ガバナー、オモトショ氏とともにナイジェリア・アブジャでのポリオ予防接種活動に参加。| 3 R I B I (グレートブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー) のシニアリーダーとイギリスのロールスロイス本社を訪問。| 4 ジミー・カーター元アメリカ大統領と握手。| 5 セ

グウェイに乗ってソウル国際大会の会場を視察。| 6 ジンバブエでのロータリー財団プロジェクト視察の際にダンスに飛び入り。| 7 カリフォルニア州パサデナ市で新年に開かれるローズパレードに山車に乗って参加。| 8 バングラデシュ・ダッカの大学でキャリア開発について講演。| 9 識字プロジェクトの一環としてオランダから贈られた自転車に乗り、学生たちとともに死海の周辺地域で実施された募金活動に参加。| 10 子ども病院にへ



リコプターを寄贈したアメリカ・アラバマ州バーミングハムのロータリアンたちと。| 11 マルタで開催されたイギリス連邦首脳会議でポリオ撲滅活動の進捗を説明。| 12 インドのプラナブ・ムカルジー大統領と面会。| 13 アメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会の夜、ラビンドラン氏のR Iテーマ「世界へのプレゼントになろう」にふんしたR I理事会メンバーと。| 14 3月、ラジェンドラ・サプー元R I会長とともに、ルワンダの

病院での医療派遣団に参加。| 15 フランス・カンヌに集まったヨーロッパのガバナーたちとともに。| 16 アメリカ・サンノゼのロータリークラブ 100 周年記念プロジェクトで設置された Rotary PlayGarden で、カリフォルニアのロータリアンとともに。| 17 ポーランドにある欧州連帯センターで開かれた東欧での民主化を祝う行事に参加。| 18 ロータリー世界本部を訪れた孫のライカちゃんを腕に抱いて。

粉ミルク、ベビーフード……一刻も早く届けたい

福山北RC 田中 宏



フェイスブック上で「HELP」の文字が目飛び込んでくる。「新生児用の粉ミルクが底をつく…ベビーフードが買えない…。4月14日に起こった熊本地震のことである。

翌15日、当クラブの例会時に会員同士の「困っている方々に、今、必要とされている支援物資を送れないだろうか。そのことが一番皆さんの助かることなのではないだろうか」と本気で心配する会話があちこちで聞かれた。

大手の宅配業者は熊本方面への配達の受け付けすらし

ていない状況で、「なおさら物資を届けたい！ じっとしてはいられない」。そんな中、18日、当クラブ会員が自社で使っているトラックを貸してくれることになり、これで運送手段ができた。

届けたい……ただそれだけのこと。今すぐにでも……。私が所属する奉仕プロジェクト委員会で相談したら、即刻、会長に話が伝わり「必要とされているタイミングで、支援先と求められている物資がわかっているのなら、即刻GOしてください！」と鶴の一声でプロジェクトが動き出し、流れは大きく強くなった。

19日、一日中市内を走り回り、支援物資を買い求めた。そうした動きを察知したのであろうか、企業から現金の振り込みや大量の商品提供の申し出があった。

乗車したタクシーの運転手の方も、車中での私の電話のやり取りを聞き、事情がわかったのか、突然、「少しですが使ってください！」と支援金を手渡してくださいました。支援物資を購入した店舗の女性店員の方は「個人でさせてください！」と2ケースの水を託してくださいました。企業や個人、他クラブ会員からも支援金や水、米、オムツが届いた。クラブの思いが人から人へと伝わっていく。福山北ロータリークラブ（RC）に所属していて良かった。



いつか、物流も再開し、支援物資も現地で供給も安定するであろう…。しかし、今まさに、被災地で足りないものを求めて声を上げている人の存在を知りながら、何もせずに手をこまねいていてよいのであろうか。その声に会長以下、福山北RCは俊敏に行動した。

大きな流れとなったこの支援活動は、わずか2日間ではあったが、準備できた支援物資は4tトラック約1台分となったのである。19日午後7時、たくさんの方々からの善意を満載したトラックは、会員に見送られ、福山の地を出発した。

20日午前0時30分、九州自動車道植木インターを出て熊本市へ向かう。国道3号線から市内へ入るにつれブルーシートが屋根にかかった家屋、割れたガラスをビニールでカバーし営業を続けるコンビニが目に見えだしてきた。一見、普通に見えている景色の中に被災家屋や店舗があった。

熊本市内から届け先の嘉島町へ。市内から続く道路は所々隆起し、橋に架かる部分は30cmほどの段差があり、非常に危険な状態であるにもかかわらず、カラーコーンが置いてあるだけ。進むにつれ倒壊家屋の数が増えてくる。コンビニというコンビニは、全てガラス破損を警戒して、ロールスクリーンを下まで降ろしているのが町が暗い。不安な中、現地に無事到着し、朝までコンビニの駐車場で仮眠。

夜が明けて、待っていてくれた現地の社長と若いスタッフの皆さんとともに荷降ろしを行ったが、社長は泣きながらの荷降ろしであった。「田中さん本当にありがとうございます」と何度も何度もお礼の言葉をいただいた。

届けた物資は、指定避難所となっていないために物資が届かない近隣の3か所の避難所へ、弊社同業者の仲

被災者の皆さまに お見舞い申し上げます

4月に起こった熊本地震でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまにお見舞いを申し上げます。

この度の地震の支援に関して、第2720地区（熊本県・大分県）では、「ロータリー熊本地震総合支援室」を設置し、下記、送金口座を開設しています。

大分銀行（普通）わさだ支店

口座番号 7525277

口座名 熊本地震総合支援室

支援金は主に、地元のロータリアンによる被災地での支援活動ならびに今後の復興支援の費用に充てられます。

また、既に現地に入り、緊急支援活動を実施されたクラブもあります。

『ロータリーの友』では、熊本地震関連の情報を発信していきます。必要な支援についての情報、支援状況に関する情報などをご提供ください。

被災された皆さまに役立つ支援ができるよう、誌面を通して情報を共有できますよう、重ねてお願い申し上げます。

間と手分けして配布した。

一番気になっていた、新生児用の粉ミルク、ベビーフードも直接手渡しで届けることができたとの報告を聞き、今回の「素早いピンポイントの支援」は、被災した多くの方々に善意の絆につながった、大変有意義な支援活動であったと実感している。（第2710地区 広島県）



福島県内児童養護施設に除雪機を贈る

伊勢崎ロータリークラブ



呈を決めました。

11月21日、当クラブ会員13人と長期青少年交換学生1人、米山奨学生1人も参加して、往復8時間のバス移動でしたが、「贈呈式」を行い、ロータリーの奉仕活動としての充実した一日を過ごすことができました。

現地に到着した後に簡単な打ち合わせを行い、施設の近況報告を受けた後、会場として用意してもらった施設内の講堂に入りました。驚いたことに、子どもたちによる「手作り」の会場が用意されていて、会員の方

伊勢崎ロータリークラブでは、東日本大震災発生以後、クラブのテーマとして継続した支援を行っています。今年度は地区補助金活用事業として、福島県内にある児童養護施設に除雪機を贈呈しました。

担当委員長ほか、プロジェクトメンバーが現地に出向き、施設長や関係者とのヒアリングを重ね、除雪機の贈

が先に感動を受けてしまいました。

その後、青少年交換学生と米山奨学生は子どもたちと室内で交流しました。会員は当初から予定していた、まだまだ放射能汚染の影響の残る運動場で、落ち葉や枯れ枝などの清掃を行い、放射能による影響を少しでも減らす手助けができました。

(第2840地区 群馬県)

希望の風奨学金募金

和光RC会長 高木 茂

和光ロータリークラブ(RC)では11月15日、「和光市民まつり」(同月14～15日開催)で、ロータリー希望の風奨学金やロータリーの奉仕活動を市民の多くに知ってもらうため、ロータリーデーとして活動を展開しました。

市役所中央広場にテントを設けて^{のぼり}幟を立て、米山学友^{キンラン}さん(2006～08年度/新座RC)、謝有明君^{シャユウメイ}(08～09年度/和光RC)、単体香さん^{タンタイコウ}(13～14年度/

志木RC)と、現役の米山奨学生である柳^ユ姫希さん(川越中央RC)、李^リ健さん(東松山むさしRC)の5人と、当クラブ会員で募金を呼びかけ、当クラブの活動を紹介したパンフレット、ロータリーの友事務所発行の広報誌『ROTARY 世界と日本』を来場者に配布しました。

当日は朝から雨で、どうなることかと心配しましたが、午前11時ごろから天気が回復して晴天となり、皆で胸をなで下ろしました。米山学友と米山奨学生は民族衣装で参加し、多くの市民の注目を集めることができ、感謝、感謝です。

ロータリー希望の風奨学金の募金箱は同じ地区の志木RC、幟は朝霞キャロットRCからお借りしました。おかげさまで募金も4万6,862円集まり、同月20日に振り込み手数料を差し引いた金額を、和光市を経由し、同奨学金を運営するロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会に送金しました。

(第2570地区 埼玉県)



希望のコンサート ～花は咲く～ 佐伯RC 上尾 大輔



3月21日、津久見市民会館大ホールで東日本大震災復興支援コンサートが開催された。津久見ロータリークラブ(RC)の姫野秀一会員が代表で、佐伯RCの上尾大輔会員が委員の「希望のコンサート・花は咲く」実行委員会が主催し、津久見RC、佐伯RC、津久見市教育委員会、大分合同新聞が後援した。コンサートのはじめに、震災当初から「赤ちゃん助け隊」として子どもたちの支援を継続して行っている医師・緒方俊一氏が、「復

興支援の現状について」と題した基調講演をした。子どもたちの環境改善への支援が特に必要という内容であった。

引き続き、姫野会員によるテノール独唱(ピアノ伴奏：上尾会員)、津久見樫の実少年少女合唱団と津久見男声合唱団ライムストーンの合唱、辛島慎一氏によるチェロ演奏(ピアノ伴奏：辛島明美氏)、植木千明氏によるソプラノ独唱が、400人の聴衆の前で披露された。最後に姫野会員と植木氏が震災の被災者への祈りを込めてデュエットで「プレイヤー」を歌い、アンコールとして出演者全員で「花は咲く」を演奏し、会場は大いに沸いた。

当日会場では募金箱を設置し、得られた支援金は「赤ちゃん助け隊」を通して全額石巻市の相川保育園などに寄付した。合唱団の子どもたちや来場した方々に被災地の現状を知ってもらうことができ、これも支援につながるものであることを願っている。(第2720地区 大分県)

気仙沼市只越にバス停留所を設置 大阪東ロータリークラブ

当クラブでは東日本大震災の復興支援を行うに当たり、当初の義援金による支援に加え、独自のプログラム一復興後の生活に役立つ支援を、と考えてきました。

そうしたなか、阪神・淡路大震災の経験を生かして、東北支援のコンサルタントに携わっている野崎隆一氏に気仙沼市只越地区の復興協議会を紹介いただき、縁ができました。同協議会の例会を訪問するなかで「何ができるのか」を考えている時、「東日本大震災復興基金」から「復興プロジェクト」の募集があり、早速「只越バス停留所屋根設置プロジェクト」として応募、認可されました。



同地区は気仙沼市街からほど近い60世帯ほどの地区で、津波で全滅、高台への移転を余儀なくされました。協議会のリーダーの尽力もあり、比較的スムーズに移転がなされた地区ではありますが、それでも5年の歳月を要しました。設置に当たっても行政の壁に難渋した時期もあり、訪問は計7回に及びましたが、地元・気仙沼南ロータリークラブの支援、助力(行政への申請から施工まで)により、2015年12月、無事完成引き渡しを行うことができました。

引き渡しにあたって感謝状をいただき、また、中学校・高等学校の統廃合によって通学距離が長くなり、これに伴ってスクールバスの運行が決まり、その起点として利用されることになったとのうれしい話を聞きました。地元紙にも掲載され、地域の、特に若い人たちにロータリーのロゴとその精神が心に残ってくれればと思います。

引き渡しに当たっての当クラブ会長の言葉「皆さまの心のオアシスに」が、私たち、そして全世界のロータリアンの願いです。復興基金の皆さま、気仙沼南RCの皆さま、そして関係各位にあらためてお礼を申し上げるとともに、末永く利用してもらえることを念じております。(第2660地区 大阪府)

東日本大震災

World Roundup

世界のロータリーニュース



スイス

第2000地区（リヒテンシュタイン、スイスの一部）は11月、ルツェルンの街で開かれた2回のコンサートを通じて、50万ドル（約5,500万円）近くをポリオ撲滅のために集めました。「Music for Life（命の音楽）」と名づけられたこのコンサートは、全国ポリオプラス・アドボカシーアドバイザーを務めるウルス・ヘルツォーク氏の発案によるもの。K. R. ラビンドラン国際ロータリー会長、インターナショナル・ポリオプラス委員会のマイケル K. マクガバン委員長をはじめ、世界各国の政治とビジネスのリーダーが、このコンサートに出席しました。コンサートでは、バーゼル室内管弦楽団と、南アフリカ出身のピアニスト、クリスティアン・ベザイデンホウト氏が共演しました。

ヘルツォーク氏は、アルシュヴィルレギオオーバーゼル・ロータリークラブ（RC）の会員で、第1980地区のバスターガバナーです。10年間ボランティアをしたオーケストラとの結びつきを生かし、2013年からこのコンサートの計画を始めました。

自身もまたポリオの生存者であるというヘルツォーク氏によると、1,400人の聴衆のうち、約3分の2がロータリアンだったそうです。2015年6月には、リントベネRC、オーベラチュールヒ湖RC、ウーフェナウRCによる、スイスのポップ歌手・ベアトリス・エグリを目玉とするコンサートが開催されました。

—ブレッド・ウェーバー



ナイジェリア

イケジャ・ロータリークラブによる経済的支援により、ラゴス州イソロでは、起業したばかりの数多くの小事業が成長しています。この小口融資プロジェクトは昨年、融資額がおよそ2,500ドル（約27.5万円）に倍増しました。受益者は肉や農産物の販売者、漁師、理容師などです、とクラブ会長のトシン・カディリ氏は言います。このプロジェクトは、クラブの募金活動と会員からの寄付で支えられています。「小口融資プログラムは、恵まれない地元の人々に力を与える上で成功している」と、カディリ氏は言います。「滞納なく全額が返済されていることは、このプロジェクトが正しく認識され、持続可能なものであることを物語っています」

ナイジェリアのラゴス州には、320万以上の「小規模事業」（従業員10人未満）が存在します。



アメリカ

オハイオ州のフェアボーン・ロータリークラブ（RC）は、ロータリーの「四つのテスト」を教える児童書を 10 万冊以上販売しました。『Andy & Elmer's Apple Dumpling Adventure』と題されたこの絵本は、塗り絵の付録つきで、「良き市民であること」「ルールを守ること」「チームワーク」をテーマとした物語が盛り込まれています。この識字率向上プロジェクトを 10 年前に立ち上げた会員、ドットー・ミード氏によると、アメリカ国内 300 以上のクラブがこの本を購入し、地元の小学校や図書館に寄贈し、その売り上げはフェアボーン RC の奉仕プロジェクトの主な資金源となっているとのこと。詳細と注文については andyandelmer.com をご覧ください。

2014 年、アメリカでは約 20 億ドル（約 2,200 億円）相当のさまざまな児童書が販売されました。



ネパール

2015 年にネパールでマグニチュード 7.8 の地震が起きた 5 か月後、アメリカ・ジョージア州・ストーンマウンテン・ロータリークラブの会員 13 人が、医療物資 50 万ドル（約 5,500 万円）分が詰まったコンテナを現地に発送しました。物資の多くは、ロータリアンたちによって修復された中古品でした。同クラブと第 6900 地区は、送料 1 万ドル（約 110 万円）を負担し、恵まれない人に医療物資を提供している非営利団体「Friends of Disabled Adults and Children」と協力してこのプロジェクトを実施しました。装具、治療用テーブル、歩行具、松葉づえ、子ども用車いす、病院用ベッド、マットレス、室内用便器が、約 40 フィート（約 12m）のコンテナで輸送されました。



モーリシャス

小さな島国、モーリシャスの首都にあるポートルイス・ロータリークラブの会員は、高い失業率、アルコール・薬物乱用、その他の社会問題を抱える郊外の学校（ZEP = Zones d'Education Prioritaire）に、温かい食事を提供するプロジェクトを実施しています。広がりを見せるこのプロジェクトは、2006 年、当時の会長ベルナール・レオンソン氏の妻、セシル夫人の提案で始まりました。レオンソン家では、2 学期間、30 人の生徒の朝食を自費で賄っていましたが、ロータリアンの協力があればもっと大きな影響をもたらせると考えました。以来 10 年間、クラブは、18 万 8,000 ドル（約 2,068 万円）以上の資金を投じて、6 つの学校（ZEP）の 500 人近い生徒に食事を提供してきました。貧しい家庭の子どもたちは、より定期的に学校に通うようになり、栄養のある朝食のおかげで学習意欲も湧くようになりました。学校側も、食事によって成績や学習態度が良くなったと評価しています。このプロジェクトでは企業も資金援助に協力しています。



退任の弁

ロータリーの友委員会委員長
一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事

橋本 長平(京都東RC)

過去2年間にわたって、友委員長ならびに友事務所代表理事を務めてきましたが、この6月末日付で任期満了に伴い退任します。任期中には、皆さんから大変温かいご支援をいただき、あらためて感謝申し上げます。私に引き続き、次年度からは、清水良夫パストガバナー(現副委員長、理事、第2590地区・横浜RC)が、友委員長ならびに友事務所代表理事に就任してくれまので、私同様同君にも皆さん方からの温かいご支援・ご協力を、ぜひともお願いします。

さて、退任をするにあたって在任中に感じたことを少し述べさせていただき、退任のあいさつに代えさせていただきます。

日本のロータリー地域雑誌『ロータリーの友』の購入率は非常に高く、法人友事務所としましても大変ありがたいところであると思います。しかし、中身が実際によく読まれているのかと言えば、皆さんも先刻ご承知の通り、単純にイエスとは答え難いのが実情です。記事が面白くないからというのが、その理由でしょうか？

何もかも忘れて引き込まれるほどの記事でいっぱいというのであれば、読書率が上がることは、今さら言うまでもないことでありますが、『友』の性格上そのようなことは望むべくもありません。かといって『友』はつまらない記事ばかりなので読むに値しないというのも、当たっておりません。

『友』編集部では、毎年、全国34地区の友地区代表委員の皆さんに集まってもらって『友』全般についてディスカッションをしていただくのですが、そこで出る意見を聞いてみると、決まって『友』は面白い、役に立つ、毎号読むに値するなどの積極的、前向きな意見ばかりで終始するのが常なのであります。問題はそのような方でも、友地区代表委員になるまでは、そんなことに気が付かないで、積読することが多かった、と言われる方が結構多いということでもあります。

ここで翻って考えてみますに、注意しなければならないことは、地区代表委員は、あくまでも『友』に協力を

してくれる立場ですから、その発言についての評価は、一定程度割り引かなければならないというのが一点であります。決して前向きな意見を述べてくれる地区代表委員の発言が虚偽というわけではありません。でも一定程度の方は、あまり面白くないなどとの発言は控えておられるやもしれません。

さらに検討しておかなければならない点は、なぜ、地区代表委員になってからしか、『友』を積極的に読まなかった方が多いのかという点であります。むしろこの点を重視しなければならないかもしれないとも思います。ここから先は、私個人の大胆な推測の域に入ることかもしれませんが、今『友』の記事の多くは、報告の性格を持つ記事や紹介記事が多すぎるのかもしれませんが。記事の内容は、素晴らしいし、感動を与えてくれるものも多く掲載されております。しかし議論の種になるような記事は、ほとんどありません。一方でロータリアンと呼ばれる方は、議論が好きな方が多いように見受けられます。もし議論の余地がある記事が載せられたり、論争そのものが記事になれば、そうした記事に大きな関心を寄せ、クラブなどでも議論が湧き上がるかもしれません。もしそのような事態にでもなれば、仮にそれが難しい議論でロータリー初心者にはついていけないものであっても、それを契機に『友』のページを開いてくれるやもしれません。今後も私は『友』に関っていくしますので、そのような記事掲載の工夫も考えていきたいと思っております。

以上長々と書いてしまいましたが、要は、『友』を読んでもらいたいのです。『友』委員会の監督のもとに編集スタッフが毎日毎日工夫を凝らして、全国のロータリアンにいかにしたら読んでもらえるかを考えながら作業に従事しています。その辺りの事情も頭に入れながら、『友』をその字の意味する通りに「購読」してくだされば、私の意とするところは尽くされたことになります。

第2650地区(福井県・滋賀県・京都府・奈良県)2007-08年度ガバナー

「ロータリークラブ細則」の変更がクラブの明日を決める

今月号では、4月に開催された規定審議会のレポートを掲載しています。ご存じのように、規定審議会は3年に1回開催される国際ロータリー（R I）の立法機関です。規定審議会に提出される立法案には、R I 理事会から提出されるものもありますが、ほとんどが世界各地のロータリークラブや地区から提出されるものです。また、R I 理事会から出された立法案の中には、前回の規定審議会でR I に委ねられたものもあります。加えて、この規定審議会に投票権をもって参加する代表議員は、各地区でしかるべき手続きを経て選任されたパストガバナーです。

このような経緯を見ると、規定がトップダウンで押し付けられたものでないことがわかりいただけると思います。

規定審議会で審議される立法案のうち制定案と呼ばれるものは、「国際ロータリー定款」「国際ロータリー細則」「標準ロータリークラブ定款」にかかわるものです。これらは、クラブで勝手に変更することができない規定ですから、ロータリークラブとしては無条件に受け入れ従わなければいけません。ですから、どこがどのように変更になったのか、しっかり確認し、クラブ内でも話し合ってください。

その上で、各クラブでは「ロータリークラブ細則」を変更しなければいけません。細則の変更には当たっては、上記の3つの規定に反してはいけないことになっていますが、今回の規定審議会では「標準ロータリークラブ定款」と異なった規定を入れてよいという項目もあります。ただし、これはあくまでも例外的なもので、すべての項目をクラブの裁量で勝手に変更できるということではありません。

さて、そのクラブ細則の改正については、一定の規則があります。つまり、例会で会員の3分の2以上の賛成投票があってはじめて改正できるのです。また、細則の改正案は、当該例会の少なくとも10日前までに、すべての会員の手元に届いていなければいけません。

例えば、今回の規定審議会による

改定で注目されている「例会頻度の変更」に関しては、「標準ロータリークラブ定款」が変更になったわけではありません。定款ではあくまでも「毎週」例会を開催することになっています。したがって、例会を月2回とか3回に変更する場合は、必ずクラブ細則の改正をしなければなりません。ですから、クラブ理事会で決定して終わりというのではなく、前述の手順でクラブ会員全員に諮らなくてはならないのです。

ところで、クラブや地区から提出された立法案を、自分たちの代表が審議して採択するか否かが決定されますが、それでもクラブにとって不本意な立法案が採択されることもあります。この場合、クラブは所定の手続きで異議申し立てをすることができます。皆さまがこの記事をお読みになるころ、R I から正式な資料がクラブに届くことでしょう。確認して、手続きを取ってください。

とは言うものの、全世界の5%以上のクラブから反対の表明がなされ、審議会の結果が保留される可能性は低いかもしれません。その場合は、次回の規定審議会に向けて、立法案の提出を検討ください。前回の規定審議会での決定がくつがえったという前例は意外にあるのです。

今回の規定審議会の結果、クラブの裁量が増えたように思います。その分、クラブの明日がどうなるのか、個々のクラブにかかることになりました。これを機に、クラブの明日について話し合ってみませんか。

『友』編集長 二神 典子





“よねやま”から広がる新しい世界 ⑬

米山には出会いと楽しみが待っている



新潟中央RC
(第2560地区 新潟県)

カウンセラー

箕輪 光泰 さん

寄付の楽しみ、米山の魅力

私は米山記念奨学事業に、特段崇高な理想を持っているわけではないし、奨学生と関わったことで自分の中に革命的な変化が起きたこともありません。でも、いろいろな国の人間と付き合うことは、単純に面白い。日本人ではなく外国人を支援することに、この事業の面白さがあると思っています。金持ちの国から来た留学生を支援している、といった声も聞きますが、完璧な制度などこの世にありません。少なくとも私が関わってきたのは、つましい生活で自炊しながら勉学に励む学生ばかりです。

私のクラブでは、寄付する人としらない人とで不公平が生じないように、私がクラブ米山奨学委員長になった時に理事会に諮って、ロータリー財団にも米山記念奨学会にも会員全員から寄付を集めるようにしました。私も毎月寄付をしますが、その理由は、例会で発表されれば、その都度思い出して寄付をする仲間が増えるからです。

寄付は会員として当然の義務だと思っています。米山への寄付は、確定申告をすれば所得税が控除されるのも魅力ですね。お金には稼ぐ楽しみ、ためる楽しみ、使う楽しみ、そして寄付をする楽しみがあるのです。なぜ寄付が楽しいのかというと、形が見えるからです。われわれの寄付で留学生が支援できる。だから私は米山だけでなく、もちろん財団にも、それ以外の民間団体にも、寄付が形となって見えるところに支援をしています。

米山記念奨学事業を知らない会員はまだたくさんいます。私が地区米山奨学委員、そして委員長を拝命した時には、県内各クラブの例会にお邪魔をして、米山に

ついて卓話をさせてもらいました。おかげでロータリアンとしての輪も広がりました。これも米山記念奨学事業の醍醐味のひとつだと感謝しています。

彼の胸にバッジを着けるその日まで

さて、私たちのクラブにやってきた7人目の米山奨学生は、アルバニア出身の留学生ブレンディ・パロリでした。アルバニアって、どこだ？ 大抵の日本人がそう思うように、私もまずはそう思いました。

会ってみると、映画俳優のようないい男。出会ったその日に招待を受け、彼の家へと出掛けました。のちに米山奨学生となる奥さんのアルバナ、まだ幼かった長男を紹介してもらい、この日から家族ぐるみの付き合いがスタートしました。初めてのアルバニア料理に、初めての70度の酒。チェイサー（口直し）はコーヒーです。新潟は酒処ですから酒の強さには自信があるほうですが、あれには参りました。

ブレンディはアルバニアに関する本を夫婦で出版するなど、この地域に根付いて交流を深めています。4月からは新潟経営大学に勤務し、県内観光の魅力を日本の若者たちに教え、新潟の観光資源を発掘しています。いずれ必ずロータリアンになると宣言してくれています。ブレンディの胸にロータリーの会員バッジを着ける日まで、私もまだまだ元気に頑張らねばなりません。



被災者支援のため、学友たちと水ギョーザ作り

日本に留学し、勉学に励む外国人の出身地はさまざまです。日本人にはなじみの薄い国からの留学生とも、時には生涯にわたる友好関係を築けるのが、米山記念奨学事業の魅力の一つです。今回は「アルバニアって、どこだ？」という興味から始まった、カウンセラーの箕輪光泰さんと奨学生のブレンディ・バロリさんとの交流、また、ブレンディさんには、米山奨学生になったことで芽生えた新たな感情や決心について語ってもらいました。



米山学友（新潟経営大学専任講師）
ブレンディ・バロリさん

出身：アルバニア
奨学期間：2005 - 07
学校名：新潟大学大学院

新たな気持ちの芽生え

アルバニアから来たというと、皆さん微妙な表情になりますね。認知度の低さは覚悟していましたが、アルメニアと間違えられた時には少しショックでした。

2000年に来日し、国費奨学生として山形大学修士課程を修了後、新潟大学大学院博士課程へ進学。私費留学の大変さは覚悟していましたが、家族を抱えての1年間は、二度と思い出たくありません。博士課程2年で米山奨学生となり、ようやく生活にも気持ちにも余裕が生まれました。奨学生として参加した佐渡島巡りやブドウ狩り。日本には良い文化があるなあと実感しました。そして、ボランティア活動に関わったことが、私の気持ちに変化をもたらしたのです。

私が新潟に来てから大きな地震が二度ありました。2004年の新潟県中越地震の後、学友会の仲間と仮設住宅に行き、足湯と水ギョーザを提供しました。私は

現役の奨学生でしたが、この体験を通じて、「自分の研究で社会の役に立ちたい」という思いに加え、「平和な世界と平等な社会のために頑張りたい」という気持ちが芽生えました。その後、東日本大震災の時には、山形大学時代の仲間と何度も被災地を往復しました。

人との交流を大切に

米山記念奨学金は、人との交流が大きな魅力です。奨学期間後も続く人間関係を手に入れることができます。将来、私は必ずロータリーに入会しますし、入会するなら新潟中央ロータリークラブと決めています。恩返しの気持ちもありますが、クラブの雰囲気が好きだし、自分も米山奨学生の面倒を見たいと思います。

現在は新潟経営大学観光経営学部で、観光について教えています。“灯台下暗し”で、地元の人が気付かなくても、外国人から見れば驚くような観光資源が新潟にはあるのです。今後も大好きな新潟で、若者を育てつつ、母国と日本との距離を近づけられるよう、努力していきます。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、または“よねやまだより”についてのご意見を、当奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



韓国米山学友によるロータリー衛星クラブが誕生

韓国に、創立会員31人全員が米山学友というロータリー衛星クラブが誕生。その名も、第3650地区・セソウルロータリークラブ(RC)のもとに創立された「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」。3月26日、ソウル市で開かれた創立総会では、創立会長の林基元氏(1989-91/佐野RC)が「会員は皆、ロータリー精神を引き継ぐ人たちです。今後は会員を増やし、発展に努めたい」と意欲を見せ、新クラブの顧問で韓国学友会会長の全炳台氏(1980-83/仙台北RC)は、「学友会と合同の奉仕活動やシンポジウムなど、協力して新しい活動を計画していきたい」と語りました。



総会に集まった衛星クラブの創立会員たち

2015 - 16 年度 地区大会略報 IV



第2640地区

2016年2月27～28日 和歌山県民文化会館ほか
ホスト 和歌山・和歌山東・和歌山南・和歌山
東南・和歌山西・和歌山北・和歌山中・和歌山
城南・和歌山アゼリアRC 登録者 1,050人

辻秀和ガバナー 松本祐二RI会長代理夫妻を迎えて、地区目標「超我の奉仕」、大会スローガン「地区再生に向けて進もう」のもとに開催。地区外から28人のパストガバナーとガバナー、地区内では8人のパストガバナーが参加。1日目の本会議で播磨靖夫氏のセミナー「障害者アートで社会を変える」、2日目の本会議では、元RI理事で裏千家大宗匠・千玄室氏による大会記念講演「もっと世界をみつめ直ほそう」を通して、社会への奉仕とは何か、ロータリーの役割とは何かを再考する得難い機会となりました。



第2540地区

2016年3月5～6日
秋田県民会館ほか
ホスト 秋田RC 登録者 666人

宮下正弘ガバナー RI会長代理は、大会テーマ「健康長寿社会をロータリーから」を体現するかのような、ロータリー歴40年、83歳の大島英二氏。高齢化が進む時代に合わせ、中村耕三氏の記念講演「いつまでも歩き続けるための対策」は、一般に公開されました。また、伊藤碩彦氏（大館RC）を中心に、3年を期間として発足した経済活性化プロジェクト委員会ではその集大成として、地域経済のために貢献する企業の取り組みを紹介、表彰しました。大会プログラムの表紙は、宮下ガバナーのスケッチ作品で飾られました。



第2680地区

2016年3月12～13日
神戸ポートピアホテル
ホスト 神戸西神RC 登録者 2,042人

丸尾研一ガバナー 丸尾ガバナーの今大会にかける思い「熱き思いを次世代に」を実現のため、参加者を笑顔と元気いっぱい迎えることから大会は始まりました。久世晴雅RI会長代理からは、ロータリーの原点について示唆に富むあいさつ。記念講演の青山繁晴氏は舞台から降り、日本が抱えた政治・経済や拉致問題などについて熱く語りました。午後の滝川第二高等学校吹奏楽部の若さにあふれたステージドリルには会場全体が感動の渦に包まれました。会員・家族懇親会では1,300人もの参加者が懇親を深め、大会を締めくくりました。



第2520 地区

2016 年 3 月 26 ～ 27 日
仙台国際センター
ホスト 仙台泉 RC 登録者 1,239 人

菅原裕典ガバナー 栗林英雄 R I 会長代理を迎え開催。司会をホストクラブの三浦一・美佐子夫妻が務め、家庭的なほのぼのとした雰囲気で大大会が進行しました。第 1 日、第 2 日の両日に開かれた 2 つの「特別研修セミナー」が、ロータリーをきちんと学び、見つめようとする菅原ガバナーの思いを表しているようでした。2019 年に地元釜石市で開催されるラグビーワールドカップを盛り上げようとのヤマハ発動機ジュビロ監督・清宮克幸氏の講演ならびに募金ブースが、地域の特徴をかもし出していました。



第2570 地区

2016 年 3 月 26 ～ 27 日
カインズホールほか
ホスト 本庄 RC 登録者 832 人

高柳育行ガバナー 先進的な取り組みをしたクラブの事例発表、高野孫左エ門 R I 会長代理によるロータリー財団への地区の貢献の評価、ミャンマーの教育支援に対する大使からの感謝の言葉など、高柳ガバナーが掲げるスローガン「ロータリーの心を実践しよう」に沿って実践してきた活動の成果を参加者全員で確認しました。また酒井大岳氏の特別講演、ロータリー世界平和フェローの金子由佳さんの報告ならびに石田祐寛上人との対談で、ロータリアンとしてのモチベーションが上がる大会となりました。



第2650 地区

2016 年 4 月 2 ～ 3 日
ロームシアター京都ほか
ホスト 京都南 RC 登録者 2,927 人

中澤忠嗣ガバナー 加藤玄静 R I 会長代理を迎えての大会 1 日目、会長・幹事・地区委員長会議は、各クラブと地区委員会の活動を映像を用いて報告。2 日目午前は、入会 3 年未満の会員を対象にした「新会員セミナー」、および「青少年フォーラム」を開催。午後の本会議では、千玄室元 R I 理事の特別講話「ロータリーの心」、山極壽一京都大学総長の記念講演「道徳の起源―共感から倫理へ―」の後、大会各委員会報告、決議採択を行い、充実した実り多い大会を終了。第 2650 地区は、さらに輝かしい未来への一步を踏み出しました。



第2820 地区

2016 年 4 月 16 ～ 17 日
ノバホールほか
ホスト 竜ヶ崎 RC 登録 2,103 人

倉沢修市ガバナー 小沢一彦 R I 会長代理を迎え開催。タイ、フィリピンから多くのロータリアンが参加し、グローバルな大会になりました。R I 会長代理晩餐会では龍ヶ崎出身のソプラノ歌手・越野麗子氏のミニコンサートが行われ、会場が和やかなムードに包まれました。2 日目、40 歳代で医師から華麗なる変身を遂げた落語家・立川らく朝氏による記念講演「健康落語」では、ユーモアを交えてお酒と仲良く付き合う健康法が語られました。30 人余のホストクラブ会員一人ひとりが最高のパフォーマンスを出し切った大会となりました。

パズル de ロータリー

今月はクロスワード。ロータリーのこととはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題 二重枠に入った文字をAからGの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 強い人の字には消しゴムも太刀打ちできないかも
- 2 在原業平 与謝野晶子 石川啄木
- 3 円周 回転 視聴 防御
- 5 煙を使った連絡方法
- 6 ラクダには1つか2つ
- 8 首都はクアラルンプール
- 12 おみくじの、良い方の運勢
- 13 ちらしともいう
- 14 1枚ずつちぎって占うことも
- 15 急なのはヘアピンとも
- 16 ごみや、ちりのこと
- 17 それまでとは違う国の国民になる
- 19 味を感じます

タテのカギ

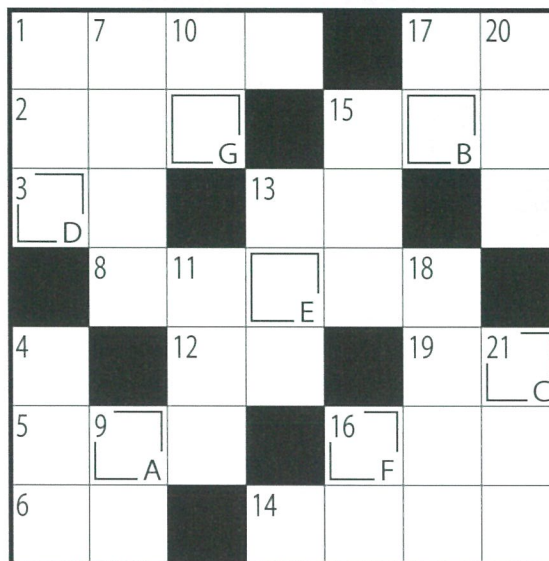
- 1 とんでもないスピードで進む
- 4 シメジ マツタケ エリンギ
- 7 合わない話には説得力なし
- 9 テニスや卓球の高い返球
- 10 うぐいすは青エンドウが原料
- 11 繰り返したり夜作られたりする
- 13 サッカーやバレーボールも行われる
- 15 和と洋があって、つんとくる

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナルペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



* 3月号の答えと解説を横組みP 36に掲載しています。



答

A B C D E F G

- 16 じっと見つめると開くかも？
- 17 自家用車を動かすのに必要
- 18 アンクレットをつけるあたり
- 20 武士がかぶった防具
- 21 勢いあまって踏む

応募方法

郵便はがきに、①「6月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2016年7月11日（月）必着

正解と当選者発表 本誌9月号

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

きれいな水で
勉強に集中できる子どもたち



グアテマラ・スンパンゴ市の郊外にあるエルトゥニノ小学校の児童たちは、毎朝、山道を歩いて学校に通っています。子どもたちは、教科書、ノートなどその日授業で使うものを持って通います。以前は、水も持っていましたが、もはや必要ありません。

この地域で水道が使えるところはおくわすか。学校は教育に必要なものを提供しますが、安全な水と使えるトイレはありませんでした。

近年、ロータリー財団からの補助金を使い、グアテマラスル・ロータリークラブ（RC）とアメリカのいくつかのクラブが、エルトゥニノ小学校ほか8校に、洗面所、簡易トイレ、調理場器具、家具を提供しました。

校長先生は、安全な水と衛生設備が使えることで、児童たちは大きな恩恵を受けていると話します。汚染された水が原因の病気の発症は減り、欠席率も減少、環境が整い、子どもたちは勉強に集中できるようになりました。

このほかにも第4250地区（ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス）内のクラブは2010年から13年にかけて、43件のグローバル補助金を提唱。そ

のうち5件はグアテマラスルRCの主導によるものです。クラブの目標の一つは安全な水の提供となりました。ガバナーで、グアテマラスルRCのジョー・アウフランク氏は「すべては水から始まります。水の不足しているところに平和はありません。あるのは紛争です」と話します。

ロータリー財団100周年の計画を立て始めよう

1月にサンディエゴで開かれた国際協議会で、ガバナーエレクトは、ロー

管理委員長の思い

映画の終わりに去り行くカウボーイ

2015-16年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリンギンスミス

西部劇は、何十年にもわたり最も人気のあるジャンルの映画として君臨し、世界中で楽しまれていました。正義の味方が悪役を懲らしめ、友人や味方の人々からの称賛を受けながら、ひとり、夕日に向かって去っていくというのが大抵のシナリオだと思います。



ロータリーの友人に恵まれている私は一人ぼっちではありませんが、6月30日に自分も夕日に消え行くのかと思うと、カウボーイへの共感を覚えずにはいられません。なぜなら私の人生における50年以上の時は、まさに映画のようであったからです。1959年にロータリー財団国際親善奨学生となってからは良いことの連続でした。それは、過ぎし日の映画で心温まる大団円へと場面のこまが移ろうように、一つひとつの出来事が素晴らしい瞬間の連続でした。

南アフリカに留学する奨学金を受けてから、私の人生は輝くような冒

タリー財団100周年となる2016-17年度の準備を開始しました。

さらに、創設者アーチ・クランプによる1917年大会での最初の提案から、近年の人道的補助金まで、財団の豊かな歴史とその背景を紹介した100周年記念誌『世界でよいことをしよう』も初めて披露されました。この本は、ガバナーエレクトに1部ずつ配られ、第7500地区（アメリカ・ニュージャージー州）ガバナーである著者デービッド・フォワード氏によるスピーチとサイン会が行われました。

険となりました。1961年、ニューオーリンズ港でケープタウンに向かうLykes Line社の貨物船に乗り込んだあの日、自分が50年後のまさに同じニューオーリンズで、国際ロータリー会長として2011年国際大会に出席することになるとは夢にも思いませんでした。それだけに私は、ロータリー財団に強い感謝と情熱を抱いています。

また、「カウボーイ・ロジック」の音楽、そして書籍『Cowboy Ethics（カウボーイの道徳律）』に記されている「西部のおきて」とともに、広大な農地を利用する方法を見つけたことも幸運でした。世界レベルの団体に成長したロータリーの、夢のようなストーリーの登場人物となれたことは身に余る光栄です。しかし何より、元ロータリー財団奨学生として、財団による産物のまさに生き証人となってロータリーに貢献できることを、心から感謝しています。

「情報収集のために世界を回り、ロータリーの活動について執筆し、スピーチをしました。ロータリアンであることを、今ほど誇りに感じたことはありません」とフォワード氏は語ります。「この本は、地元でロータリークラブがあることの恩恵を理解してもらうために市長に進呈したり、ロータリアンとして活動意欲を高めてもらうために新会員に渡したりするのに最適です」

クラブや地区で財団 100 周年を祝うために、早速計画を立て始めましょう。R I 日本事務局から購入できる 100 年誌について紹介するだけでなく、財団に対する会員の理解を深める方法は数多くあります。

・毎週、例会で財団の話題を取り上げる。地元や海外で実施したロータリー重点分野関連のプロジェクトを紹介する。

介する。

- ・グローバル補助金や地区補助金を活用して財団の人道奉仕の伝統を引き継ぎ、100 周年記念プロジェクトを実施する。
- ・財団への特別寄付を会員に奨励する。特にロータリー自動定期寄付の利用や、ポール・ハリス・ソサエティ（毎年 1,000 ドル以上寄付）への入会を奨励する。
- ・地元で 100 周年記念行事を実施し、この機会にロータリーや財団についてメディアに紹介する。
- ・100 周年記念行事の計画と推進に役立つリソースを収めた 100 周年推進ツールキットを <http://www.rotary.org/ja/foundation100> からダウンロードする。

今後の R I 国際大会

2016 年 5 月 28 日～6 月 1 日
韓国・ソウル

統計

全世界ロータリアン総数

1,227,719 人

クラブ数 35,188 クラブ

地区数 535 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 201,342 人

クラブ数 8,754 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 441,278 人

クラブ数 19,186 クラブ

国と地域 150 以上

2016 年 2 月 29 日現在
* 2015 年 12 月 29 日現在

ロータリーの
ニュースは

**ROTARY
JAPAN**
Home Page www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(3 月号) の答えと解説

3 月号の答えは

「20」

当選者（敬称略・順不同）

応募総数 208 人 正解者 197 人
山田剛（宮崎 R C）、秦正（出雲南 R C）、大倉美智子（新潟南 R C）、高波信幸（寒川 R C）、藤井葉月（岩国西 R C）、富士幸子（留萌 R C）、袴田文治（静岡西 R C）、藤森健而（松阪 R C）、渡辺元男（一宮北 R C）、三浦宏一（横浜戸塚 R C）

7	5	2	8	4	9	1	6	3
4	3	9	5	1	6	2	8	7
6	8	1	2	3	7	9	5	4
9	6	7	4	8	1	3	2	5
5	1	3	7	9	2	6	4	8
8	2	4	6	5	3	7	1	9
2	9	5	3	6	8	4	7	1
3	7	8	1	2	4	5	9	6
1	4	6	9	7	5	8	3	2

ところで「20」って？

今回の答え「20」は、1949 年に日本のロータリークラブが国際ロータリー（R I）に復帰した時のクラブ数です。

それらは東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌、横浜、今治、高知、広島、西宮、徳島、岡山、函館、小樽、熊本、新潟、四日市、岐阜ロータリークラブ（R C）。

日本では 1920 年、東京ロータリークラブの創立を皮切りに全国にロータリークラブが誕生しました。しかし第二次世界大戦により、1940 年、日本のロータリークラブは全て R I から脱退することになりました。この時脱退したのは、日本、満州を含めて 48 クラブ（内地 37、外地 11）。会員は 2,142 人を数えました。

それから約 9 年がたった 1949 年 3 月、日本のクラブは復帰加盟しますが、この時、尽力してくれたのが、R I 第 3 代事務総長のジョージ・ミーンズで、先に挙げた 20 のクラブがこの年復帰承認を受けました。これらのクラブは、復帰承認するまでの間、例会の開かれ



戦後に創立第 1 号の一宮 R C の認証状伝達式

た曜日にちなんだ名称（例えば水曜会）などに変え、会合を続けていました。

またこの年に新設のクラブとして、一宮、小倉 R C が誕生しました。

『友』3 月号

印象に残った記事ベスト 3

1 位 (36 人)

わがまち……そしてロータリー
埼玉県川越市

2 位 (32 人)

人は自然災害とどう向き合うか

3 位 (25 人)

心は共に 東日本大震災
あれから 5 年……

おまけ

ROTARY 掲示板

事務所住所変更

日高 (2570・埼玉県)

〒350-1206 日高市南平澤 1083

日高市商工会館内

岩槻東 (2770・埼玉県)

〒339-0057 さいたま市岩槻区本町
3-2-5-808 西村寿美子方

HYOGOロータリーEクラブ

(2680・兵庫県)

〒665-0003 宝塚市湯本町 2-7

三東マンション 103 号 宝塚武庫川
R C 気付

宝塚武庫川 (2680・兵庫県)

〒665-0003 宝塚市湯本町 2-7

三東マンション 103 号

例会場・曜日・時間変更

横浜金沢みどり (2590・神奈川県)

横浜金沢みどり R C 事務局

事務所住所変更 (7 月から)

古川 (2520・宮城県)

〒989-6145 大崎市古川北稲葉 2-12-16
アイ動物クリニック院内 市川雅朗気付

古川東 (2520・宮城県)

〒989-6143 大崎市古川中里 4-3-12
ギフトあさの内

花泉 (2520・岩手県)

〒029-3105 一関市花泉町涌津字一ノ町
40-1 阿部学司法書士行政書士事務所内

一関中央 (2520・岩手県)

〒021-0013 一関市宮下町 7-18
オリエンタル急送内

岩出山 (2520・宮城県)

〒989-6153 大崎市古川七日町 11-3
ONO 一級建築士事務所内

角田 (2520・宮城県)

〒981-1505 角田市角田字大町 9-6
星測量設計事務所内 星隆志気付

大河原 (2520・宮城県)

〒989-1242 柴田郡大河原町字西浦
32-1 中央タクシー内

大曲 (2540・秋田県)

〒014-0061 大仙市大曲栄町 10-23
仙北印刷所内 佐藤力気付

大曲中央 (2540・秋田県)

〒014-0054 大仙市大曲金谷町 16-6
高橋絢子方

小山 (2550・栃木県)

〒323-0822 小山市駅南町 3-24-12
館野税務会計事務所内

古河中央 (2820・茨城県)

〒306-0202 古河市稲宮 664-2
菊池工業内

五所川原 (2830・青森県)

〒037-0002 五所川原市飯詰字狐野
68-1

飯詰福祉会たかたて保育園内

五所川原中央 (2830・青森県)

〒037-0066 五所川原市中平井町 125
藤くらばんでりあ内

板柳 (2830・青森県)

〒038-3662 北津軽郡板柳町大字板柳
字岡本 15-15 三和技術内

東北 (2830・青森県)

〒039-2661 上北郡東北町上笹橋
17-2 東北町商工会内

塩山 (2620・山梨県)

〒409-1204 甲州市大和町日影 849
石田澄男方

裾野 (2620・静岡県)

〒410-1121 裾野市茶畑 375
裾野ショッピングセンター内

大阪アーバン (2660・大阪府)

〒573-0127 枚方市津田元町 1-15-5
アルコーブ岡本 2 階 サウス内

天草パールライン (2720・熊本県)

〒869-3602 上天草市大矢野町上 707-
15 森内鉄工所内

くにさき (2720・大分県)

国東市国東町中田 1020-2
中野栄治方

竹田 (2720・大分県)

〒878-0162 竹田市大字炭竈 371
えとう印刷内

敬弔 第 2600 地区・宮本忠長氏が 2
月 25 日逝去されました。89 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(長野東 R C 会員・1998-99 年度 G)

敬弔 第 2590 地区・上野豊氏が 3
月 6 日逝去されました。100 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(横浜 R C 会員・1975-76 年度 G)

敬弔 第 2550 地区・長嶋一郎氏が 3
月 27 日逝去されました。63 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(大田原 R C 会員・2014-15 年度 G)

敬弔 第 2710 地区・土肥浩右氏が 3
月 27 日逝去されました。82 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(西条 R C 会員・2000-01 年度 G)

敬弔 第 2500 地区・七戸幸夫氏が 4
月 6 日逝去されました。93 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(旭川北 R C 会員・1990-91 年度 G)

敬弔 第 2780 地区・後藤忠雄氏が 4
月 18 日逝去されました。85 歳。謹
んで哀悼の意を表します。(横須賀南
西 R C 会員・1998-99 年度 G)

玉名中央 (2720・熊本県)

〒869-0231 玉名市岱明町庄山 631
有明保険サービス内

えびの (2730・宮崎県)

〒889-4222 えびの市大字小田 439-1
関田徳弘方

額娃 (2730・鹿児島県)

〒891-0702 南九州市額娃町牧之内
2041-1 花の店げんかわ内

出水 (2730・鹿児島県)

〒899-0205 出水市本町 9-10
米沢百貨店内

例会場・曜日・時間変更(7月から)

松本城 (2600・長野県)

火→水 12:30、第 1・2 は 19:00

若狭 (2650・福井県) ホテルせくみ屋

『友』誌ご購読数 変更についてのお願い

- ①次年度『友』誌上半期分（2016年7月号～12月号）減部のご連絡は、2016年6月6日までに直接、友事務所へお願いしております。ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれの方法でも結構です。
- ②7月号の発行部数決定や発送準備の都合上、6月7日以降は7月号の減部はご容赦ください。
- ③6月7日以降の会員変動による減部は、7月11日までにご連絡いただければ「8月号～12月号」の減部として、対応させていただきます。
- ④7月12日以降にご連絡いただいた減部は、すべて、下半期1月号からになりますので、ご了承ください。
- ⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。随時のご連絡をお待ちしております。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2016年6月号と同じ部数を、送付させていただきます。

定価 200 円＋消費税（送料別）

『友』誌の購読をいただいている方は、併せて『友』電子版をご覧いただけます。

お問い合わせは、下記ロータリーの友事務所までお願いいたします。

ロータリークラブ名称変更

久喜菖蒲→久喜（2770・埼玉県）

2016年4月5日承認

◆お願い クラブ事務所など、各種変更をご連絡される時には同時に、『友』事務所へもお知らせください。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表（2016年3月末現在）

地区	R C 数	会員数	15 年3 月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,272	2,279	80.90
第 2510 地区	70	2,595	2,572	83.00
第 2520 地区	79	2,300	2,305	77.85
第 2530 地区	66	2,387	2,347	82.58
第 2540 地区	42	1,117	1,114	79.70
第 2550 地区	51	1,733	1,719	83.85
第 2560 地区	56	2,106	2,105	80.30
第 2570 地区	51	1,654	1,681	81.47
第 2770 地区	73	2,602	2,638	81.96
第 2790 地区	84	2,789	2,778	80.75
第 2800 地区	50	1,655	1,629	82.63
第 2820 地区	57	1,998	1,998	80.57
第 2830 地区	40	1,154	1,139	78.08
第 2840 地区	46	2,077	2,031	79.81
第 2580 地区	70	3,045	3,051	83.72
第 2590 地区	59	2,113	2,166	85.93
第 2600 地区	55	1,998	1,995	85.93
第 2610 地区	65	2,644	2,636	83.81
第 2620 地区	78	2,966	2,993	88.10
第 2630 地区	78	3,140	3,140	83.99
第 2750 地区	100	4,844	4,769	78.64
第 2760 地区	83	4,819	4,834	93.45
第 2780 地区	65	2,335	2,335	78.40
第 2640 地区	70	1,954	1,980	85.99
第 2650 地区	97	4,658	4,640	89.84
第 2660 地区	81	3,638	3,656	87.00
第 2670 地区	74	2,979	2,980	84.65
第 2680 地区	74	2,858	2,873	91.54
第 2690 地区	67	3,118	3,097	85.30
第 2700 地区	61	3,150	3,171	88.69
第 2710 地区	74	3,327	3,306	91.69
第 2720 地区	74	2,397	2,406	84.82
第 2730 地区	65	2,333	2,323	82.98
第 2740 地区	57	2,202	2,202	83.50
34 地区合計	2,279	88,957	88,888	

日本のロータリー

会員概数 88,667 人
クラブ数 2,270
（左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です）

ガバナー月信より 左の表ですが、第 2750 地区のクラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 290 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は、34 地区合計から P B グループを引いた数。15 年 3 月末 P B グループ 9 R C 会員数 319 人。

修正 本誌 4 月号横組み P 52（1 月末）表中、地区会員数修正：2550・1,738 人、2620・2,990 人、34 地区合計会員数を 89,337 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数を 89,047 人へ修正。平均出席率修正：2550・84.88%。同 5 月号横組み P 43（2 月末）表中、地区会員数修正：2550・1,739 人、2600・2,013 人、2620・2,999 人、2780・2,354 人、2650・4,685 人、34 地区合計会員数を 89,499 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数を 89,211 人へ修正。平均出席率修正：2530・83.71%、2780・80.92%。

*『ロータリー・ジャパン』の「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。
*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

**ROTARY
JAPAN**
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 7 月号主要記事予定

横組み 新国際ロータリー会長の紹介、新ガバナーの横顔、国際ロータリー理事・ロータリー米山記念奨学会理事長・ロータリー文庫運営委員会委員長・ロータリーの友委員会委員長・100 年史編纂委員会委員長のあいさつ

縦組み 地域医療の取り組み
中顧問立歯科診療所所長 杉澤宗一郎

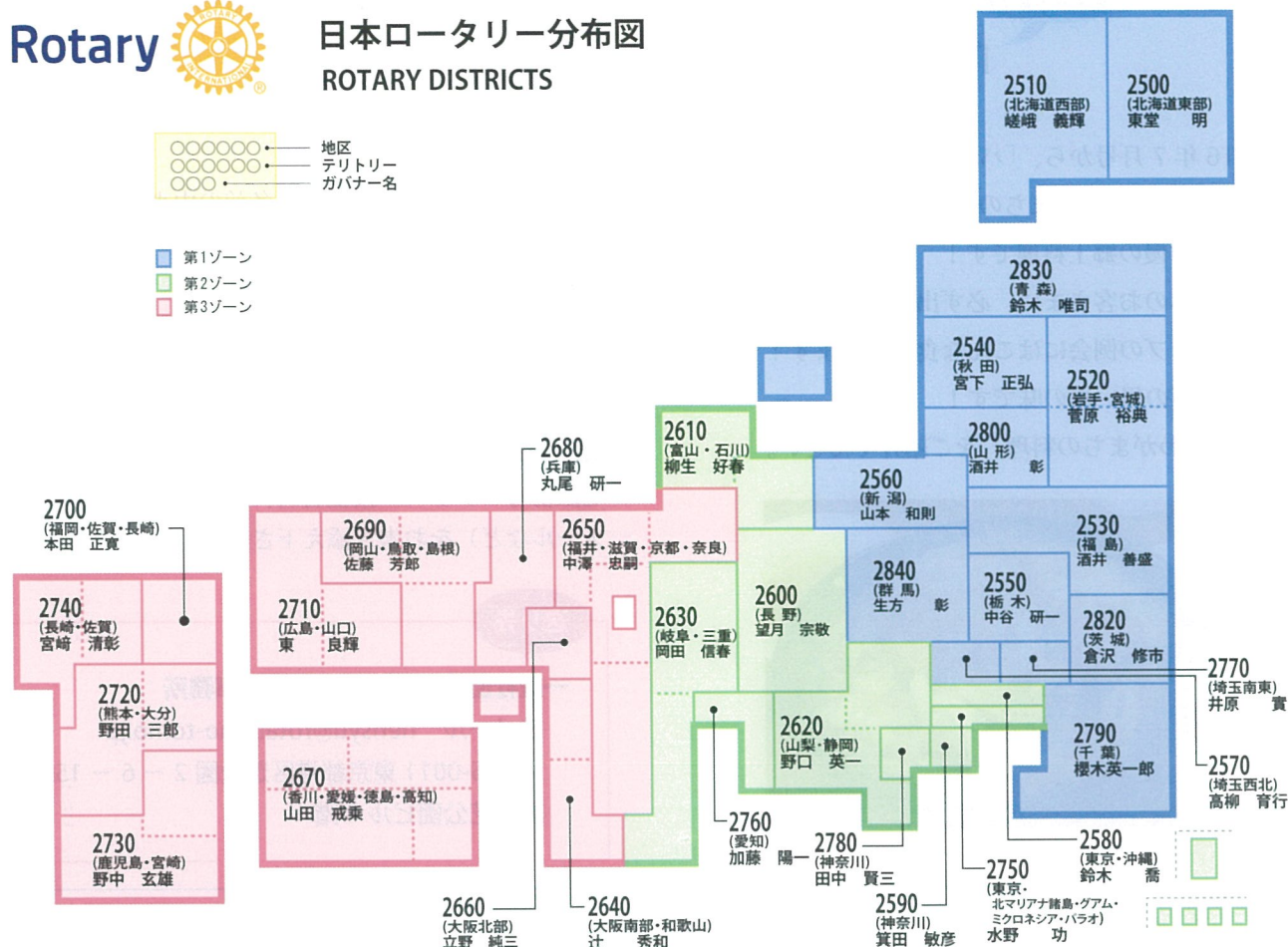
Rotary 



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



- 第1ゾーン
- 第2ゾーン
- 第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第64巻 6月号

2016年5月31日印刷 2016年6月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

- 社員
- 杉谷 卓紀 (玉名)
 - 斎藤 直美 (豊田)
 - 鈴木 喬 (東京江北)
 - 水野 功 (東京飛火野)
 - 箕田 敏彦 (横浜)
 - 立野 純三 (大阪)

■ 理事会

- 代表理事 橋本 長平 (京都東)
- 理事 清水 良夫 (横浜)
- 中山 義之 (横浜南)
- 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
- 上野 孝 (横浜)
- 安平 和彦 (姫路)
- 片岡 信彦 (土浦南)
- 藤居 彰一 (日立)
- 大野 清一 (横浜東)
- 田中 俊實 (鹿屋)
- 上山 昭治 (東京武蔵野中央)
- 大槻 哲也 (東京中央)
- 横山 武志 (東京北)
- 中里 公造 (川口モーニング)
- 堀口 昇治 (東京西)
- 野中 茂 (川崎)
- 津村 政男 (東京臨海東)
- 渡辺 誠二 (東京みなと)
- 二神 典子 (東京築地)
- 監事 船越 豊 (千葉中央)
- 小川 湧三 (川崎鶴沼)
- 相談役 板橋 敏雄 (足利東)
- 中村 昌平 (東京北)

■ 職員

- 所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
- 編集長 二神 典子 (東京築地)
- 副編集長 野崎 恭子
- 編集 稲川 やよい
- 黒野 穂二
- 山名 愛
- 飯田亜由香
- 経理 富澤 美子
- 半田 弥生
- 福元菜穂子

- 振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
- 口座番号 (普通) 7450015
- 郵便振替 口座番号 00180-8-694591
- 印刷 大日本印刷 (株)
- 表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

「わがまちの味（仮）」ご紹介ください

2016年7月号から、「バナー自慢」（「友愛の広場」内）に代わり、「わがまちの味（仮）」を紹介します。

- ・わが町自慢の郷土料理です！
 - ・わが家へのお客さまに、必ず出す料理です！
 - ・わがクラブの例会にはこんな食事が出ます！
 - ・私の青春の思い出の味です！
- など、「わがまちの料理」をご紹介ください。



原稿

食べ物の紹介、味、食べ方、名前の由来、エピソードなど本文100字以内でご自由にお書きください。

写真

料理そのものの写真を、jpegなどのデータ（200KB以上）でメールに添付して（郵送の場合はプリントに加えCD-Rなどにデータを入れて）お送りください。

その他

地区番号・クラブ・投稿者名、連絡先（電話番号、Eメールなど）をお書き添え下さい。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

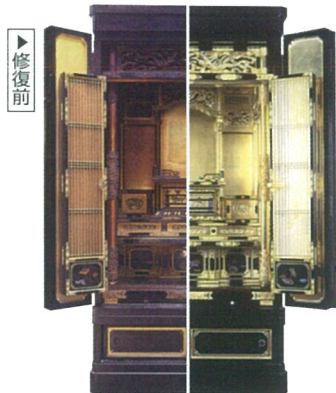
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15

黒龍芝公園ビル4階

京に生まれ育って187年、若林はお仏壇・仏具の専門店です！

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



修復前

修復後

お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)



京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内) ☎(03) 3546-8228 (代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022) 213-0666 (代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所/ ☎(092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫 芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に

法人企業や団体の創立者、功労者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝に、また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減じ明るくなります。褪色のない油彩肖像画・・・是非お勧め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

ホームページ <http://nihonshozo.com/>

(株) 日本肖像 ☎0120-222-368

東京事務所/ ☎03-5285-3141

熊本本社 / 〒861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
☎096-249-1081 FAX 096-249-1082

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



「おおきな〜れ」(広島県)
撮影 井出 隆之 (2710 松永)

ここは、福山市東村町。
六月の田植えシーズンの到来で農家は多忙な日々だが、好天の日を選んで松永幼稚園の子供たちが田植え体験をするというので、同行して撮影した井出隆之氏。
ほとんどの子供たちにとって「田植え」とはどんなものなのか。万歳ではしゃぐ子供たちの楽しいひとときで保護者ともども大よろこびだった。
「日頃、泥んこになることが少ない現代っ子が真剣な表情で植えた苗。秋には稲刈りと収穫したお米でおにぎりパーティーを楽しみにしています」
と、井出隆之氏は言う。
撮影日は、二〇一四年六月二日。
うららかや田植の真似をはしやいで

岡井輝生



「メタボペンギン」(静岡県)
撮影 吉川 正宏 (2620 静岡中央)

※

ここは、静岡市立日本平動物園のペンギン館。屋外プールになっていて、ペンギンたちは日向ぼっこをしたり、楽しそうに泳いだりしている。壁に四か所大きな窓があり、ペンギンたちをじっくり見ることができる。
日本には飼育されているペンギンが十二種、約二千五百羽といわれ、世界中の飼育ペンギンの四分の一を占める世界最大のペンギン大国といわれる。
わが国ではじめてペンギンに関することが紹介されたのは、江戸時代の儒学者、新井白石の『采覧異言』で「ペフィエウン」と書かれていた。
「レンズを十五ミリと広角にし、レンズフードをはずしてガラスに密着し、近くにきたペンギンを大きく写しながら全体の雰囲気を入れるようにして撮りました。窓にいる子供の姿や、

きらめく水面とその影を写し取るようにしました」
と、吉川正宏氏は言う。

撮影は、二〇一三年六月八日。

(ジャーナリスト)

表紙こぼれ話

一九九〇年八月〜九六年六月号の『ロータリーの友』の表紙は、近代日本画壇に不滅の光芒を放つ巨匠たちの作品を季節に合わせて掲載しました。その絵画を所蔵している美術館や資料館の館長や学芸員が解説することがほとんどでしたが、『友』編集長が行うこともありました。

一九八七年八月〜九〇年六月の三年間の表紙は、泰西(西洋)名画シリーズを掲載しました。解説は、その名画を所蔵する美術館の方々に、『友』委員長がインタビューする形で行われました。

『友』の表紙は、その時々でさまざまです。さて、新年度の表紙は？ お楽しみに。



一九九〇年八月〜九六年六月号は、近代日本画を掲載

一九八七年八月〜九〇年六月号は、泰西名画シリーズ



会員家族のマリオさんが歌と演奏を披露

きました。

昨年二月一六日に開会員が急逝（享年八一歳）、中止を検討しましたが、ご遺族（昨年は娘さんと小学五年生のお孫さんが同行）から「本人は今回も訪問し、児童たちの元気な笑顔に会えることを楽しみにしていました。ぜひ訪問してください」と、多額の支援金までいただきました。そのことを受け、一月二七日から、津高篤会長以下一人です定通り訪問し、児童全員への文具のほか、パソコン、音楽教材、多数のDVDソフト、映像を投影する液晶プロジェクトターを寄贈しました。

最近になってやっと電気が通るようになった図書館にプロジェクトターを設置し、日本の新幹線や岡山の文化、総社の自然を紹介。アニメの「ト

ムとジェリー」には、キャッキヤ、キャッキヤの大歓声。同行した会員の家族で、プロミュージシャンであるマリオさんの歌と楽器演奏で児童たちと交流し、大変盛り上がった楽しい一日となりました。

当クラブは今秋、創立三〇周年を迎えることから、記念事業として児童十数人を招待する予定です。現地でも「会員宅にホームステイして総社の小学校と交流を図り、日本の文化歴史に触れてもらう計画も検討しています」と話し、再会を約して小学校を後にしました。

（佐野重治・記）

タイの子どもの瞳の中に 国際奉仕の原点を見る

蓮田ロータリークラブ
第二七〇地区 埼玉県
宮崎南ロータリークラブ
第二七三〇地区 宮崎県

蓮田ロータリークラブ（RC）と宮崎南RCは友好クラブを締結しており、協同事業として二年前から国際奉仕支援事業の計画を進めてきました。

そして、今年度の国際ロータリーテーマ「世界へのプレゼントになるう」を実践するため、タイ・チェンライ県ムアン郡メカーオトン町口・

パーハー村にあるロ・パーハー校（小学校）の教育支援として、ノートパソコン一〇台（チェンマイにて購入）と文房具などを贈ることにし、蓮田RCから田中雪心会長ほか国際奉仕委員三人、宮崎南RCから安川潔国際奉仕委員長と同委員二人の計六人が現地を訪れました。

二月一日の贈呈式は、ビ・シット校長をはじめ先生や全校児童約八〇人から大歓迎を受けました。用意されたタイカレー（グリーンカレー）や果物などを昼食でいただいた後、子どもたちと触れ合うことのできる、素晴らしい式が行われました。

教室では、早速ノートパソコンに触る子どもたちの笑顔、瞳の輝きがとても印象的でした。

また、子どもたちは日本から紙を



子どもたちは折り紙に興味津々

用意して披露した折り紙に大変興味を示しました。ツル、手まり、やつこさんなどの折り紙教室を急ぎよ開くことになり、一枚の紙が、言葉の壁を超え信頼関係を構築する手助けになってくれました。子どもたちの真剣なまなざしは、われわれロータリアンの「奉仕のこころ」に再度、火をつけてくれました。

「Be a Gift to the World (Thailand)」世界（タイ）へのプレゼントになるう」

（蓮田RC 黒須雅行・記）

Annotation

地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命に沿った地域社会のニーズに取り組む活動を支援するため、地区に一括で支払われる補助金です。地区は年に一度、地区財団活動資金（DDF）の五〇％までを申請することができ、地区またはクラブが提唱する活動（奨学金、職業研修チーム、奉仕プロジェクトなど）を支援するための資金を管理・配分します。ロータリー・リーダーシップ研究所（Rotary Leadership Institute）一九九二年にアメリカ・ニュージャージー州（第七五二〇地区）で、デビット・リンネット元国際ロータリー理事の提案で始められた研修組織です。ロータリアンの知識を啓発し、将来の指導者養成を目的としています。

国際奉仕事業報告 フィリピンで学校支援

越谷ロータリークラブ
第二七七〇地区 埼玉県

二月三・六日、クラブの国際奉仕活動としてフィリピン・マニラ近郊にある、技術教育のモデル校、R E S P E C T (Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries) という中学・高校に行ってきました。

昨年八月末に事前調査として学校を訪れた際、設備のうち、天井付けの扇風機と照明器具、黒板、生徒の机と椅子が壊れていた、傷みがひどかったりしました。このうち最も改善してほしいものを尋ねたところ、扇風機を付けてほしいとのことでした。

そこでロータリー財団の地区補助金を使い、国際奉仕事業として四〇台の扇風機と、設置に必要な電線、スイッチを贈ることにしました。扇風機は一月末に学校に届けられ、電気科の生徒たちの手で取り付けられたそうです。

五日、われわれが学校に着くと、門をくぐる前から音楽と歌が聞こえてきて、入り口で一人ひとりにレイ



歌や踊りで大歓迎

がかけられました。小さな校庭では、生徒たちによる歌と踊りが繰り広げられていました。

歓迎式典は厳かに国旗掲揚から始まり、国歌が斉唱されました。われわれ一〇人が紹介され、歓迎のあいさつがありました。目録の贈呈と感謝状の受け取りなど、セレモニーが進められました。

その後、歌や踊りの歓迎行事が続き、一人ひとりに感謝状と生徒たち手作りのボックス、ココナツから作った石けん、編み物と組み合わせたキーホルダーをいただきました。

式典後、校内を見学しました。取り付けた扇風機は快調に働いており、生徒の学習環境を確実に改善しているようでした。

(澤石順一・記)

ネグロス島に 幼稚園舎を寄贈

清水西ロータリークラブ
第二六二〇地区 静岡県

当クラブは今年度の創立四〇周年を記念して、フィリピン・ネグロス島にあるカラトラバ市ティグボン村に幼稚園舎を寄贈しました。

これまでも創立二五周年、三〇周年、三五周年の際、小学校の校舎水洗トイレ、幼稚園舎を島内各地に寄贈してきました。今回の寄贈は三五周年時と同様に鉄筋コンクリート造りの園舎とし、災害時には避難施設として使える建物にしました。

二月一三日の竣工式には現地の市長や村長のほか、役場の担当者、村の子どもたちとその両親ら一〇〇人近くが集まって盛大に開かれ、鍵の引き渡しを行いました。当クラブからは鈴木治会長のほか一二人が参加しました。

また、会員たちは現地でこれまで寄贈した施設を訪れ、各地で熱烈な歓迎を受け、旧交を温めました。併せて訪問時の恒例となっているマンガローブの植林を行い、そのほかにも各地で古着やノート、鉛筆、タオルなどを寄贈して喜ばれました。



完成した鉄筋コンクリート造りの園舎

初めて現地を訪れた会員もいましたが、一様に「訪問してよかった」「子どもたちの笑顔が素晴らしい」「と感動していました。

クラブでは今後も、ネグロス島への支援を続けていきたいと考えています。

遺志継ぎカンボジア支援

総社吉備路ロータリークラブ
第二六九〇地区 岡山県

二〇〇九年、カンボジア南部タケオ州のトラパン・アン小学校に、当クラブの関靖文会員が私財を投入し「関記念図書館」を建設しました。その後、会員たちが毎年訪問し、絵本、文具、運動用品などを支援して

ればと切に願っています。

(新美雅浩・記)

伊勢志摩サミット 歓迎奉仕活動

鳥羽ロータリークラブ

第二六三〇地区 三重県

五月二六・二七日に、主要国首脳会議「G7伊勢志摩サミット」が開催されるのを機に、地元では、会議に参加する各国の皆さんはもちろんのこと、この機会に伊勢、志摩を訪れる観光客を、精いっぱいのおもてなしで迎えようと「花いっぱい運動」を展開しました。

当クラブも、隣の志摩ロータリークラブと連携し、駅前にフラワースタンドを設置しました。今回の事業は、地区補助金を活用したプロジェクトであり、サミット歓迎の気持ちと世界中の人々が平和になりますようにとの願いを込めました。

三月九日の当日は大雨でしたが、会員と鳥羽市社会福祉協議会の皆さんとで、プランターへの花の植え込みや、ハンギングバスケットの飾りつけ、サミット参加七か国の国旗、英字での歓迎の言葉、ロータリーロゴの看板などを取り付け、モニメントを完成させました。

場所は国道沿いで歩道のすぐ横なので、通りすがりや信号待ちの間にも見ることができ、注目度はかなりのものです。

そこは通称・ロータリー広場と言われる鳥羽駅前の一等地の公園です。当クラブが寄贈したイルカのモニメントやあずまや、真珠養殖に初めて成功した御木本幸吉翁の歌碑などが設置されているため、そのように呼んでいます。その名称を使っているのは私たちだけかもしれません。

また、サミットの名称が「伊勢志摩サミット」で、「鳥羽」が飛びさされた、と自虐ネタが飛び交っていますが、どっこい、鳥羽では「配偶者プログラム」が実施されました。クラブでは、輪番制でせつせと水やり



雨の中、花を飾りつける会員たち

に励んでいます。

(中村欣一郎・記)

フィリピン子どもと 野球を通して交流

熊野ロータリークラブ

第二六三〇地区 三重県

クラブでは今年度の事業の一つとして、「フィリピン子どもたちとの野球交流」を、当地区国際奉仕委員会とのタイアップで計画。一月一五〜一七日にかけてフィリピン・マニラに向き実施しました。

事業は前年度からの三年計画とし、前年度は先方で足りない道具をそろえて持っていく、キャッチボールなどをしてきました。二年目の今回は、野球場を整備するための草刈り機や、野球道具などの購入費用を提供しました。そして、子どもたちと五イニングのミニゲームをして親睦を深めてきました。結果は〇対一で、子どもたちのチームのサヨナラ勝ち。観客も一緒になって大いに盛り上がりました。

試合後は、子どもたちの保護者による心のこもった地元の料理を、全員でいただきました。続いて、スポーツ用品店を営む会員による「グローブの修理・メンテナンスの方法

講習会」を行いました。

講習会では、「一流の選手ほど道具を大切にしている」と伝え、道具を大事に扱う大切さを、子どもたちや保護者を前に、丁寧に説明しました。初めて見るグローブのワックスかけや修理に、興味津々の子どもたちでした。今回もまた、子どもたちのうれしそうな笑顔が、最高のおみやげとなりました。

三年目となる次年度は、今年一月に「グレン&千杯 田中作次旗ロータリー選抜野球大会」が、当クラブがホストを務め熊野市で開かれるのを機に、全国のチームに呼びかけ、古くなった道具や使われなくなった道具などを集めて、マニラに送る予定です。



グローブの手入れを学ぶ子どもや保護者たち

(濱田直美・記)

加してもらいたいと考え、大学などで案内したところ、就職担当者からは高い関心が寄せられました。が、学校行事や就職活動の時期と重なり、学生の関心は薄かったようです。とはいえ、今回の企画が現代の悩める社会問題の解決策の一つになることを願ってやみません。

(保科義則・記)

Rリーで会員の熱気が ほとばしった!

福井ロータリークラブ

第二六五〇地区 福井県

「ロータリーをもっと深く知りたい」「奉仕を実践するための研修をやってほしい」という会員の声を受け、一月二八日午後の三〜五時間を費やし、ロータリー・リーダーシップ研究会(Rリー)をアレンジの上、初のクラブ版「Rリー in Fukui」を開催。事前に全ての内容や参加者の意見を二月一八日付発行の『会報』と口頭で発表し、全会員に公開しました。

開催当日はグループリーダーが進行役となり、①職業倫理と職業奉仕、②ロータリー財団、米山記念奨学会、ニコニコ箱などの慈善寄付、③自クラブの伝統、戦略計画など、の各セ



会員に好評だった「Rリー in Fukui」の開催

ッションで三グループ×三ステージ(二ステージ五〇分)で入れ替わり、在籍年数の長短が混合した延べ七二人の参加会員から白熱した意見が続出、時間が瞬く間に経過しました。

参加者の感想として「ゆっくりと半日の間、ロータリーについて深く考えることができ、理解が深まった」「難しい題材の話なので肩が凝るかと思ったが、皆さんがざっくばらんに話されていたので時間のたつのも早く、楽しいディスカッションとなった。本日は参加して大変良かった」「ロータリーそのものを以前より理解でき、深さを知ることができた」「一番印象に残ったことは『職業奉仕』で、難しく考えてきたが、実はシンプルで、とても大切なことなのだ」と自分なりに落とし込むこと

ができた」「先輩たちの意見も刺激になり、共感もあり、新たな気付きを得た。もちろん財団や米山への理解が進み、感謝している」など、士気の高揚につながったとみられる意見が、数多く寄せられました。

(片岡正明・記)

大浜口広場記念植樹式

碧南ロータリークラブ

第二七六〇地区 愛知県

当クラブは一九五九年の創立以来、碧南市内一円の環境緑化整備事業を毎年の継続事業として実施してきました。

今年度は地区補助金を有効活用し、三月半ばに旧名古屋鉄道大浜口駅跡地に完成した大浜口広場で記念植樹を行うことにしました。前年度から、地元の棚尾地区まちづくり推進委員会と連携しながら調整を進め、二月一〇日、広場の竣工を前に「記念植樹式」をクラブ主催で開催しました。

この日の例会終了後に行った記念植樹式には、地域の受益者代表として、棚尾地区や大浜地区の各町内会長の皆さん、学区内にある市立棚尾小学校の児童会役員の皆さんを招



アラカシの苗に土をかぶせる児童ら

き、広場中心に植えたアラカシの苗に土をかぶせるセレモニーを行いました。

山林のないわがまち・碧南市において、鎮守の森の保全に努め、いしえからの木を大切にしながら、緑を減らさない工夫や新しい緑を増やすよう努める同事業の意義は大きく、次世代を担う若者への教育的効果も期待できると考えます。ここ数年は市内の小学校(棚尾小、大浜小、新川小、鷺塚小)の改築に合わせ、校庭への植樹を行い、昨年度は市内に新設された権現公園への植樹を実施してきました。

地元の地域の皆さんに永続的に見守られながら、今回寄贈した樹木が子どもたちとともに大きく育ち、この地域に緑と豊かさをもたらしていく

たきかわ冬の風物詩 ランタンフェスに参加

分間の授業を二回行いました。生徒たちは真剣な様子で、驚きも見られ、どの授業も大盛況でとてもうれしく思いました。

生徒たちの将来の方向性と職業の選択に、少しでも役に立てることを目的とした職業奉仕委員会の事業として、われわれ会員にとっても学び多き、心温まる事業となりました。

(設楽光江・記)

滝川ロータリークラブ

第二五〇地区 北海道

「第一四回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」が、二月二〇日の夜に行われました。たった一日、



中学校で会員が出前授業

しかも午後五〜八時の三時間、雪が降り積もる滝川市の中心街を、暖かくほのかなろうそくの明かりでもすイベントです。

紙袋ランタンは、模様などを切り抜いたさまざまな形の紙袋の中に入ろうそくを立てたもので、このたった三時間のフェスティバルに向けて、地元のボランティアスタッフを中心に一年前から準備を重ね、地元の幼稚園や小中学校、各企業や団体、その他市民が計約一万二〇〇〇個の紙袋ランタンを制作します。私たちのクラブの会員も手作りで、ロータリーの紙袋ランタンを制作しました。

当日は滝川駅近くの駅前商店街「ベルロード」から、国道一二号線をまたいで滝川市役所周辺まで続く



ランタンの明かりで幻想的なムード

道路沿いが幻想的なムードに包まれ、市民や観光客約一万五〇〇人以上が来場しました。自分たちで作ったランタンを探し親子連れやカメラやビデオに収める人々などが、雪の滝川のすてきな夜を楽しんでいました。

メンタルヘルス セルフケア講座開催

新潟東ロータリークラブ

第二五六地区 新潟県

昨年一月三日と二九日、今年二月二日の三回にわたり「メンタルヘルスセルフケア講座」を開催しました。

最近では事業者が積極的に就労者の健康状態を把握し、対策を施す必要性が強調されていますが、就労者が健康を自己管理することが最良の方法であると、クラブでは考えました。そこで今回の講座は、学生をはじめ一般人を対象として、特にメンタル面の自己管理を目的に企画しました。

第一〜二回は専門家によるメンタルセルフケアの方法を受講し、ストレスケアの実際の対策・対処方法を学ぶもので、講演後にグループディスカッションを行い、ストレスケア



熱心に講座を受講する参加者たち

の実践方法を体験しました。参加者は二〇〜五〇代を中心に総勢一九八人の申し込みがあり、一五五人の参加を得ました。満足した人、もっと学びたいと思った人、実際に病気になる、今回セルフケアの仕方を学び喜んでいた人など、さまざまな感想を寄せてもらいました。

第三回は「メンタルヘルス・マネジメント検定試験（Ⅲ種）」対策の受験講座でした。受講者は多数になることも予想しましたが、資格受験となるとその人数は絞られるように、四〇人弱の参加。しかし、さすがに受験を希望する人たちは熱心に聴講し、今後も、より上級の検定に向け開催してもらいたい、といった要望が多数ありました。

当初は、今後社会に出る学生に参



会員ふんする鬼に向かっていく子どもたち

体育館で童謡「鬼のパンツ」を合唱する子どもたちの背後から、六頭の鬼が乱入しました。「オニハッソトオ」の大歓声の中、若手？ 会員がふんする鬼たちは早速、子どもたちの豆攻撃（丸めた新聞紙）の標的に。顔面攻撃に逃げ回る鬼、こん棒で打ち返す鬼、相撲では子どもたちの大きな声援と体当たりで、鬼たちはふらふらでした。

会場は子どもたちや先生、参加した会員の笑顔でいっぱい。記念撮影では、子どもたちに囲まれた鬼の面も笑っていました。最後は「また来てねえ」の声に手を振りながら、名残惜しうに会場を後にする鬼たちでした。

肢体不自由や知的障がい、重複障がいのある子どもたちは、毎日の勉

強の中で自分の可能性を探りつつ、将来の生活に近づけようと頑張っています。この行事が彼ら自身の心に潜む鬼たち（なまけ鬼、寝ぼけ鬼、怖がり鬼など）を退治する手助けになるよう、これからも参加していきたいと思っています。鬼役を務める若手会員の増強が、喫緊の課題です。

川西市・猪名川町 中学生書道展

川西猪名川ロータリークラブ
第二六八〇地区 兵庫県

日本の伝統文化の一つである書道への関心と理解を、地域の中学生をはじめ市民・町民に広め、教育・文化の向上に寄与することを目的として、当クラブでは二〇〇四年から「川西市・猪名川町中学生書道展」を開催し、今回で三回目を迎えました。一五〇〇点を超す応募作品の中から一五〇点余の力作を選び、一月二七日から川西市役所で、二月三日から猪名川町のイオンモール猪名川で一週間ずつ展示し、多数の来場者を得ました。

募集に始まり、展示、表彰まで一貫してわがクラブ全会員の手で行っており、労苦は並大抵のものではありませんが、地域の活性化、書を通



地域の発展を願って中学生書道展開催

じた人間としての成長、ひいては日本文化の継承につながればと思っています。

最近ではパソコンや携帯電話、スマートフォンの普及で、筆を持って字を書くという行為がますます少なくなり、筆の持ち方から始めなければならなくなっています。書の基本は筆を立てて、力強く紙面を突き破るように書き、その中で少しでもうまく書けるかを念頭に勉強することだと思っています。

この書道展はこれからも、私共のクラブの社会奉仕の柱として継続していく方針です。そしてわが地区から輝かしい書家が誕生することを心から願っており、中学生への支援は惜しみません。

（吉見二郎・記）

鹿沼東RC マイ・リサーチ

鹿沼東ロータリークラブ
第二五五〇地区 栃木県

クラブの奉仕プロジェクト、職業奉仕委員会による「マイ・リサーチ（出前卓話）」を一月二七日に、鹿沼市立西中学校で一三一人の一年生を対象に開催しました。

第六回となるマイ・リサーチは、会員たちの創意工夫で年々レベルアップ。今回も生徒たちに事前アンケートを行い、時代とともに変わる職業観を会員が理解し、生徒たちの希望に沿った授業を行いました。

事前アンケートをもとに、会員から八人、外部講師二人の一〇人を選出しました。そして『実施テキスト』（講師紹介）を作成し、生徒たちはその『実施テキスト』を参考に、それぞれ希望の授業を一人二つ選んでもらいました。

一〇人の講師は企業人としてそれぞれ専門知識を持っていますが、さらに熱意を持って幅広く生徒たちが未来を創造できるよう、専門知識はもちろん、仕事に対する姿勢、生き方や考え方なども含めた四〇分の授業と、五分間の質疑応答で、計四五



歴史・文化を学ぼうと熱心に耳を傾ける参加者

歴史・文化 伝承プロジェクト

七尾みなとロータリークラブ

第二六〇地区 石川県

当クラブは前年度からの三か年計画として、ロータリー財団の地区補助金を活用し、石川県七尾市内の小学校一・二校の児童を対象に「ふるさ

使用済みの切手を加工した「しおり」を添えました。その反響に手応えを感じました。

最後は受賞者を中心に記念撮影を行いました。受賞した児童生徒からパワーをいただき、会員一同、早くも次回に夢をはせながら、心身共に充実する中で散会となりました。

(中村悟・記)

と七尾の歴史・文化伝承プロジェクト」を実施しています。地域の将来を担う子どもたちに歴史・文化を知ってもらい、ふるさとを愛する心を育んでもらうことが目的です。

今年度は、地元・七尾の生んだ偉人で、画家の長谷川等伯（一五三九～一六一〇）と、戦国大名・畠山氏について学んでもらおうと計画しました。

九月二六日、四校の児童四六人と先生五人、会員一七人が参加し、まずは石川県七尾美術館で室町時代に狩野派と時代を二分した長谷川等伯の人物像を学芸員から学び、その後、作品を鑑賞しました。

続いて、七尾城史資料館に場所を移し、畠山氏によって築かれ、日本の五大大城とされる七尾城の歴史・文化を再現したコンピュータグラフィックスによる映像を鑑賞。懐古館飯田家や七尾城跡を訪れ、ふるさと七尾の歴史を堪能しました。

また、同プロジェクトの一環として小学校一・二校に図書を贈り、十二月二四日に贈呈式を開いて、今年度の事業を終了しました。

児童たちには、自分のふるさとの歴史や文化に誇りと夢を持ってほしい、未来のリーダーに育ってほしいと願っています。

地域の ふれあい活動に協賛

いわき鹿島ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

いわき市は一九六六年に五市四町五村が合併し、その後、中核市に指定されました。地図上で、その中心部に位置する鹿島町はこの三〇年ほどで大きな変貌を遂げ、幹線道路沿いにはレストランや大型の家具店、書店や眼鏡店、靴の専門店などが軒を連ねるようになりましたが、そこから一歩奥に入れば、農村地帯の名残をとどめ、町には温かい人情も残っています。

この地では約二〇年前から「鹿島地区ふれあい会」によるさまざまな



地域のふれあい活動を支援

鹿児島養護学校に 六頭の鬼襲来

鹿児島東ロータリークラブ

第二七三〇地区 鹿児島県

二月三日の少し肌寒い朝、鹿児島県立鹿児島養護学校小学部（約九〇人）の節分豆まき行事に、会員一五人で参加してきました。当クラブでは創立当初からこの行事に参加しており、今回で二七回目となりました。

活動が続けられていますが、その一つに「かしまジュニアふれあい訪問」という活動があります。地域の子どもたちが鉢花と手紙、手作り弁当を携え、保護者など大人と一緒に、独居老人宅や高齢者世帯を訪問して手渡します。今年は二月七日に、子ども二人、大人三人が参加し、手分けして約九〇世帯を回りました。当クラブは今回の活動に協賛し、チューリップとサイネリアー〇〇鉢、手作り弁当一〇〇個を準備し、出発に立ち会いました。子どもたちにも訪問先での聞き取りアンケートをお願いしたところ、高齢者八八人から回答を得ることができました。今後、安心して暮らせる町づくりの参考にしようと思います。

(中山昌子・記)

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介、600
字以内、関連写真があれば
添付してください。

子どもの育ちを みんなで支える社会を！

近江八幡ロータリークラブ

第二六五〇地区 滋賀県

今、家庭環境の複雑化、多様化、貧困などにより、子どもの孤立や孤独が大きな問題となっています。子どもたちが地域で学び、遊び、文化に触れ、多くの人と仲良くなって孤独をなくす、そういう居場所づくりが求められています。市民の手によって、各地域で多種多様な子どもの居場所づくりを行うことで、子どもの成長をみんなで支える社会をつくらなければならないことが重要だと、クラブでは考えました。

そこで、青少年奉仕委員会が中心となって、子どもの居場所づくりを推進する民間団体の活動資金を助成



おいしそうにご飯を食べる子どもたちと

することにしました。

題して「子どもの育ちをみんなが支える社会をつくらう！」プロジェクトです。

昨年一〇〜一二月末、精力的に募集活動を展開し、新聞各紙に大きく取り上げられたこともあって、大きな反響がありました。一二月に募集締め切り、会長をはじめ関係会員で厳正に審査した結果、むさっ子食堂運営委員会が今年三月から始める「むさっ子食堂」への支援を決め、二月一〇日の例会で代表者に助成金を手渡しました。

共稼ぎ世帯などで、昼食を一人で食べる子や簡単な食事で済ませる子どもが見られるようになったことから、近江八幡市武佐学区の子どもたちに栄養バランスのとれたメニュー

を提供し、みんなで食卓を囲む楽しさを味わってもらおうと同食堂が企画し、昨年一二月から食事の提供を試験的にスタートしています。

もちろん、助成金を出しただけではなく、今後はクラブとして運営を支援していく予定です。それを成功事例として、他地域にも普及していくことを期待しています。

心に栄養を

読書感想文優秀者を表彰

小川ロータリークラブ

第二五七〇地区 埼玉県

当クラブでは二一世紀に活躍する青少年の健全な成長に資する活動の一つとして、読書感想文を推奨しています。

特に小中学生にとっては想像力や思考力を鍛え、表現力を豊かにすることなどに大いに役立つと考えています。さらには地域の人たちのロータリー活動への理解を深める機会にもなると、二〇〇三年にクラブ所在地域内の小中学校を対象に読書感想文を募り、優秀者の表彰を行うことを検討。周辺三町一村の教育委員会などの理解と協力のもと、翌年から優秀者を選考し、表彰式典を開催しました。



読書感想文の優秀者を表彰

以降、年一回、毎年二五〜四〇人の範囲で表彰し、年を重ねるごとに教育関係者や保護者をはじめ、市民の関心を高めてきました。

今年度は二月七日午前十一時から小川町立図書館で、来賓として小川町教育長、小川町校長会会長、同町立図書館長を迎え、小学生二四人（出席一〇校一七人）、中学生一人（出席四校六人）を対象に「第一三回読書感想文優秀者表彰式典」を開催しました。

今回も保護者や祖父母など、受賞者の二倍以上の参加を得ました。また、小学三年生の三人に代表して作品を発表してもらいましたが、その内容に強く心を打たれました。副賞には当クラブが独自に東京・世田谷にある子どものクラブに依頼して、

ROTARY AT WORK



福祉施設に桜の植樹、90本

〈岡山南RC〉

総合医療福祉施設「旭川荘」への19回目の桜の植樹を会員53人で実施。植樹は1997年、会員で当時の旭川荘理事長だった故・江草安彦氏を中心に始められ、当初は参加者も数人だった。植樹した桜は90本になり、また今年は江草会員の生誕90年に当たる。当日、会長は「桜がきれいな花を咲かせ、大勢の方に癒やしと安らぎを与えられるように」とあいさつ、現理事長から「記念の90本目の桜が植樹されることは感慨深い」と謝辞があった。今後も継続し、旭川荘を桜で包みたいと考えている。
(2月16日 第2690地区 岡山県)



第15回 少年剣道大会

〈米沢おしよしなRC〉

山形県置賜地方全域と山形市、隣接の福島県から小学生約1200人の参加を得て「第15回米沢おしよしなRC杯少年剣道大会」を開催。結果にとらわれず剣道の基本、師弟関係、人格の向上、青少年育成などを重視した社会奉仕の一環で、毎年行っている。参加者は、福島県立医科大学剣道部師範教士八段の佐藤孝康講師の実技指導などを受けた。指導者や家族などに支えられ、選手のフェアプレーで大いに盛り上がった大会となった。
(1月31日 第2800地区 山形県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

少年野球大会を開催

〈船橋東RC〉

「第9回船橋中杯少年野球大会」を開催。軟式野球の普及、野球を通じて小中学生の親睦、小中学生の合同練習による野球の技術と体力の向上を図る目的で行っており、クラブが後援している。船橋市立船橋中学校の野球部員が審判を務め、近隣小学生の少年野球6チームによる大会で、始球式は元読売ジャイアンツの土本恭平氏が務めた。
(1月23〜24日 第2790地区 千葉県)



ROTARY AT WORK

5～2016年度

1回 職業奉仕賞表彰・懇親会

北松浦ロータリークラブ

ROTARY CLUB



KITAMATSUURA

職業奉仕賞の表彰式

〈北松浦RC〉

職業奉仕活動の一環として「職業奉仕賞」の表彰式を行った。例年は会員事業所を対象とした優良従業員表彰式を行っていたが、今年度は会員以外の事業所も対象とし、ロータリーの職業奉仕の精神に通じ、地域の模範となる活動をしている4団体に表彰状と記念品を贈呈した。
(2月16日 第2740地区 長崎県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と1500字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



新同好会 ワインクラブ発足

〈彦根RC〉

クラブ8番目の同好会「ワインクラブ」が発足した。第1回例会には16人が出席し、ブドウの品種や特徴、ビンテージについてレクチャーを受けた。その後、4種類のチーズと近江牛の生ハム、生サラミをつまみに、今回はフランスのボルドーワインにスポットを当て、秋野正誠同好会会長が特別に手配した「シャトー・レ・ルイユ」など6種類のワインを楽しんだ。
(1月14日 第2650地区 滋賀県)



地元の中学生に、仕事についての授業を実施

〈有田RC〉

有田市立初島中学校の1～3年生50人を対象に、「仕事」をテーマにした授業を実施。会員の職業を中心に、その仕事の内容や、仕事をしていてうれしかったこと、苦労したこと、仕事をする上で大事にしていることなどについて話した。実際に働く人から経験を踏まえた話を聞くことで、学ぶことや働くことの意義を生徒が理解し、進路選択の一助になればと、クラブでは願っている。
(1月21日 第2640地区 和歌山県)



花園ラグビー場で 少年サッカー大会

〈東大阪東RC〉

東大阪市花園ラグビー場で「第10回東大阪東RC会長杯少年サッカー大会」を開催。レベルが高く内容も濃い試合を天然芝のグラウンドで行える数少ない大会で、今回は中河内内外から32チームが参加し、熱戦を繰り広げた。開催期間中、会場では献血活動も実施した。クラブでは、今後もますます充実した大会になるよう、継続支援したいと考えている。
(2月20～21日 第2660地区 大阪府)



長良川の鮎が世界農業遺産に

〈郡上長良川RC〉

昨年末、岐阜県を流れる長良川の「清流長良川の鮎(アユ)」が世界農業遺産に認定されたことを受け、道の駅入り口の看板塔に祝賀懸垂幕を掲げた。郡上役所から水産農林部長ほか6人、会員16人が参加して設置。作業終了後、道の駅の施設で全員参加のコーヒータムとなり、行政との親交を深めた。道の駅への来訪者だけでなく、国道156号線を通る車からも見えるため、クラブではPR効果を期待している。
(2月19日 第2630地区 岐阜県)

ROTARY AT WORK



職場訪問で松浦発電所を見学

職業奉仕委員会の主催で職場訪問を実施。九州電力（株）松浦発電所を訪問した。同発電所は1989年6月に九州電力初の海外炭専焼火力発電所として1号機（出力70万kW）が営業運転を開始して以来、電力の安定供給に大きな役割を果たしてきた。今回は、さらなる電力の安定供給と、競争力のある電源確保を目的とした2号機（出力100万kW）の増設準備工事を見学した。

（2月19日 第2740地区 長崎県）



認知症施設にウッドデッキを寄贈

（上尾RC）

地区補助金を活用し、認知症対応型共同生活介護施設「藤の郷あけお」にオープンテラスのウッドデッキを寄贈した。庭に造るという新しい試みだったが、施設の賛同を得て完成。入所者が屋外で陽光を浴びてくつろぐことができ、月1回はオープンカフェとして地域に開放されるため、入所者と近隣住民が楽しく交流を図る場所にもなった。

（2月19日 第2770地区 埼玉県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

韓国の姉妹クラブの例会を初訪問

（和歌山アゼリアRC）

昨年3月に姉妹クラブを締結した韓国第3662地区・済州日出RCの記念例会に、和歌山アゼリアRC会員が締結後初めて訪問した。済州国際空港では済州日出RC会員や事務局員など総勢12人の出迎えがあり、再会を喜び合った。済州市長の表敬訪問と例会では熱烈な歓迎を受け、二次会は金山RCの会員も加わり、言葉は通じなくとも心と心の交流を深め、双方が近い将来、協同で国際奉仕活動ができることを確信した。

（2月25日 第2640地区 和歌山県）



ROTARY AT WORK

大盛況、キッズサッカー大会

（八代東RC）

熊本県の県営八代運動公園陸上競技場で「第6回八代東RC杯キッズサッカー大会」を開催。県内の幼児から小学3年生までの135チーム、約1100人の元気みなぎるキッズ選手が出場した。応援者を含めるとグラウンド内は約4000人にもなり、家族から盛んな声援が送られていた。ポリオ撲滅募金も行ったところ多くの善意が集まり、ロータリーの広報活動ともなった。クラブでは、充実したこの大会を青少年育成事業として続けたい、と考えている。

（1月31日 第2720地区 熊本県）





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK 写真編

カンボジアの小学校を 支援して11年

浜松北ロータリークラブ
第2620地区 静岡県

浜松北RCは、11年前からカンボジアのウドンミンエンチエイ小学校の支援プロジェクトを続けています。カンボジアは1975〜79年のポル・ポト政権時代に知識人層など数百万人が虐殺され、教育体制は崩壊。教育を受けられないことが貧困を長引かせ、貧困がまた教育をはばむ「負の連鎖」が続いていました。そこで私たちは「カンボジアの新しい未来を創る子どもたちの育成に貢献しよう」と考えたのです。

2005年に初めて現地を訪ねた時、児童が学ばず、舍は、スクールが来ると授業を中断しなくてはならず、今にも崩れそうな状態でした。さっそく校舎建設をスタートさせ、同年8月に完成。翌年10月にトイレと井戸、2009年に校門とバレーボールコート、2011年にバスケットボールコートを建設。そして昨年、図書室・読書室が完成したのを機に、今年3月中旬、会員が贈呈式に出席してきました。制服姿で私たちを出迎えてくれた大勢の児童のきらきら輝く瞳は11年前から変わりませんが、町並みは確実に変化していました。学校がある地域は、首都プノンペンから車で約3時間。その間のでこぼこ道はかなり整備され、学校内にも自転車やバイクが何台も並んでいました。

今回、会員の子どもたちも一緒に訪問したところ、現地の子どもは同年代の日本人に興味津々。子ども同士、今後も心の結びつきを発展させ、子どもの未来のために生かしたいと考えています。（石津匡美・記）

倒れ木の寒く怪や落椿

千葉・富津中央 三枝かずを

飛花落花また吹きつゝのる山の風

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

通り過ぎふと立止る沈丁花

神奈川・横浜戸塚 中村 裕一

入院の患者と会話日永かな

山梨・甲府西 太田 道夫

春炬燵母の遺愛の着物解く

愛知・瀬戸 沢田 充子

桜鯛捌く息子の誕生日

愛知・碧南 杉浦 保子

朝まだき雪掻く音に落着かず

岐阜・高山西 小森 丈一

若者のカヌー操る雪解川

富山南 升田 義次

早春やなほ少年の夢に生き

大阪心斎橋 米田 文郎

牡蠣打ちの一行にして手際よき

東大阪東 溝畑 正信

手のひらにずしりと重し草の餅

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

春浅き黄檗山に打つ魚板

兵庫・甲子園 田中 由子

手相見の一灯ゆるる朧かな

徳島・脇町 片山 良樹

雪しまく籠る一日となりにけり

佐賀・伊万里 田中丸縫子

父よりも母よりも生き豆を撒く

埼玉・日高 落合 好雄

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

百匹の猫の王国西表
道には必ず王の道あり

愛知・新城 鳥居 栄一

毎年の長寿表彰嬉しくて
元氣に出席、有難きこと

新千葉 菊地 忠

経営にこころ安らぐことのなし
解雇の刃ふるふ悲しみ

東京荒川 井上 久子

ワイトモの鍾乳洞の地下の川
天井に居るツチボタル光る

岐阜加納 鶴飼 武彦

トーストに玉子ひとつのモーニング
かけがへのない平和な朝餉

千葉・富里 寒郡 政雄

春が来た修二会が終はれる早朝の
二月堂にて一人体操

奈良 寺田 康宏

ウオーキングに坂登りきて息をつく
鶯の声さわやかに聴く

福岡・小倉東 神吉 紘之

通学の生徒集団に巻き込まれ
身動き出来ず右往左往す

埼玉・所沢西 大原 律子

新人も多く立ちたる町議選
町おこす策なかなか言わず

青森・三戸 加藤 定男

戦中派に食制限は辛いなあ
残さないのが我等の美德

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

朝な朝な「天声人語」ではじまれり
コーヒー片手に無言の相づち

石川・金沢百万石 石丸 恭子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

風花の舞い込む隙は空けてある

大阪西 鴨谷瑠美子

身の丈の自尊心です亡父の服

青森北東 遠間 善弘

この桜 正岡子規ならどう詠むか

千葉・富津中央 千葉 一利

向学心まだ失わず本と生き

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

扉開け春に向かつてこんにちは

大阪・豊中 関谷 洋子

微笑んで呑み過ぎるなど遺影言い

東京武蔵府中 伊藤 信吾

不器用に生きてきたからいる仲間

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

マイナスの金利に笑顔空筆筒

神奈川・横浜旭 吉原 則光

シニア割り証明出せで苦笑い

新潟・吉田 佐藤 良一

修正をするかと問われ顔写真

東京日本橋東 井口 弘子

始まりはそれと気付かぬ針の穴

高知西 山岡 陸宏

微笑んで貧乏クジをあえて引く

新潟 小林 悟

人生の別れ道にもナビ欲しい

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

針供養裁縫箱はどこにある

奈良 寺田 康宏

カミさんは女子サッカークの評論家

長野・辰野 伊藤 隆一

申し訳ない 一つ覚えて世を渡る

大阪・堺清陵 物種 唯修

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑汀子



野梅には野梅の風のありにけり

京都・福知山 松山ひとし

郊外の梅の木々が花を咲かせ始める頃となった。どこことなく馥郁（ふくいく）と香りが漂うので、咲き始めたことに気がついた作者である。その香りを運んでくれるのは柔らかな風である。特に野梅の風と思う作者の感性がそれを感じさせてくれたのである。厳しい寒さの季節から、暖かい春の訪れを知らせてくれる一番早い花として、野梅がある。春になった喜びが素直に伝わってくる秀句である。

犬の目も桜吹雪に染まりけり

栃木・宇都宮西 矢吹 告朱

桜が咲き始めると世の中が一変するように誰もがうきうきとなり、花を見に出かけたくなる。桜の咲き初めて盛りを築し、また桜の散る頃となると、落花を築しむようになる。風が吹くと見事な花吹雪となる。作者は花吹雪の美しさに感動し連れている犬の目にもその情景が映って染まっているかに見るのである。辺りの情景までが想像される秀句。

棒鮎を炊くより朝の始まりぬ

奈良 寺田眞佐子

クレヨンの青もて春が動き出す

山形西 戸田 正宏

峠道濡れつつ下る春の雨

埼玉・川口中央 谷野日出人



佐佐木幸綱



「春の声」流れる朝の厨^{くや}にて
アスパラガス胡瓜ボールで踊る

奈良 寺田眞佐子

朝食用のサラダを作っている場面ですね。緑の野菜がドレッシングにぬれて、新鮮な光をはなちながらボールのなかで踊っているのです。

「春の声」は童謡「春の小川」等々をさすのかもしれないが、カッコでくくつてあるので、スピッツの「春の歌」からと理解しておきましょう。BGMを聞きながらの、明るい朝の空気が伝わってきます。

預かりし青年何処^{いずこ}に暮しているか

二十四年の保護司を終えぬ

長野・佐久コスモス 中澤 道保

二十四年にわたった保護司の仕事を終えられた感慨をうたう一首です。多くの人と接し、多くのドラマがあった二十四年だったのでしょ。

その中で、とりわけ思い出深い青年がいたのです。「預かりし」とありますから、もしかしたら、しばらく作者の自宅に住ませたことがあったのかもしれない。青年の現在の幸せを遠くから祈ることが保護司の最後の仕事、そんな作者の思いが読めます。

ヴァレンタインデーに菓箱を掛けにけり
新婚来たれ新築美邸ぞ

東京 新 欣樹



てじま晩秋



耳にある生まれた頃の町の音

群馬・伊勢崎 秋山 春海

カシヤカシヤ、パターン。作者の住んでる町はかつて近隣の桐生、足利などと共に織物の産地として全国的に有名でした。大人となった今も懐かしさと誇りを忘れぬ姿に共感します。

白雲に想いを乗せて母が逝く

北海道・斜里 辻 舒宏

「先ごろ、九五歳の母が入院中の病院で旅立ちました。子、孫、曾孫に囲まれて静かに安らかに——でした。病室の窓から見上げると、白い雲がぼつかりと浮かんでいました……」との注記が添えてありました。いつも申し上げてますが、母は海です。憧憬のお別れでした。作者の優しく満足された祈りが浮かびました。

ジョーカーが出るかドボンに終わるのか

香川・高松 大平 昇

米大統領選の共和党指名候補の不動産王、ドナルド・トランプ氏。選挙戦当初は大方の予測に反し、各州で勝ち続けていました。が、失言が多く、特に女性の有権者から批判を浴びて、勢いが失速したりしています。この作品が発表になる六月号のころはどうなっていますか。注目していこうと思っています。

どの色にも染らぬ黒の白負がある

熊本西南 古閑 修

会—性や年齢などにかかわらず、誰もが自らの意欲と能力を持ってさまざまな働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されており、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公正な処遇が確保されている。

このような三つの柱があります。

ワーク・ライフ・バランスを支援すること、組織側には多様な人材の定着や優秀な人材の確保、労働生産性や経営競争力がアップするといったメリットがあります。

ワーク・ライフ・バランス支援の具体的な取り組みとして、育児休業制度、配偶者の出産時特別休暇、看護休暇や授業参観休暇など両立支援のための制度を充実させることが挙げられます。また、短時間勤務や変形労働時間制、フレックスタイム制など働く時間の見直し、在宅勤務やエリア限定勤務など働く場所の見直しも必要です。その他の支援として、再雇用制度、代替要員の確保、育児休業者職場復帰支援などもあります。

ワーク・ライフ・バランス支援には、特に上司の意識改革が求められます。

(第二六三〇地区・岐阜県・高山中央R.C.にて)

料理道の歩み・徒弟制度

(株)天橋立ホテル営業部長兼
調理課長 料理長

円城寺利之

調理師の資格を取得すれば、その時点で調理師です。しかし、職人や料理人としてワンランク上の調理師を目指すのであれば、求人広告で職を見つけるのではなく、ほとんどの場合が、調理人同士の横のつながりの紹介によって始まってくると思います。雇用関係を結ぶというよりは、親方のもとに弟子入りする、という感覚のものです。仕事を教えていただく代わりに、丁稚奉公をするというのが通例でした。これをいわゆる徒弟制度といいます。

店によりますが、基本的には住み込みでした。弟子入りするということは、親方と家族同然になるということでもあり、新米の弟子は調理作業だけでなく掃除やお使いなど、親方の家の雑務も行いました。一昔前でしたら、奉公している間は小遣い程度の報酬を受け取るだけで、正月以外は休みも少ないため、とても過酷な修業とされますが、料理人を一生の仕事と決めた人にとって、この間、切磋琢磨し、やり遂げることは、その料理人の誇りと自信に大きく関わることで

した。現在では、社会情勢の変化により新たな技術継承の方法を考えていく必要に迫られています。

弟子は、兄弟子の仕事を見ながら仕事を進めます。言われたことだけを進めているだけでは上達しません。兄弟子のしていること、親方の一挙一動をよく見てよく考えて、自分の身につけていくのです。そういう弟子の姿勢を親方は気付くもので、親方の覚えもよくなるというものでした。親方から受ける指示は単なる雑用に見えることも全て修業の一環であるといえます。

茶懐石や日本料理の献立作成では、日本人独特の文化や四季に応じた場面に合うものが求められます。そのため、五味五色五感などを大切にし、五節句を理解し、俳句や茶道・華道など、さまざまな事柄との密接な関連を知ることが大切です。自然を尊ぶという日本人の気質に基づいた食に関する習わしを認められて、「和食・日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

料理人は、和食文化をこれからの世代にきちんと伝えていく方法を模索しながら、料理道を歩んでいます。

(第二六五〇地区・京都府・宮津R.C.にて)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

東京の超高層ビルの話

(株)赤鹿建設代表取締役社長 赤鹿 竜夫

超高層建築物の統一された定義はありませんが、おおむね一〇〇層以上の高さの建物を超高層建築物と呼びます。わが国で超高層ビルが初めて建てられたのが、一九六八年、高さ一四七層、地上三六階建ての霞が関ビルディングです。それ以前は建築基準法により高さが制限されていたため建てられませんでした。建築基準法の改正を契機に建築技術の進歩は目覚ましく、一九七一年には高さ一七八層、地下三階、地上四七階の京王プラザホテル本館が完成し、その三年後には三角ビルの愛称を持つ地上五二

階、高さ二二〇・三層の新宿住友ビルディングが完成、超高層化の波は短期間に二〇〇層の世界に突入しました。

新宿副都心には一〇〇層を超す建物が建ち並び、新宿高層ビル群として有名です。この地に高層ビルが密集しているのは、新宿副都心計画に基づき、新宿駅の至近にあった老朽化していた淀橋浄水場を移転させ、その一〇万坪を超える跡地に高層ビル群を建設したからです。こうして一大商業エリアとなりました。

現在、構造物である東京スカイツリー六三四層、東京タワー三三三・一六層を除き、東京で一番高い建物は東京ミッドタウンにあるミッドタウン・タワーの二四八・一層で、二番目は二〇一四年に完成した虎ノ門ヒルズ二四七層（最高部二五五・五層）。新宿副都心のシンボリックな存在の東京都庁第一本庁舎は二四二・九層で都内第三位の高さを誇ります。

現在、日本で一番高い建物は大阪のあべのハルカスで高さ三〇〇層ですが、三菱地所が丸の内に高さ約三九〇層の日本一高い建物を含む再開発プロジェクトを発表し、いよいよ四〇〇層の時代も目前に迫った感があります。

(第二六八〇地区・兵庫県・姫路RCCにて同RCC会員)

女性活躍の基盤となるワーク・ライフ・バランス

NPO法人参画フナネット
常務理事

中村奈津子

男女共同参画社会に向けた取り組みの一つに、ワーク・ライフ・バランス支援があります。

ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」です。具体的には、

- ①就労による経済的自立が可能なる社会――経済的自立を必要とする者、とりわけ若者が生き生きと働くことができ、かつ、経済的に自立可能な働き方ができ、結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる。
- ②健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会――働く人々の健康が保持され、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる。
- ③多様な働き方・生き方が選択できる社



練習の成果が発揮され、コンサートは大盛り上がり

り越える力を子どもたちに持つてもらいたいという思いで創設されました。

夕方、私が到着すると、すでに会場で練習する子どもたちの姿がありました。本番に向け準備は万端です。

一九時半、五〇〇人収容の会場には日ごろから奉仕活動でつながる地元の学校や病院の関係者や市民が来場。台北益成R.C.の会長、会場を無償で提供しているホテルの支配人などからあいさつがあり、いよいよ音楽会の始まりです。

副団長の何鴻棋さんが指揮する打楽器がメインの楽団で、日本のテレビ番組「情熱大陸」のテーマ曲など力強い曲も多くありますが、映画「魔女の宅急便」のテーマ曲など、しっとり聞かせるものもあります。ソロのパートもあり、一人ひとりがしっかり役割を演じて曲を奏でていきます。何さんの指揮が情熱を伝え、子どもたちも応えるように音

をたたき出していきます。指揮が子どもたちの気持ちと音楽会のボルテージを上げ、障がいがある子どもたちの一生懸命な演奏がハンディキャップを忘れさせ、音楽会を最高潮へと導きます。子どもたち一人ひとりの笑顔と技量に魅せられた二時間でした。終了後に親子と一緒に片づけをする姿は印象的でした。

この音楽会は台北益成R.C.のメイン事業になっており、出演料の三〇万台湾ドルを活動費として支援しています。

(第二六六〇地区 大阪府 デザイン)

宗教と仏教

桑名西 藤井 英昭

宗教とは何か、何が仏教の教えか、ということを考えてみようと思います。

『星の王子さま』(アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ著)の中で、キツネが言います。「目に見えないものが一番大事です。目に見えないものとは神仏だと言われている。世界三大宗教の神仏の属性(特質)は、「永遠・絶対・真実」です。

例えば、元読売ジャイアンツの長嶋茂雄氏は引退する時に「わが巨人軍は永久に不滅です」と言いましたが、「永遠・永久」とは神の言葉で、長嶋氏の願望にすぎません。戦時中、日本人は「アメリカは絶対負ける」と聞

かされていましたが、「絶対」という言葉は、人間の言葉ではなく、神そのものです。「真実」についても、人間の方は「空言、たわ言、誠あることなし」なのに、神仏は真実そのものです。これが宗教です。

それでは仏教の教えとは何なのでしょう。『どんぐりと山猫』(宮澤賢治著)の中で、どんぐりの裁判で困っている山猫に、一郎は「いちばんばかで、めっちゃくちゃで、まるでなっていないようなのが、いちばんえらい」と言ったらどうかと助言し、これはお説教で聴いたのだ、と言いました。山猫が一郎の言った通りに言っていると、それまで騒がしくしていたどんぐりたちはしんと静まり返りました。

一郎が聞いたというお説教を推察すると、親鸞聖人の「悪人正機」になります。『歎異抄』に出てくる「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」の「悪人」とは、如来の前で自己否定ができる人です。「善人」とは自己否定できない人、自分を正当化する人です。心の虫歯が痛み出すように、自分は地獄行きだ、と思う悪人を如来は助けるのだ、と言っているのです。

罪惡と如来の救済。教学では「三種深信」と言いますが、哲学者、西田幾多郎(一八七〇～一九四五)は「絶対矛盾的自己同一」と言いました。これが浄土真宗の救済論です。自分は悪人だという自覚を持っているのに後悔が湧いてきます。懺悔(ざんげ)しないのは、野獸(畜生)だと言われています。

(第二六三〇地区 三重県 仏教)

千歳セントラルロータリークラブ

第二五〇地区(北海道)



北海道の空の玄関、新千歳空港の所在地としての印象が強い千歳市ですが、実は北海道の大地を体感できる自然豊かな土地でもあります。渡りの季節にはハクチョウが飛来し、秋には清流、千歳川にたくさんのサケが遡上します。千歳の豊かな大地をイメージしています。

一九四九年一月一日、ダグラス・マッカーサー元帥(一八八〇～一九六四)が日本の国旗使用を自由とする旨の声明を発表。これより正式に日章旗の自由掲揚が認められました。が、「反・日の丸」を主張する勢力などのため混乱しました。その半面、日章旗が日本国旗であることは一種の慣習法と考えられることなども主張されました。

以後、一九九九年(平成一一)年の「国旗及び国歌に関する法律」制定までの道のりは、約五〇年と長かったようです。

国旗は自分が住む国家の象徴ですから、敬意を表して慎重に扱わなければならないと思

います。このようなことから、祝日にはこぞつて掲揚し、祝祭を共有したいと思っています。

(第二五四〇地区 秋田県 土木建築)

「原発再稼働は認められない」を読んで

鹿屋 田中 俊實

『ロータリーの友』二〇一五年一月号「友愛の広場」に福島第一原発事故の反省から、世界中の原発再稼働は認められないとの意見が掲載されていました。少し違う私の意見を聞いていただきたいと思っています。

確かに福島第一原発の事故は被害が大きく、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。しかしながらこの被害と原発再稼働とは直接結びつけてはならないと考えます。なぜ原発事故が起こったのか、非常用電源喪失の時、なぜ非常用冷却装置は作動しなかったのか、効果がなかったのか、また事故を起こさなかった隣の福島第二原発は現在どうなっているのか。それぞれの原発について、受けた地震の震度、津波の高さ、地震による被害状況、津波による被害状況、どのように対処したのかなど、詳しく検証してほしいと思います。

また、今後の原発再稼働論議を深めるためにも、そのほかの近隣原発にはどんな被害があったのか、現在どうなっているのか、知り

たいと思います。被災者の心情を推し量って調査結果を発表しないのか、または非常に危険な状況にあつて発表できないのか、不安が増すばかりです。

事故発生以来五年経過した現在、すべての原発の地震による被害状況、対処状況、現在どうなっているのか、正しい情報を開示していただきたいと思っています。

(第二七三〇地区 鹿児島県 農機具販売)

姉妹クラブの行う「人道關懷慈善音楽会」

門真 泉 光典

私たちの姉妹クラブである台湾の台北益成ロータリークラブ(RC)が二〇一一年度から主催している音楽会が二月二七日、台北市内のホテルで開催され、視察に行ってきました。

台北益成RCは、障がいがある子どもたちが勇氣と自信を持つ機会を提供し、かつ、音楽会に来る人たちにも同じように勇氣と希望を持つてもらうことを目的として音楽会を主催しています。また普段あまり表に出ない障がいのある子どもにスポットライトを当てることで、一般の方に関心を持ってもらい、彼らの社会復帰の一助になればと考えているそうです。

今回出演するこの打撃楽団は、障がいを乗

問題が山積みしていると聞きますが、いつまでも元気で頑張ってもらいたいと思います。近くにお越しの際は、来夢来人備後芸術の館にぜひお立ち寄りください（月曜日休館 電話：〇八四七―五二―五四四五）。

（第二七二〇地区 広島県 建築設計士）

母国の未来を担う 米山学友を支援

成田 平山 秀樹

わが成田ロータリークラブ（RC）が世話

名古屋名東ロータリークラブ

第二七六〇地区（愛知県）

バナー自慢



名古屋市の市の花はユリ。当クラブは市内東部の丘陵地区をテリトリーとして、名古屋市内で11番目に誕生したことで、バナーには大小11本のユリがあらわれています。またその背景には、日の出が描かれています。

クラブを務めた元米山奨学生、シルネン・ブヤンジャルガルさん（二〇一〇―二〇一一年）がホームカミング制度を利用して二月に来日、地区大会でスピーチをしました。

ブヤンさんは、モンゴルのウランバートル市に高等専門学校を設立、そこに至る半生について語りました。ウランバートルから一二〇〇キロ離れた大草原の町で生まれたブヤンさんが、故郷を出る時、両親から「国のためになることを一つでいいから実現してほしい」と思いを託されたそうです。この思いを受け、日本に渡り佐世保高専へ。そして、苦学の末、千葉大学に進学。この時に、ロータリークラブ、米山奨学制度との出会いがあり、米山奨学金によって支えられて大学院を修了することができたと言います。

卒業後、一度は日本の企業に就職したものの、両親の思いを実現するために母国に戻り、自分が日本で受けた教育の原点である高専をつくることを決意しました。高専の創設にあたっては、同じく米山学友で新モンゴル学園の理事長であるジャンチブ・ガルバドラッハさんとの出会いがあったそうです。米山奨学制度がなければ、新モンゴル学園も、ブヤンさんの新モンゴル高専もなかったと言っても過言ではないのではないのでしょうか。

実際に高専ができるまでは、日本とモンゴルのさまざまな違いに苦労もあったそうですが、モンゴルの三〇年後、五〇年後の未来のためにモンゴル高専の卒業生を送り出すのだと決意を語り、「ロータリアンの皆さんが時

かれた米山奨学生という種が、新モンゴル高専として実を結び、私の大切な二二〇人の子どもたちという種をまたつけ始めています」と締めくくりました。

ブヤンさんは来日中、銚子東RCや母校の千葉大学でスピーチをするなど、精力的に活動しました。また以前にモンゴル高専に中古の計量機器を四台寄贈していた千葉測器を経営する中村正見氏（千葉RC会員）の案内で、測量機器メーカーのトプコン社を見学。同社からも新品のレベル（床面の下地調整材）、トランシット（角度を測る機器）が二台ずつ贈られました。これらは、高専における建築関係の教育には欠かせない機器です。

ブヤンさんは今回の来日を本当に感謝して帰国しましたが、私たちは彼を通してモンゴルの未来づくりのお手伝いができることをうれしく思ったホームカミングになりました。（第二七九〇地区 千葉県 総合建築士）

祝日の国旗の掲揚に 一考を

能代南 浅田 嘉美

かつては、国の祝日などに官庁をはじめ民間の事業や家庭に至るまで一斉に国旗を掲揚して、その祝祭を共有しました。しかし太平洋戦争の敗戦により、連合国軍総司令部の指令で、日章旗の掲揚が原則禁止されました。



会長を経験し、いろいろなことを考えさせられました

ついても、いろいろと考えさせられた一年でもありました。

会長の任期を終えた後、ロータリアンの一人として何か地域にお返しをしたいと考えるようになりました。そんな中、私の竹馬の友が署長を務める鳴門市消防本部に「何か困っていることはないか？」と尋ねたところ「消防署の広報用の車が老朽化している」とのことでした。あらゆる災害現場に出動し、指揮の支援や広報をすることができる消防指揮車の必要性を感じ、年末警戒が始まる昨年十二月二六日に消防指揮車を寄贈しました。この消防指揮車が少しでも鳴門市民の安心・安全のために役立てば、ロータリアンの一人として幸いです。

また、私が経営しているリゾートホテル、イタリア料理店は広く地域の皆さまにご愛顧いただき、一七七年を迎えることとなりました。これからも鳴門に根差した、そして地域社会

に役立つ会社でありたいと考えています。さらに、ホテルという職業を通して地元の皆さまはもちろん、国内外から訪れる多くのお客様さまに、鳴門に良い印象を与えリピートしてもらえそうな施設であり続けたいと念じています。(第二六七〇地区 徳島県 イタリアン料理)

ザ・奉仕 これぞロータリアンの真の奉仕

府中 河崎 歳行

今年九二歳になるわがクラブの平克己さん(一九七三年七月入会)は、現在使っていない自社の四階建ての寮を「来夢来人備後芸術の館」という画廊、展示場に改築。お年寄りに優しいエレベーターを設置し、地元画家、彫刻家、書家、写真家、工芸家などの発表の場、趣味を同じくする人の集まりの場として無償で提供しています。現在では展示場の予約が一年半待ちになるほどの大盛況だそうです。

来場者はどのような作品が展示されているのか期待して訪れ、次回を楽しみにして会場を後にします。地元にも素晴らしい人がいると感激し、地域にも根づいて大人気です。

各地にある美術館、博物館などは常設展示が多く、一度見たら忘れたところに行くか、特別展の時にいくくらいですが、「来夢来人」はいろいろな作家、趣味の人たちの作品が短期間で入れ替わり、何とも言えぬ味わいと期

待感があります。平さんは、そういう人たちから慕われており、高齢ですが、生き生きと元気に地域で貢献し、喜びと夢を与えています。平さん本人は、「繁盛すればするほど水道代や光熱費は上がるけどな」と笑い飛ばしつつも「そんな大げさなことではないし、好きでやっていることです」と謙遜します。

ロータリーでは、奉仕の実践とか、奉仕の理想、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕などといったことがいつも議論されています。奉仕は個々の職業を通じて行えばよいのだと教えられます。平さんが行っていることはまさしくロータリー精神の奉仕の実践だと思います。世の中にはロータリー以外にも、私たちが知らないところで地域社会のために貢献している人が多数いるとは思いますが、平さんのように、地域を愛し活躍している人を、少しでも知っていただきたいという思いです。



地域のサロンのような存在になりつつあります

を実感しました。

タゴールが宿泊した時は五月、新緑の候でした。ウグイスの声が聞こえたかもしれません。異国雲仙の朝まだき、わずかにたなびく霧の中で、詩聖は何を瞑想したのでしょいか。それとも鮮やかなミヤマキリシマに囲まれ、豊かな時を過ごしたのでしょうか。

七條氏はタゴールの足跡を訪ねてインドを訪問しています。その時にタゴールをしのんで菩提樹の葉を持ち帰ってきたそうです。その二葉の葉が特別スペースにそっと飾られていました。 (第二七四〇地区 佐賀県 清酒製造)

パラオRC創立二〇周年記念式典に参加

東京日本橋 森本 祐司

東京日本橋ロータリークラブ (RC) が所属する第二七五〇地区は、日本では唯一海外が含まれており、北マリアナ諸島、 Guam・ミクロネシア・パラオにある九つのクラブが所属しています。それらを総称してパシフィック・ベイスン (PB) グループと呼んでいます。PBグループの一つ、パラオRCが、二〇一五年一月に創立二〇周年を迎えるに当たり、当クラブから川村明会長、田中源治幹事をはじめ六人で参加。さらに、東京銀座RCから三人、東京中央RCから一人、東京あけぼのRCから三人が参加しました。

記念式典が開催されるまでの時間を利用して、われわれは天皇皇后両陛下も訪問されたペリリュー島へ行き、「西太平洋戦没者の碑」に献花や献酒をしました。あらためて当時の戦争の激しさ、厳しさ、そして平和への思いを強く持ちました。当日私たちのガイドを務めてくれた人はとても若い人でしたが、何でもよく知っていて、われわれの質問に的確に答えてくれたのが印象的でした。

その日の夜が式典でした。場所はホテルのレストラン。東京日本橋RCでは全員おそ



ろいのアロハシャツで参加しました。パラオRCの会員は二〇人弱なので、派手なイベントはありませんでしたが、会長をはじめとした会員たちの努力により、心温まるすてきな記念式典となりました。特に心打たれたのが、人数も少なく、また経済状況も決して

豊かではない環境下にあるながら、子どもたちにより優れた教育を提供したいという思いから、電子教育プロジェクトを立ち上げ、実現に向けて奔走している姿でした。ロータリーの原点を垣間見た気がしました。

翌日はパラオRCの主催でロックアイランドツアーに参加しました。透き通る海でシュノーケリングを楽しみました。無数の魚に囲まれて、皆、年がいてもなく大はしゃぎしてしまいました。

二泊四日の強行スケジュールでしたが、遠く離れていても同じ地区に所属する仲間たちの式典に参加できたことの喜びと、あらためてロータリアンとしての奉仕の精神に気づくことができた、有意義なツアーとなりました。 (第二七五〇地区 東京都 事業戦略コンサルタント)

職業奉仕を通して 地域貢献を

鳴門 芝野 光

二〇一三年七月からクラブの会長エレクトとして一年の勉強を終え、一四年七月から会長として貴重な一年を経験させていただきました。当地区の中でも歴史ある鳴門ロータリークラブの創立六〇周年の節目に会長としての活動を何とか無事に終えることができ、これも会員の協力のおかげと深く感謝しています。また、職業奉仕を通しての地域貢献に

バナー自慢

岩倉ロータリークラブ

第二七六〇地区（愛知県）



「日本さくら名所一〇〇選」の五条川は、岩倉市のシンボル。サクラが見下ろす緩やかな流れでは「のんぼり洗い」が行われ、大空を泳ぐ「鯉のぼり」となります。地元の伝統産業にちなんでデザインされました。

らだと思う。

現地に行つてわかったのは、彼らの生活の基本は、家族と寝るところがあること、バナナをはじめ食べるものがあること。文明的な生活をするために環境を破壊することには反対であり、農業も環境にやさしい肥料を利用、生活必需品である洗剤もパームオイルのせっけんを使用し、電気は太陽光発電が主流なので、ほとんどの人がまだランプを使っている。争いを好まず長老の話をよく聞き、政府の方針に従うかどうかは自由。教育は自己負担であるが、ほとんどの家庭は授業料を支払って子どもを学校に通わせている。自然の中でのんびり過ごす子どもたちにとって何が幸せであるのか、長老のもとでどのような生活が彼

らにとって幸せであるのか、われわれのような生活をしてきた人間にとって、識字率向上の名のもとに文明生活を押し付けることがよいことだろうかと考えざるを得ない。

私もシンプルライフの環境の中で、人にやさしく人に喜んでもらう余生を過ごせるよう試みたい。大病をした割に、見てくれも生活の多忙さも以前とあまり変わらない生活ができていて大変うれしく思っている次第である。

（第二六八〇地区 兵庫県 団体）

タゴール、九州ホテルの縁を訪ねて

唐津東 宮島 省吾

雲仙ロータリークラブ（RC）の例会場である雲仙・九州ホテルには、インドの詩人で、アジア人として初めてノーベル文学賞を受賞したラビンドラナート・タゴール（一八六一～一九四一年）の資料を展示した特別スペースがあります。

タゴールの名を見て、国際ロータリー会長K・R・ラビンドラン氏のテーマを思い出す人も多いでしょう。ラビンドラン氏はタゴールの言葉を引用してこう語りました。『楽器の弦の張り替えばかりしていて、肝心な歌を歌わずに』毎日を過ごしますか。ロータリーの活動や各事業を通して地域に貢献しよう、世界へのプレゼントになろうという

メッセージでした。

タゴールは一九二四（大正一三）年五月三日、北京からの帰途、海路で長崎に着き、雲仙・九州ホテルに宿泊しました。ホテル来訪を記念して「ベンガルの間」を設け、書籍や絵画を展示しています。また、生誕一〇〇年を記念して一九六一年、ホテルの前庭に記念碑が建立されました。

雲仙・九州ホテル最高顧問の七條健氏は雲仙RCの会員で、父君の達夫氏はガバナー経験者です。縁を感じて訪問した第二七四〇地区の『ガバナー月信』編集部を、七條氏が出迎えてくれました。

当然ながら、タゴールが九州ホテルに宿泊していた当時に記憶している人はなく、想像するしかありません。しかし懇談する中で、タゴールに思いをはせる人々が今、ロータリーの中に一本の線としてよみがえったこと



九州ホテルの前庭に建てられた「タゴールの碑」

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

米山学友との再会

尾張旭 古橋エツ子

昨年一〇月末に、台湾の国立政治大学で開催される国際シンポジウムに出席する機会がありました。私は二〇一三―一四年度の米山奨学生だった台湾出身の陳淑珮さんのカウンセラーをしていたので、連絡をしたところ、「私もシンポジウムに出席したい」とのこと。そこで手続きをして一緒に出席することとなりました。

シンポジウムでは、日本、韓国、台湾、マレーシアの研究者が「福祉国家における人権」についてのテーマで報告と討論を行いました。事前の打ち合わせからシンポジウムまで一日中、英語でしたから、私は緊張気味でした。陳さんとは約二年ぶりの再会でしたが、帰国前と同じ元気な姿を見て安堵しました。彼



楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました

女は大学院博士課程の修了後に体調を崩し、治療が必要となって帰国していました。当初は痩せたようですが、治療が終了した半年前から体調も元に戻り、現在は定期検査をするだけでよくなったそうです。ただし、お酒やハム、ソーセージ、ベーコンなどの加工食品の摂取を禁止されており、お酒が飲めないのがちょっと残念そうでした。一緒に台湾料理を食べたり、珍しい果物を見つけたりしながら、楽しいひとときを過ごしました。

彼女から「尾張旭ロータリークラブ(RC)の皆さん、お元気ですか」と聞かれ、ガバナー公式訪問のこと、十一月には被災地を訪問すること、二〇一六年はクラブが創立四五周年を迎えることなどを話しました。また、彼女の研究のために本を送ることを約束しましたが、「もっとおしゃべりしたいねえ」と名残惜しい思いでした。

歸りに、陳さんから「尾張旭RCの皆さん

に、くれぐれもよろしくとお伝えください」とのメッセージとお土産もいただき、今回の再会を互いに願いつつ、帰路に就きました。

(第二七六〇地区 愛知県 教育・社会保障)

驚天動地から シンプurlライフへ

神戸南 米谷 収

八三年の小生の人生の中で、昨年ほど予想外の出来事が一度にやってきた年はないだろう。一昨年、脊柱管狭窄症と診断され、手術を受けようと入院したところ、胆管と十二指腸と脾臓の一部にがんがあることが判明。入院し手術も無事終了したが、その後、雑菌が入り治療を受けることとなった。そして糖尿病の併発。脊柱管狭窄症の手術をせず退院することになったが、一人暮らしは危険だということ、ロータリーで親しくしている山口元氏が経営している高齢者向けケアハウスにお世話になることになった。

引越をするにあたっては家具、衣服、本などの選択を迫られたが、人間一人生活するのに八畳の間で十分であり、衣服類も必需品以外はいらないとシンプurlライフを心から受け入れられた。これは入院生活以前に私が企画したバヌアツ共和国の子どもの教育支援活動で現地を訪れて、「人間の本当の幸福とは」について考えさせられる経験があったか



例会前の打ち合わせ

南相馬RCの例会を終えて

時多発テロ事件が起きた。仕事はストップ。子どもの教育も考えて翌年、ほぼ二〇年ぶりに故郷の福島県大熊町に帰った。

『いんぷお』を始めて五年たったころ、こんどは原発事故である。実家は福島第一原発から三〇。親戚を頼って郡山市に逃げた。

その後の気合いの入れ方がこれまたタダゴトでない。顧客も読者も混乱しているだろう中、三か月休んだだけで再開、一昨年から南相馬市内の仮設店舗で発行し続けている。

「放射能は本当に大丈夫なのか。ここで生活応援誌を出しているのか。ずっと半信半疑なんです」。郡山からクルマで二時間半かけて事務所に着き、スタッフの顔を見ると元気になる。帰りのクルマでまた考え込んでしまう。

ただ、迷いは消えつつあると言う。去年、南相馬市で開いた第二五三〇地区の大会が印象的だった。「この町に一〇〇〇人以上も集まって、あんなことができるんだ。感動しました」

門馬純子さんはアメリカ留学経験者だ。薬学が専門で、長く厚労省で医薬品の審査に関わった。亡父のパチンコ店を継ぐため帰郷し（現在は廃業）、クラブの創立に参加したが、活動にあまり積極的になれなかった。故郷の風土になじめなかったのかもしれない。

マイナス思考に陥り退会も考えたりましたが、震災で考えが変わった。今年度は副会長も務めている。「このまま引っ込んだのでは自分になにも残らない。この町で、ロータリーで、できることがあるはずです」

ひとつの区切りとしての五年が過ぎ、また新

たな一年が始まった。

南相馬RCは来年創立一〇周年を迎える。酒井ガバナは「新しく誕生したクラブとして、再スタートのきっかけになればいい」と酒井ガバナは考えている。

小高RCのことを書いておきたい。南相馬市の南部、旧小高町で一九八〇年に創立された。震災と原発事故で全会員が避難、一昨年六月に解散した。会員は一四人。二〇周年事業で建てた『四つのテスト』の碑が駅前に残った。

最後の会長だった志賀正幸さんは、相馬市の国道6号線沿いでダイハツの販売店を開いている。「なんとかもう少しがんばれないか、という声もありましたけどねえ」と残念そうだ。

事務局を一六年間担った高橋人美さんは、電話でこんなふうにクラブの思い出を語った。

「人数は少ないですが家族的なクラブでした。温かいものがないと例会で鍋ものを食べて、他クラブのかたからうらやましがられたり」



同じ分区の浪江RC、富岡RCは避難しながら存続している。思いを残しながら消えたクラブと続くクラブ。それぞれの事情がある。

宮本貢（みやもと・みつぐ）
元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。
水村孝（みづむら・たかし）
元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

小高RC最後の会長
志賀正幸さん

荒明健会長

初代会長堀内信夫さん

野口美佐子さん

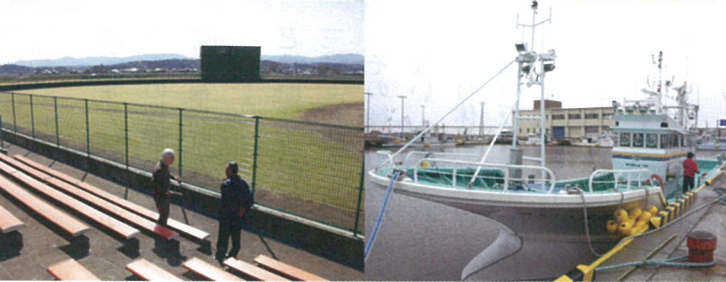
門馬純子さん





酒井善盛ガバナー

宮城住夫さん



上：津波に襲われた鹿島区の海岸。奥は東北電力原町火力発電所。
下左：みちのく鹿島球場。下右：復興した真野川漁港。試験操業が行われている

支援の受け入れ先を探す。行政の窓口とつながり。打ち合わせに訪れるお客さんを福島駅まで送迎する。「文字通り、右往左往していました」。携帯の料金が二〇万円ぐらいいったそうだった。震災から九か月たった一二月、ジャズトランペッター日野皓正カルテットのライブが市内で催された。南相馬RCと東京杉並RC、東京青山RCの縁で実現したもので、市内の原町RC、原町中央RCも共催として支えた。

ときの会長はクラブ最年長の宮城住夫さんだった。「あのライブで、私たちもなんとか自信を取り戻したところはあるかと思っています」

震災から五年復興は……

五年たった。「復興」は進んでいるのか。南相馬市の場合、人口は七割が戻ったことになっている。市外や県外に避難、移住していても住民票は動かさない人も多い。若い働き手は都会の新生活に慣れ、戻っていないのではといわれている。そのせいか、

人手不足の声を聞く。コンビニの時給が一二〇〇円とも、いやいや一五〇〇円、月給三五万円ないと集まらないとも。

南相馬市は「帰還困難」「居住制限」「避難指示解除準備」の三区画とそれ以外に分けられている。道を隔てただけで賠償金の額も異なる。地域が壊れた、と嘆く声を聞く。

そしてたとえば、五人の肉親を亡くした川崎さん。津波で墓も流れたが、去年新しく納骨をすませた。「いちおうの区切りなんだろうね。昔の生活には戻りませんが」

宮城さんは会長を退いた後、お世話になった各地のロータリークラブを訪れて回った。「わたしも歳だものですから、旅行もかねて楽しんで行つてまいりました」。その旅はたいい夫入同伴だった。

震災対策に追われた酒井ガバナーの五年間はようやく終わる。寄せられた義援金は各クラブの事業に割り振り、使い切った。「ロータリーだから苦しさに耐えられた」という声がなによりうれしい。ガバナー退任後はお礼行脚だ。南相馬RCには二人の女性会員がいる。野口美佐子さんと門馬純子さん。それぞれが歩んできた道と、現在の感じ方が印象的だった。

地域情報を発信するフリーペーパー『いんふお』を発行している野口さんは去年入会したばかりだ。連続した災難がタダゴトでない。アメリカで暮らしていた二〇〇一年、あの同

除染作業が続く小高区

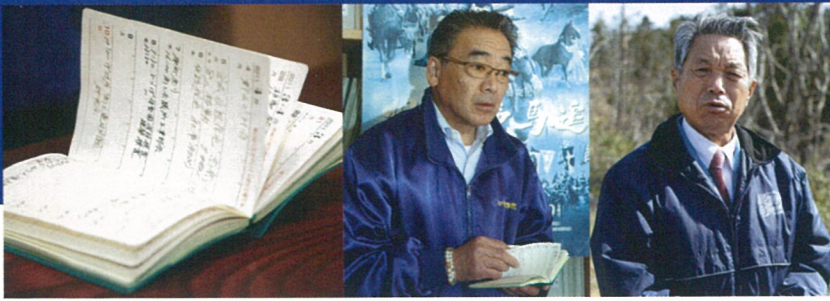


JR常磐線原ノ町駅
下り相馬行きのみ運行



放射線量の表示板





川崎博祐さん(右)と被災当時の活動を記した手帳

長澤初男さん

団長さんだ。

まず訪れたのが、市の北部にある「みちのく鹿島球場」である。集落の避難場所だったが津波に襲われ、グラウンドにいた人たちが濁流と瓦礫にのまれた。一人が犠牲になった。

「ひとり沈んだ」「またひとりやられた」助けを求める通報を聞きながら、現場に向かうことすらできなかったそうだ。

五人の遺体が見つかった溜池、松林の消えた海辺にボツンと立つ、これも「奇跡の一本松」、津波が河口から五キロほど逆流した真野川。

相馬の伝統行事「野馬追」の騎馬武者が似合いうような風貌の長澤さんが、生まれ育った地域の惨状を淡々と語る。

「このあたりに来るのは、初めはいやだったですよ。しかし、五年はひと区切り、という気持ちは自分たちの中にもありましたから」

ひと区切りではないが、区切りの五年。

南相馬市は一〇年前、原町市と小高町、鹿島町が合併して生まれた。市内のクラブは、原町RC、原町中央RC、南相馬RCの三つ。

南相馬RCが最も若い。二〇〇七年の創立だから今年九歳。小学校なら三年生である。

生い立ちは波瀾万丈だ。創立四年で大震災と原発事故に遭遇、今年度はなんと第二五三〇地区のガバナールを出している。よちよち歩きのように大惨禍に見舞われたと思ったら、こんどは地区のトップを支える立場になったわけだ。

「クラブ内はもちろん、相双分区でも反対の声ばかりでした。ガバナールを出せる状況ではないだろうと。その通りなので、わたしも三年受

けなかったんですが」

酒井善盛ガバナールは苦笑する。

震災の年から翌年にかけて、酒井さんはガバナール補佐を務めた。その後も毎年、地区の役員として被災対策、復興支援に奔走した。ガバナール就任はその延長線上であり、酒井さんの強い意欲の表れといえるのだろう。

震災当時、南相馬RCの会員は二五人。現在、地区代表幹事を務める川崎博祐さんが幹事だった。事態にどう対処したのか。

「どうしていたのか……とにかくロータリー活動ができるような状態ではなかったです」

地震と津波、さらに原発事故を受けての緊急避難や屋内退避。会員の安否の確認だけでも大変で、ようやく理事会を開けたのは一か月半後の四月末だった。

川崎さんは、じつはそれどころではなかったはずだ。海から五〇〇メートルほどの実家が津波にのまれ、父と兄など四人が流されてしまった。避難所や遺体安置所をめぐって探す。最終的に父が確認されたのは四月末、兄はいまだに見つかっていない。

デイサービス先で津波をかぶった母は、移送先の病院でその後亡くなった。関連死である。

クラブには国内外のロータリアン、知り合いからの支援の申し出が続いた。だが会員の多くは活動する時間がとれない。対応はほとんど酒井さんを通して行われた。

南相馬市の中心、JR原ノ町駅前のメインストリート



相馬野馬追(南相馬観光協会提供)

鈴木晃氏撮影

長谷川錦治氏撮影



わがまち.....ROTARY そしてロータリー

福島県南相馬市

それぞれで
いま、進もうと.....

文・宮本 貢 写真・水村 孝

震災から九か月
ライブの開催で自信がもてた

福島県へ行ってきました。取材を終えて東京駅に帰り着いて間もなく、熊本、阿蘇地方で地震が起きました。四月一四日の夜です。本誌がお手元に届くころには、被災地に少しでも明るさが戻っているといいのですが。

さて、福島県。

東京の桜はほぼ終わっていたが、新幹線で一時間半の福島はまだ盛りである。

桜だけではない。菜の花や水仙、チューリップ、モクレンにレンギョウ。花という花が、春風に誘われていつせいに飛び出したような大騒ぎで、山あいをレンタカーで走りながらついよそ見をしてしまう。いけませんねえ。

花の名所に寄り道しながら、二時間ほどで南

相馬市に到着した。南相馬ロータリークラブ(RC)の長澤初男元会長と落ち合う。町を案内してもらおう約束だ。

福島県の太平洋沿いは、海山の幸と穏やかな気候に恵まれた土地である。五年前の東日本大震災と津波、原発事故で大きな被害を受けた。南相馬市でも一〇〇〇人以上が亡くなった。半

数近くが避難先での、いわゆる震災関連死である。

長澤さんは当時、市消防団の副団長として救援活動を指揮した。二年前からは

津波に残った「奇跡の一本松」
(鹿島区南右田)



中：積み上げられた除染廃棄物。右：津波で流された田は菜の花の迷路に



樹齢 500 年の「駒ざくら」(川俣町)

の患者さんで一度に試せる新しい薬は、一個だけです。しかも、半年ぐらい待たないと効いてるか効いていないか、わからないのです。半年でやっと一個の薬が試せる、ということになりますから、なかなか開発が進まないのですが、同じ物を何百個とiPS細胞からつくることができるので、実験室で再現できると、同時に幾つもの薬の効果を試すことができるのです。

難病に対しては、ほかの病気で使われている薬が何百とありますし、また開発の最後の段階で止まってしまった薬は何千とありますから、そういったものをぜひ試したいと思っています。そのためにロボットも導入して、研究所で五万種類ぐらいの薬の候補をそろえています。

もう一つは薬の使い方です。より患者さんの数が多いアルツハイマー病などの病気に對しても、iPS細胞を応用した研究を進めています。やはり私たちの同僚の井上治久先生が、たくさんアルツハイマー病の方から、iPS細胞をつくっています。

アルツハイマー病は認知症の一番多い原因です。既に薬もありますが、同じ薬なのに患者さんによって効く、効かないがあり、やはり半年、一年単位でないとわからないので、効く方には良いのですが、効かない方にとってはその半年、一年が本当にむだになってしまいます。

井上先生はこういった患者さんからiPS細胞をつくって、iPS細胞からアルツハイマー病で異常が生じる脳の細胞をつくっています。症状だけでは区別がつかないのですが、iPSからの神経細胞を使ってみると、明らかに原因

が違ふようだ、同じ病名でも原因が違ふのではないかと、となりました。そしてある薬を振りかけると、ある患者さんの細胞ではよく効くの、別の患者さんの細胞には全然効かないということとがわかりました。

何とか、こういった研究を進めて、近い将来、それぞれの患者さんに最適の薬や治療法を探して、決め打ちで処方する、そういう個別化医療、オーダーメイド医療、これをぜひ実現させたいと考えています。

所長としてのビジョンは、日本の大学の中で、最高レベルの研究支援体制と研究環境を整備したいということです。研究には、いろいろな知的財産の専門家や、公的な規制、レギュレーション(regulation)の専門家、高度な実験をする技術員といった人材が必要になってきます。これはほんの一例ですが、いろいろなプロの集団がないとできないのが現状なのです。

アメリカにはプロがたくさんいますが、日本の国立大学には研究者、教員ポストと事務のポストはあるもののほかのポストがありません。私たちのiPS研究所は今、三五〇人以上の教職員がいますが、その中で正規の京都大学の教職員はわずか二八人、一割にも満たない。九割以上が非常に不安定な有期雇用で、派遣の方も有期雇用です。そういう不安定な中で一生懸命、ハードワークをしてくれているのです。所長としては、一番これが辛いのです。私たちは国から年間四〇億ぐらいの支援をいただいています。ですから、それ以上の支援は当然望むべくもありません。

アメリカでは、私が今もお世話になっているグラッドストーン研究所のように、ファンドレイジング(基金募集)を頑張っていて、個人や企業からの寄付が相当入ってきます。それらで研究支援者の長期雇用を実現させているわけです。私も毎月アメリカに行つて、いろいろ学んでいます。良いところは取り入れようということ、iPS細胞研究基金を五年ぐらい前に立ち上げ、一生懸命活動しています。

しかし、日米の文化の違いもあってまだまだ苦戦しています。少しでもこの寄付文化を日本で広げようと、私は二〇一四年、大阪マラソンで完走しました。大阪マラソンを一回走ることによって、大体一千万円以上の寄付が集まります。本当にありがたいです。ただ、三五〇人ぐらいの研究ですから、年間最低でも五億、一〇億という基金がないと長期雇用はできません。

そこで、研究支援者がフリーダイアルまでつくってくれて、覚え方まで考えてくれました。「走れ、山中伸弥(0120-80-8748)」ということらしいので、ぜひ、これだけでも覚えて帰っていただけだと思います。

今、私たちは共通のビジョン、iPS細胞を臨床応用するのだ、というビジョンのもと、学生も入ると四〇〇人以上の者が頑張っております。今回も非常にありがたいご支援をいただいております。心から感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくご支援・ご声援のほど、お願い申し上げます。

(ホスト 東京西・東京六本木RC)

他のグループが絶対見つけていたと思います。一〇〇個だったら、まだ見つかったと思うのですが、四つという微妙な数だったのが私たちにとっては幸いし、私たちが最初に見つけることができました。

この四つの遺伝子をネズミの皮膚の細胞に入れると、リセットされて受精卵に近い状態に戻り、ES細胞にそっくりなものができます。ES細胞のEはEmbryo、受精卵から少し発生が進んだ状態を指しますが、受精卵を使っているんでES細胞とは呼べません。そこでいろいろ考えた結果、人工的に多能性をもたらした細胞ということで、人工多能性幹細胞、その英語の頭文字をとってiPS細胞と名づけました。

そして二〇〇七年にはヒトの皮膚の細胞、大人の皮膚の細胞に同じ四つの遺伝子を送り込むとヒトのiPS細胞ができる、ということを発表することができました。このように私が代表していつも紹介していますが、実は、iPS細胞をつくったのは私ではなく私の研究室の若い学生や研究者です。iPS細胞は、最初は皮膚からつくりましたが、今ではいろいろな細胞からできます。一番簡単に採取できるのは血液です。

iPS細胞を使って 再生医療と新薬の開発

この技術を用いて、iPS細胞を使った二つの医療応用をしたいというのが、私たちの今の

ビジョン。ES細胞で紹介した再生医療と、もう一つは薬の開発です。この二つの医療応用を促進するため京都大学は二〇一〇年、iPS細胞研究所という新しい部局を発足させました。

まず、再生医療ですが、過去一〇年、政府、文部科学省を中心とするご支援をいただき、そのおかげで日本はiPS細胞を使った再生医療では間違いなく世界のトップを走っています。

神戸の理化学研究所の高橋政代先生は、二〇一四年に臨床応用を開始されました。高橋先生は眼科医ですが、網膜の病気の一つに加齢黄斑変性症という病気があります。網膜は鏡と一緒に、一番後ろに一層の黒い裏打ちがあります。その一層の黒い細胞が加齢によって破れたり、逆にゆがんだりしてしまうのが、加齢黄斑変性症。日本人の失明原因の上位にあります。

この病気の患者さんの皮膚の細胞からiPS細胞を高橋先生がつくり、そして網膜の黒い裏打ち細胞をつくりました。患者さんの古くなった細胞とiPS細胞からつくった新しい細胞を入れ替える手術を、二〇一四年の九月に行いま

した。高橋先生が術後一年経過の報告をされているのを聞きましたが、非常に順調に推移しているということです。

私たちの研究所の高橋淳教授は、脳外科医でもあります。パーキンソン病、頭の中の特異な神経細胞がだめになって全身の動きが損なわれる病気ですが、その神経細胞をヒトのiPS細胞からつくることに成功しています。今、サルのパーキンソン病のモデルがありますが、そこからで安全性と効果の確認をして、近々臨床応用できるのではないかと思います。

薬の開発についても二つ、簡単な例をご紹介します。一つは難病に対する治療薬です。例えば、小人症。成長軟骨ができないことが原因で骨が伸びないのです。こういった難病は患者さんが少ないので、製薬企業もなかなか本格的に開発できません。妻木範行先生のグループが、iPS細胞から軟骨をつくる方法を開発されましたが、病気でない方のiPS細胞からは、きれいな軟骨ができません。

これは非常に大きいことです。なぜか。一人



■京都大学iPS細胞研究所(CiRA)
所長・教授 山中 伸弥

一九六二年生まれ。八七年 神戸大学医学部卒業、国立大阪病院臨床研修医。九三年 米国グラッドストーン研究所留学。九六年 大阪市立大学医学部薬理学教室助手。九九年 奈良先端科学技術大学院大学遺伝子教育研究センター助教。二〇〇三年 同教授。〇四年 京都大学再生医科学研究所教授。〇七年 同物質・細胞統合システム拠点教授。〇八年 同iPS細胞研究センターセンター長。二〇一〇年 同iPS細胞研究所所長・教授、米国グラッドストーン研究所上席研究員兼務、現在に至る。ラスカー賞、恩賜賞・日本学士院賞、京都賞、文化勲章、ウルフ賞など受賞。一二年 ノーベル生理学・医学賞受賞。

大先生がついていてくれたからです。自分が偉いのではなく、先生が偉いだけだったと、三〇歳ぐらいでようやく気づきました。スポーツ選手と一緒に、成績が全てですので、論文が出ないにちもさつちもいかなくなります。

アメリカでつくった実験用のネズミを三四、連れて帰りました。ネズミ算という言葉がありますが、一年たったら二〇〇匹になりました。アメリカにいる時はネズミの世話をしてくれる人がいましたが、日本では全部自分がしなければならず、自分の仕事が研究者なのか、ネズミの世話係なのかわからない、という日々になり、半年もしないで病気になるてしまいました。

それが「PAD」という病気。これは私たちが勝手につけた名前です。PADは「Post America Depression」にわゆるうつ病です。当時、これは自分だけかと思ったのですが、企業の方でもアメリカ赴任後、帰国されてからPADになっておられる方がいる、ということを知りました。これはきつかったです。

ヒトのES細胞に出会い 新たなスタート

偶然にもこのころ、相前後して二つの出来事が起こりました。それによって何とかPADを克服することができました。一つ目が一九八八年、アメリカでヒトのES細胞ができたことです。ウィスコンシン大学のジェームズ・トムソン先生が、ほぼ無限に増えて、ありとあらゆる種類のヒトの細胞をつくり出す能力（多能性）

を持つ、ヒトのES細胞をヒトの受精卵からつくってしまったのです。

ヒトのES細胞ができたことによって、ヒトの病気の治療につながるのではないかと、という期待が一気に膨らみました。私たちの体には二〇〇種類の細胞があると言われていますが、たくさんさんの病気やけがは二〇〇種類の中の一つ種類の細胞だけが、だめになって起こります。残りの一九九種類は何ともないのに、たった一種類が原因で寝たきりになったり、亡くなってしまうのです。

ヒトのES細胞を使えば、こういった細胞を大量につくり出すことができるので、外から補充できるのではないかと、移植したら、機能を回復できるのではないかと、再生できるのではないかと。そういう再生医療の細胞をつくり出す切り札として、ヒトのES細胞が世界中で期待されるようになりました。私がずっと進めてきたES細胞の研究が、こういう形で自分のビジョンにつながるのではないかと、ということでものごく喜んだことを覚えています。

もう一つ、一九九九年に思いがけない出来事が起こりました。それは、奈良にある国立の奈良先端科学技術大学院大学、奈良先端大と通称されますが、こちらに准教授として採用していただいたことです。上に教授がない研究室でしたので、三七歳の時でしたが、自分自身の研究室を持たせていただきました。大学院しかない大学で、まさに研究するための大学です。毎年四月になると、全国から百数十人の理系の大学を出た二二―二三歳の大学生が大学院生とし

てやってきます。四―五月に、その学生を二〇ぐらいの研究室で奪い合います。

選ぶ権利は学生にあるというシステムで、ちよつと困りました。なぜかと言いますと、有名な先生、業績のある先生、研究費をたくさん獲得されている先生のところには良い学生がどんどん入り、その研究室はもつと良くなります。ところがそうではない研究室は、そこに行きたかったが行けなかった学生が渋々入ってくるというところで、今ひとつ士気が上がらない。こういう厳しい状況にあるということを、一二月に着任して聞いたわけです。

これは困ったな、と思いました。その時にそうだ、VWだ、と思い出しました。ビジョンだったらすぐつくることが出来ます。学生に夢のあるビジョンを示したら、もしかしたら来てくれるのではないかと、と一生懸命考えた研究室の長期目標が、結局は今も進めている目標です。「山中研究室では受精卵を使わずに、患者さんご自身の体の細胞、皮膚の細胞とか血液の細胞をリセットして受精卵と同じように若返らせてES細胞のような細胞をつくりましょう、こういう研究を一緒にやりましょう」

ようやくiPS細胞の話になりますが、鍵はスイッチ、リセットボタンは四つということでした。細胞の場合、ボタンに相当するのは遺伝子ですが、四つの遺伝子を探してきて、これを同時にネズミの皮膚の細胞に外から送り込んであげます。遺伝子を細胞に送り込むのは簡単にできます。操作は簡単なのですが、肝心なのは四つを探してきたことです。一つだったら、

S細胞と呼ばれます。Embryoというのは受精卵から少し発生が進んだ状態（胚）のことで、

Stem Cellは幹細胞ですから、ES細胞と名づけられました。

一九八一年、イギリスとアメリカの研究者が、お母さんハツカネズミの子宮から生命の始まったばかりの受精卵を取り出し、実験室で受精卵の性質を維持したまま、数か月間の培養に成功したのが、ES細胞です。この細胞をつくられたイギリスのマーティン・エバンス先生は、二〇〇七年にノーベル生理学医学賞を受賞されています。

私たちの体には、六〇兆個の細胞があるらしいのですが、それを全部、たった一つの受精卵からつくり出します。ES細胞も同じように、ほぼ無限に増やすことができます。また、受精卵は、そこから脳、神経、肝臓など、体のありとあらゆる細胞、臓器をつくり出す、すごい能力があります。

私は今から二〇年前にこの細胞に出会い、とりこになってしまいました。なぜこういった二つのすごい能力をES細胞は一年、二年と長期にわたって維持できるのだろう、という謎に取り組んで、いまだにその研究を続けています。アメリカでこのES細胞の研究を始めて、幾つか非常に重要な論文も発表することができました。そこでちょっと、勘違いをしました。

意気揚々と、鼻高々で帰って、日本でもES細胞の研究を続けました。ところが、論文を掲載してくれるはずのアメリカの科学ジャーナルに投稿しても、掲載拒否をされてしまいます。最初はなんでなんだろう、と思ったのですが、原因は私にありました。アメリカにいた時に論文が簡単に通ったのは、私の後ろにトム・インゲラティ先生とかロバート・マレー先生とか、

写真提供：京都大学 iPS 細胞研究所 森実 飛鳥 ヒト iPS 細胞から誘導したドーパミン産生神経細胞

iPS細胞がひらく 新しい医学

サンフランシスコ時代、私はいろいろなことを学びましたが、その中で私が一番大切にしている教えが、「VW (Vision & Work hard)」です。簡単で単純な教えであります、私にとっては非常に心に響いた教えであります。

京都大学 iPS細胞研究所 (CiRA) 所長・教授

山中 伸弥

Shinya Yamanaka

ビジョンを持つこと

父はけがをした時の輸血のせいで、今で言うC型肝炎になり、私が中学校、高校、大学と進む間に、父の病気は肝炎から肝硬変へと悪化していきました。そういうこともあって、父の中で医学への興味があり、息子を医者にしたいと思ったのかもしれませんが、父の勧めもあって、私は一九八七年、神戸大学医学部を卒業し医者になりました。社会人になり、ようやく父とゆっくり酒でも飲みながら、仕事の悩みでも聞いてもらえたら、と思っていたのですが、医者になって二年目に父は亡くなりました。

私自身は、学生時代、柔道やラグビーをしていて何度もけがをしました。骨折だけでも一回以上したので、その度に整形外科にお世話になり、自然と整形外科医になりたいと思うようになりました。自分と同じようにスポーツだけがをした人を治療して、スポーツの現場に復帰してもらおうと思ったのです。

整形外科の領域で一番大変なけがの一つが、脊髄損傷。二〇一五年、ラグビーで日本が大変盛り上がりつつありました。私もラグビーをしていましたが、私の周囲、医学生でもこの脊髄損傷

で首から下がまひ、腰から下がまひしてしまった人が複数います。そういった経験から、治すことができない病気やけがで苦しんでおられる方を、今は無理でも五年後、一〇年後、二〇年後になんとかしたい、と思うようになりました。では、どうすればよいのか。今は治せない人を治そうと頑張っているのが、医学研究者です。私も医学研究に大変強い興味を持つようになり、大学院に入り直し、研究者の教育を受けました。そして学位をいただいた後、アメリカへ渡り、サンフランシスコにあるグラッドストーン研究所で、研究者としてのトレーニングを積みしました。この四年間のサンフランシスコでの生活が、私のその後の研究者として、さらには人間としてのいろいろな考え方に、非常に大きな影響を及ぼしました。

私は、直属のボスのトム・イネラティ先生と一緒にものすごく頑張りました。この時にいろいろなことを学びましたが、その中で私が一番大切にしている教えが、当時の研究所長、今は名誉所長のロバート・マレーイ先生から教えていただいた言葉です。ある時、マレーイ先生が私たち若い研究者を集め「研究者として成功するための秘訣を教えてください。それは『VW』である。VWとはVision & Work hardだ」と。簡単で単純な教えですが、私にとっては非常に心に響いた教えであります。

もう一つ、私がこの留学中に出会った大切なもの、それが細胞です。「ES細胞」と呼ばれる別名「万能細胞」。科学名は胚性幹細胞、英語はEmbryonic Stem Cell、頭文字を取ってE

6月はロータリー親睦活動月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

iPS細胞がひらく新しい医学

■京都大学iPS細胞研究所(CiRA)所長 教授 山中 伸弥

4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー……

9
68

福島県 南相馬市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

友愛の広場

13
64

米山学友との再会

尾張旭 古橋エツ子

驚天動地からシンプルライフへ

神戸南 米谷 収

タゴール、九州ホテルの縁を訪ねて

唐津東 宮島 省吾

バラオRC創立二〇周年記念式典に参加

東京日本橋 森本 祐司

職業奉仕を通して地域貢献を

鳴門 芝野 光

ザ・奉仕 これぞロータリアンの真の奉仕

府中 河崎 歳行

母国の未来を担う米山学友を支援

成田 平山 秀樹

祝日の国旗の掲揚に一考を

能代南 浅田 嘉美

「原発再稼働は認められない」を読んで

鹿屋 田中 俊貴

姉妹クラブの行「人道関懷慈善音楽会」

門真 泉 光典

宗教と仏教

桑名西 藤井 英昭

●バナー自慢

卓話の泉

20
57

東京の超高層ビルの話

姫路 赤鹿 竜夫

女性活躍の基盤となるワーク・ライフ・バランス

中村奈津子

料理道の歩み・徒弟制度

円城寺利之

ロータリー 俳壇

◆稲畑 汀子 選

22
55

ロータリー 歌壇

◆佐佐木幸綱 選

22
55

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

22
55

ロータリー・アット・ワーク

カンボジアの小学校を支援して11年

浜松北ロータリークラブ

24
53

〈写真〉上尾／松浦／和歌山アゼリア／八代東／有田
／郡上長良川／彦根／東大阪東／米沢おしよしな
／岡山南／船橋東／北松浦


近江八幡

小川

七尾みなと

いわき鹿島

鹿児島東

川西猪名川

鹿沼東

滝川

新潟東

福井

碧南

鳥羽

熊野

越谷

清水西

総社吉備路

蓮田・宮崎南

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

36
41

表紙 横組み 「メタボベンギン」 吉川 正宏(二六・二〇 静岡中央)

縦組み 「おおきくなれ」 井出 隆之(二七・一〇 松永)

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4・5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp



© Monika Lozinska / Rotary International

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO JUNE 2016 VOL.64 NO.6

ロータリーの友6月号 第64巻 第6号
平成28年6月1日発行(毎月1日発行)
通巻762号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

6
2016



SPEECH ———

iPS細胞がひらく新しい医学

山中 伸弥

わがまち……そしてロータリー
福島県南相馬市

Rotary 